



樹ら楽ステージ 木彫

取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>



- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 本製品は1800N/m²仕様です。施工場所の必要強度をご確認の上、施工を行ってください。



- 部材変形防止のため、製品保管状況を確認してください。
 - ・当製品は、木粉入り高密度樹脂製のため、熱変形することがあります。取扱いには十分注意してください。
 - ・平らな場所に立てかけないように保管してください。
 - ・暖房機や焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
 - ・製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
- 設置場所を確認してください。
 - ・浴室、プール等の常時水のかかる場所には設置しないでください。製品の特性上、適していません。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱排気による部材の変形・劣化のおそれがあります。
 - ・母屋の屋根等から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により製品が破損するおそれがあります。
- 床板表面にはランダムな溝が入っていますので、施工方向によって色調に濃淡が出るようになります。
- デッキ上にフェンス等を設置する場合は、必要に応じて、あらかじめ床板補強材を取付けてください。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 施工プランと必要部材が揃っているか確認してください。
- 施工手順は、「取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。
- 市販の研磨紙を利用する際は、80番の研磨紙を用いてください。
- 施工の前に、使用する取付説明書を確認してください。
- 取付ける部材によって施工手順が変わる場合があります。施工内容を十分確認してください。

<施工の前に> (つづき)

樹ら楽ステージ取説区分表

施工手順	使用する取付説明書	取説コード
デッキの施工 束柱施工位置決め	樹ら楽ステージ リードデッキ	E347
	樹ら楽ステージ 多段幕板	E351
	樹ら楽ステージ スロープ	E366
デッキの施工 束石の配置	樹ら楽ステージ 木彫	E423
デッキの施工 補助根太の位置出し	樹ら楽ステージ 木彫	E423
	樹ら楽ステージ 点検口・収納蓋	E344
デッキの施工 補助根太の取付け	樹ら楽ステージ 木彫	E423
	樹ら楽ステージ 点検口・収納蓋	E344
デッキの施工 床板補強材の位置出し	アーキレール 樹ら楽ステージ デッキ施工用	C399
	樹ら楽ステージ モダンデッキフェンス	E348
	樹ら楽ステージ ボードラインフェンス	E349
	樹ら楽ステージ ウッドパーティション	E352
	樹ら楽ステージ サニーブリーズフェンス(デッキ仕様)	E353
	樹ら楽ステージ ラフィーネフェンス(デッキ仕様)	E354
	樹ら楽ステージ デザイナーズパーツフェンス(デッキ仕様)	E355
	樹ら楽ステージ デッキフェンス	E358
デッキの施工 床板補強材の取付け	樹ら楽ステージ 木彫	E423
デッキの施工 床板の取付け	樹ら楽ステージ 木彫	E423
	樹ら楽ステージ ノンレールサッシ納め部材	E346
デッキの施工 幕板の取付け	樹ら楽ステージ 木彫	E423
	樹ら楽ステージ 多段幕板	E351

<施工上のご注意>

!**注意**

- 束柱の移動範囲は弊社指定範囲にしてください。
- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 $\phi 4$ ネジ：1.5N·m $\phi 5$ ネジ：3.0N·m $\phi 6$ ネジ：5.2N·m
- 束石は指定寸法以上のものを使用し、確実に設置してください。
- コンクリートまたはモルタルには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固防止剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

◆ポイント

- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 施工中についての表面すりキズは、引き渡し前に研磨紙で補修してください。補修方法は、「11 施工後の補修」を参照してください。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 施工中についての表面の汚れやシミは、引き渡し前に水洗いをしてください。中性洗剤を薄めたものを使用した場合は、よく水洗いをしてください。

◆補足

- 本書では、縦張りを基本とした施工方法を説明しています。

INDEX

1 梱包明細表	4
2 施工時の重要なすき間寸法	7
3 水溜りへの対応	8
4 基本寸法と各部名称	8
1. 各部名称	8
2. 詳細納まり	9
3. 床板縦張り基本寸法	11
4. 床板横張り基本寸法	15
5 束柱・大引の施工	19
1. 基礎の施工	19
2. 束柱・大引の取付け	20
3. 根がらみの取付け オプション	24
4. 筋交いの取付け	25
5. 土間施工	27
6 床板の施工	29
1. 側面幕板取付材の取付け	29
2. 床板の取付け	30
3. 床板の上止め	33
7 幕板の施工	36
1. 正面幕板取付材(床板固定用)の取付け	36
2. 幕板取付補助部材の取付け	38
3. 幕板の加工	39
4. 幕板の取付け	41
8 幕板の大引固定	44
1. 正面幕板取付材(大引固定用)の取付け	44
9 隅切り施工	45
1. 床板取付上の注意	45
2. 補助根太の取付け オプション	45
3. フリーコーナーの幕板の取付け	47
10 床板補強材の取付け	49
11 オプション	50
1. くり貫き部幕板の取付け オプション	50
2. タイルフロアの取付け オプション	53
3. 軀体付けアングルの取付け オプション	56
4. 床板キャップの取付け オプション	57
5. 軀体側隙間塞ぎ材の取付け オプション	57
6. ポイントライトの取付け オプション	58
12 施工後の補修	59

1 梱包明細表

【1】束柱Aセット

名 称	略 図	員 数			
		1本入り	4本入り	6本入り	9本入り
束柱A		1	4	6	9
束柱固定金具		1	4	6	9
【1-1】φ5×35 セルフタップアンカー		1	4	6	9
【1-2】φ4×13 ナベドリルネジ		5	20	30	45

【2】束柱Bセット

名 称	略 図	員 数		
		1本入り	4本入り	6本入り
束柱B		1	4	6
束柱固定金具		1	4	6
【2-1】φ5×35 セルフタップアンカー		1	4	6
【2-2】φ4×19 ナベドリルネジ		9	36	54

【3】大引セット

名 称	略 図	員 数	
		1本入り	2本入り
大引		1	2

【4】大引セット(連棟用)

名 称	略 図	員 数	
		1本入り	2本入り
大引(連棟用)		1	2
大引スリーブ		1	2
【4-1】φ4×19ナベドリルネジ		9	17

【5】筋交いセット

名 称	略 図	員 数	
		2本入り	3本入り
筋交い		2	3
筋交いキャップ		4	6
【5-1】φ4×25ナベドリルネジ		4	6

【6】根がらみ6尺、7尺

名 称	略 図	員 数	
		2本入り	3本入り
根がらみ		2	3
【6-1】φ4×19ナベドリルネジ		6	9

【7】根がらみ8尺、9尺、10尺

名 称	略 図	員 数	
		2本入り	3本入り
根がらみ		2	3
【7-1】φ4×19ナベドリルネジ		9	12

【8】土間施工部品セット

名 称	略 図	員 数		
		1個入り	4個入り	6個入り
大引支持台		1	4	6
大引スペーサー		1	4	6
スライドナット		1	4	6
【8-1】M6×90 六角ボルト		1	4	6
【8-2】M6バネ座金		1	4	6
【8-3】M6平座金		1	4	6
【8-4】φ5×35 セルフタップアンカー		2	8	12
【8-5】φ4×16 ナベドリルネジ		6	24	36

【9】土間施工 高さ調整部品セット

名 称	略 図	員 数		
		1個入り	4個入り	6個入り
大引補助 スペーサー		1	4	6
【9-1】φ4×16 ナベドリルネジ		4	16	24

[10] 側面幕板取付材セット

名 称	略 図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
側面幕板取付材		1	3	5
幕板取付補助部材		2	4	6
【10-1】φ4×25 サラドリルネジ		6	12	18
【10-2】φ4×20 ナベタッピンネジ2種G=5		4	12	20
【10-3】φ4×30 トラスタッピンネジ1種		4	8	12

[11] 床板セット

名 称	略 図	員 数		
		1本入り	2本入り	3本入り
床板		1	2	3

[12] 正面幕板取付材セット(大引固定用)

名 称	略 図	員 数		
		1個入り	5個入り	8個入り
正面幕板取付材 (大引固定用)		1	5	8
大引取付部材		1	5	8
【12-1】φ4×25 サラドリルネジ		4	12	18
【12-2】φ4×13 ナベドリルネジ		4	20	32

[13] 床板取付部品セット

名 称	略 図	員 数		
		基本	追加40	追加20
横止め部品 (ドリルネジ組込済)		60	40	20
穴開け治具		1	—	—
補修用研磨紙		2	—	—
【13-1】φ4×12 ナベタッピンネジ1種		6	—	—
取付説明書(E423)	—	1	—	—
取扱説明書(UE089)	—	1	—	—

[14] 床板取付部品セット(補修用)

名 称	略 図	員 数	
		横止め補修	上止め補修
横止め部品		10	5
穴開け治具		1	1
交換用ビット		1	1
補修用研磨紙		1	1
【14-1】φ4×65サラドリルネジ		—	20
取付説明書(E423)	—	1	1

オプション

[15] 床板縦切り用インナー材

名 称	略 図	員 数	
		1本入り	2本入り
床板縦切りインナー材		1	—
【15-1】φ4×16サラドリルネジ		—	4

オプション

[16] 幕板セット

名 称	略 図	員 数	
		1本入り	2本入り
幕板		1	2

オプション

[17] 補助根太セット

名 称	略 図	員 数	
		1本入り	2本入り
補助根太		1	—
補助根太取付部品		—	4
【17-1】φ4×13ナベドリルネジ		—	16

オプション

[18] 正面幕板取付材セット(床板固定用)

名 称	略 図	員 数		
		2個入り	8個入り	11個入り
正面幕板取付材(床板固定用)		2	8	11
【18-1】φ4×25サラドリルネジ		6	18	24
【18-2】φ4×30ナベドリルネジ		2	8	11

オプション

[19] コーナー幕板取付材セット(角度切り用)

名 称	略 図	員 数	
		1本入り	2本入り
コーナー幕板取付材 (角度切り用)		—	2
【19-1】φ4×25サラドリルネジ		—	4
【19-2】φ4×30ナベドリルネジ		—	2

オプション

【20】幕板コーナーキャップセット

名 称	略 図	員 数			オプション
		90°	入隅	フリー	
幕板90°コーナーキャップ		1	—	—	
幕板入隅コーナーキャップ		—	1	—	
幕板フリーコーナーキャップ		—	—	1	
幕板連結キャップ		—	—	2	
【20-1】φ4×14サラタッピンネジ1種		2	2	4	

【21】幕板ジョイントカバーセット

名 称	略 図	員 数	オプション
幕板連結キャップ		1	
正面幕板取付材		1	
【21-1】φ4×14サラタッピンネジ1種		2	
【21-2】φ4×25サラドリルネジ		2	
【21-3】φ4×30ナベドリルネジ		1	

【22】床板補強材

名 称	略 図	員 数	オプション
床板補強材		1	
大引アングル		4	
【22-1】φ4×13ナベドリルネジ		20	

【23】くり貫き部用幕板固定金具セット

名 称	略 図	員 数	オプション
くり貫き部用幕板固定金具		4	
正面幕板取付材(床板固定用)		8	
【23-1】M4×25サラ小ネジ		8	
【23-2】M4六角ナット		8	
【23-3】M4平座金		8	
【23-4】M4バネ座金		8	
【23-5】φ4×25サラドリルネジ		24	
【23-6】φ4×30ナベドリルネジ		8	

【24】軸体付けアングルセット

名 称	略 図	員 数	オプション
軸体付けアングル		1	
【24-1】φ6×70六角タッピンネジ1種		6	

【25】床板キャップ

名 称	略 図	員 数	オプション
床板キャップ		2	10 2個入り 10個入り
【25-1】φ4×14サラタッピンネジ1種		4	20

【26】軸体側隙間塞ぎ材

名 称	略 図	員 数	オプション
軸体側隙間塞ぎ材		1	

【27】タイルフロアー根太セット

名 称	略 図	員 数	オプション
タイルフロアー根太		3	
隙間隠しパッキン		4	
大引アングル		6	
【27-1】φ4×13ナベドリルネジ		25	
【27-2】φ4×35サラドリルネジ		10	

【28】タイルフロアーベース

名 称	略 図	員 数	オプション
タイルフロアーベース		1	

【29】タイルフロア-

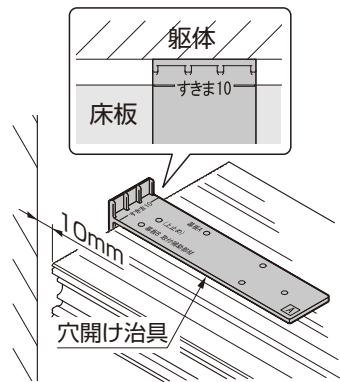
名 称	略 図	員 数	オプション
タイルフロア-		9	

2 施工時の重要なすき間寸法

人工木デッキはすき間が重要です。正しい施工を行わない場合、部材の反りや波打ちの原因となります。

1. 躯体と床板のすき間および床板連結部のすき間

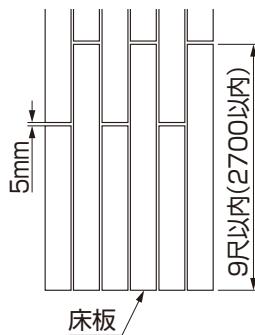
1-1 躯体と床板のすき間



ポイント

- 床板と躯体のすき間に穴開け治具を当て、すき間が10mm以上あることを確認してください。

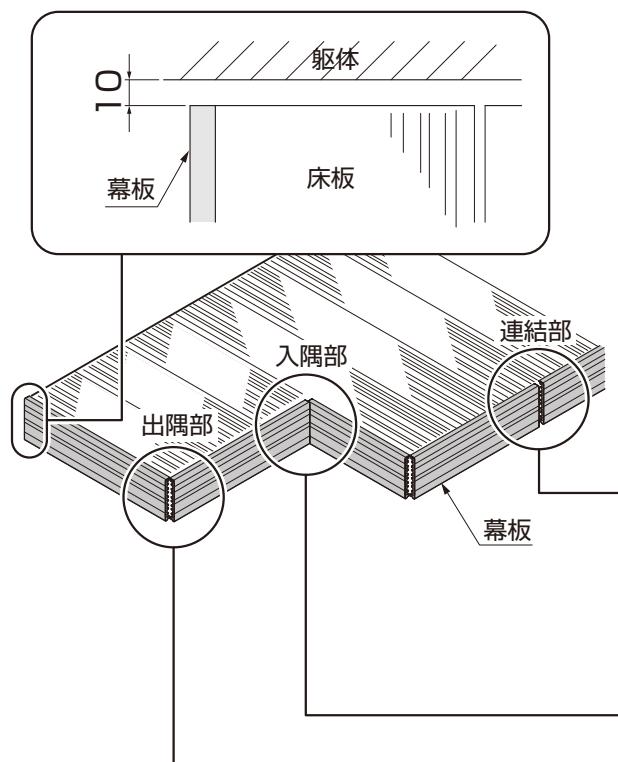
1-2 床板連結部のすき間



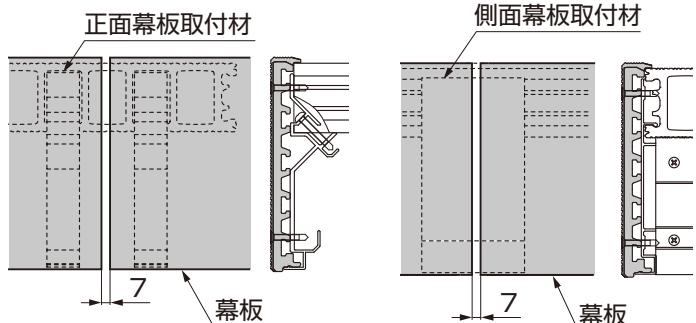
ポイント

- 床板を長さ方向に連結する場合は、9尺($L=2700$)以内の床板を使用してください。それより長い床板を連結すると、反り・変形の原因になります。
- 連結部は5mmの目地を設けてください。
- 必ず千鳥張りにしてください。
- 連結部の床板小口は1mm程度面取りしてください。

2. 幕板のすき間 ※詳細はP.36以降を参照の上、施工をしてください。



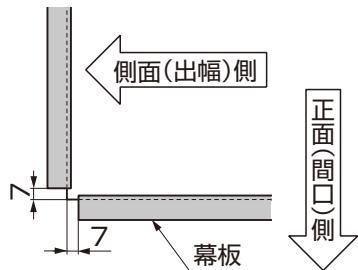
2-3 連結部の場合



ポイント

- 幕板の連結部は7mmあけてください。
- 幕板の連結は幕板取付材のある箇所で行ってください。

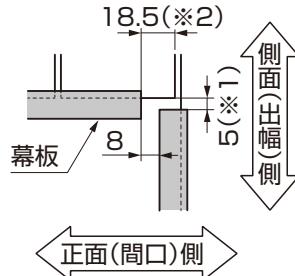
2-1 出隅部の場合



ポイント

- 幕板は床板から7mmデッキ内側にしてください。

2-2 入隅部の場合



ポイント

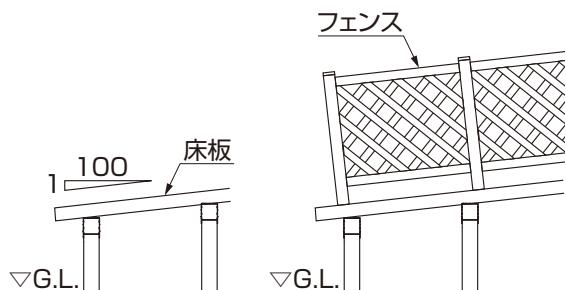
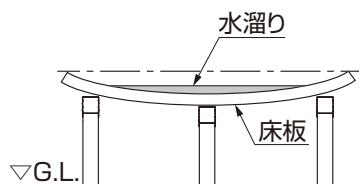
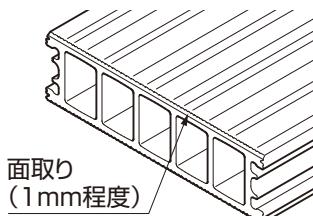
- 側面側の幕板は床板から5mm(※1)あけてください。
- 正面側の幕板は床板から18.5mm(※2)あけてください。

3 水溜りへの対応

ポイント

- 人工木の表面は水をほとんど吸わないため、わずかな反りの部分に、降雨などで水溜りができる場合があります。
- 樹ら楽ステージ 木彫は溝部にも水が溜るため、目立つ傾向があります。
- 特に施工直後は水をはじきやすいため、水溜りが大きくなることがあります。

※上記の内容は人工木の特性上、避けきれませんが施工時の配慮で低減することができます。



- 3
水溜りへの
対応
- すべての床板の小口を1mm程度面取りすることで、水が流れやすくなります。

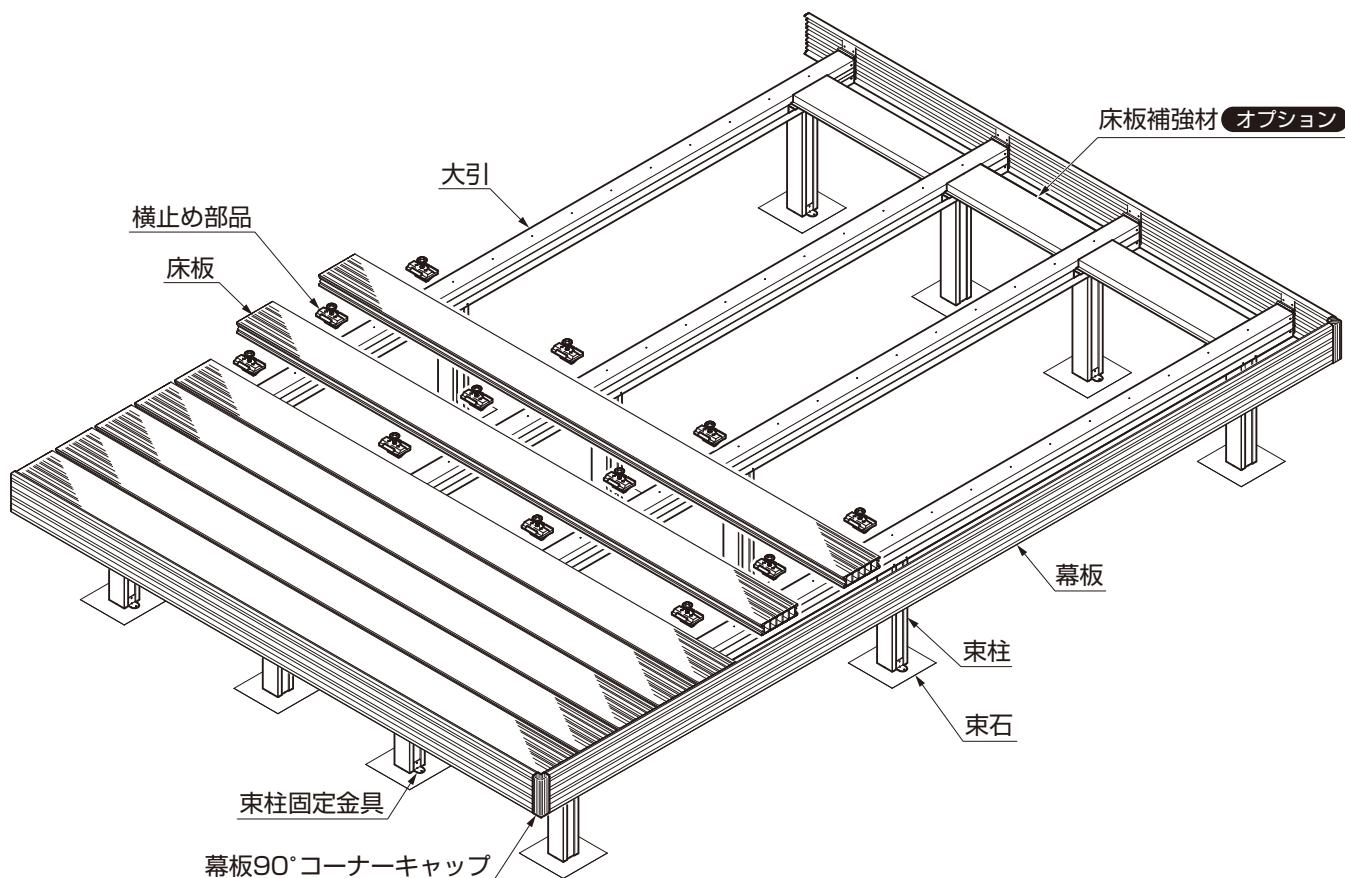
- 4
各部名称と
基本寸法
- 床板の中央部を下がらないようにすることことで、床板中央部の水溜りを減らします。

- 床板に水勾配(1/100)をつけることで、水を積極的に流すことができます。

※フェンスを取付ける場合、G.L.に対してフェンスが斜めになります。あらかじめご了承ください。

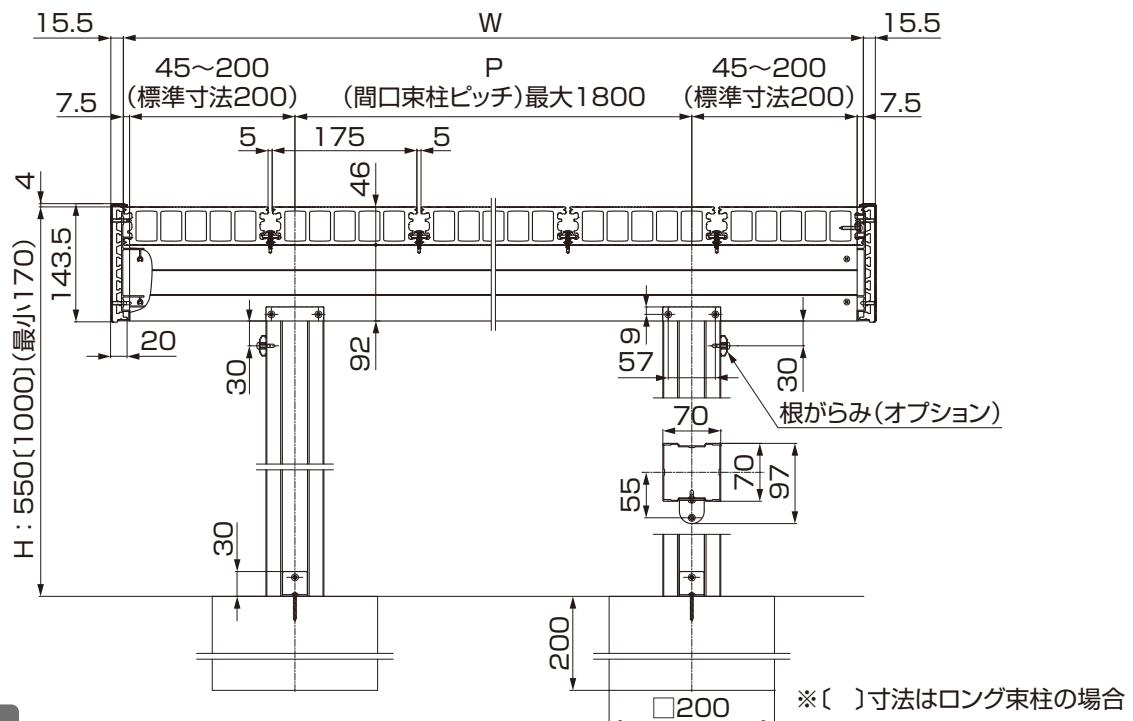
4 基本寸法と各部名称

1. 各部名称



2. 詳細納まり

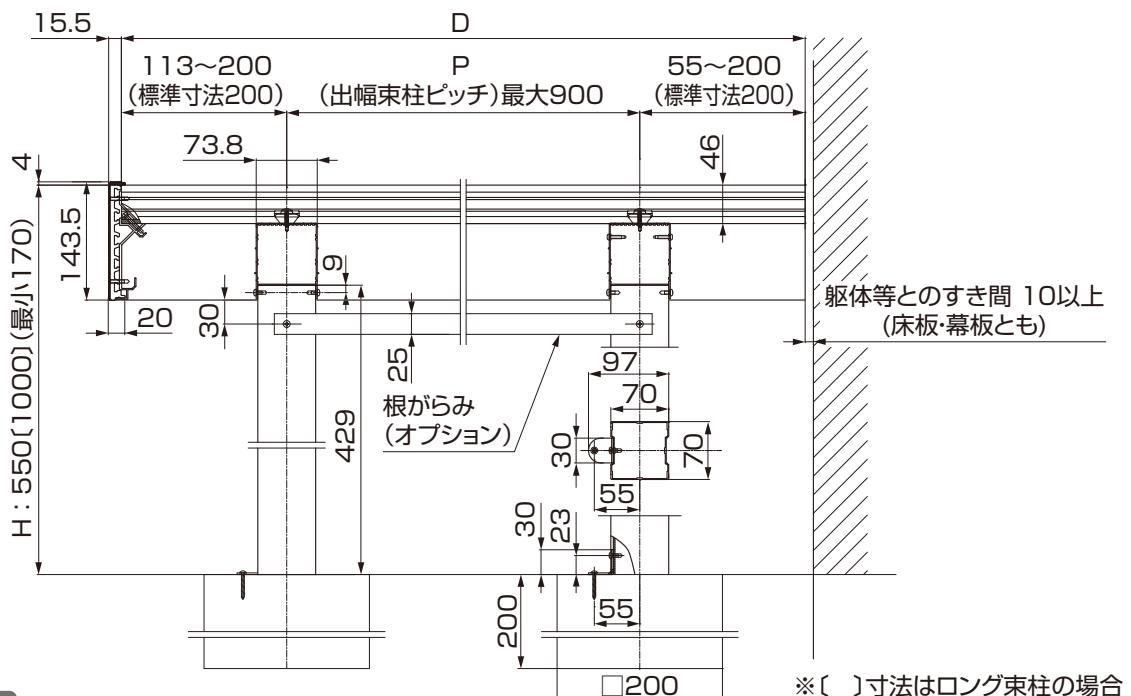
2-1 幕板床板固定 間口方向納まり図(正面) ※標準束柱の場合を示します。



ポイント (Key Points)

- デッキの間口最大寸法は、W+31mmです。
- デッキ最低H寸法は、束柱A: 170mm、束柱B: 373mm(ロング823mm)です。

2-2 幕板床板固定 出幅方向納まり図(側面) ※標準束柱の場合を示します。

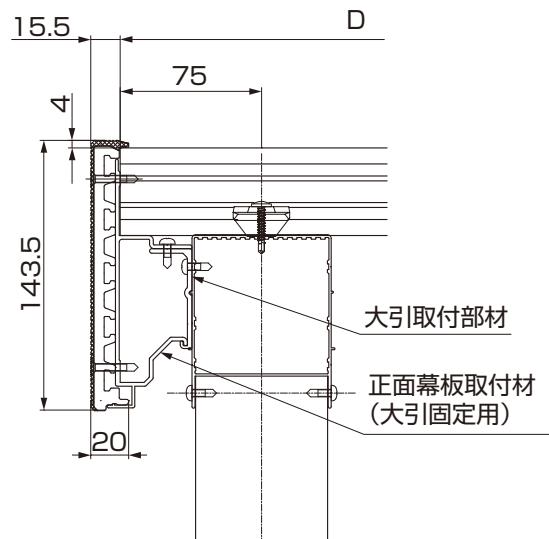


ポイント (Key Points)

- デッキの出幅最大寸法は、D+15.5mmです。
- デッキ最低H寸法は、束柱A: 170mm、束柱B: 373mm(ロング823mm)です。

2. 詳細納まり (つづき)

2-3 幕板大引固定 出幅方向納まり図(側面)



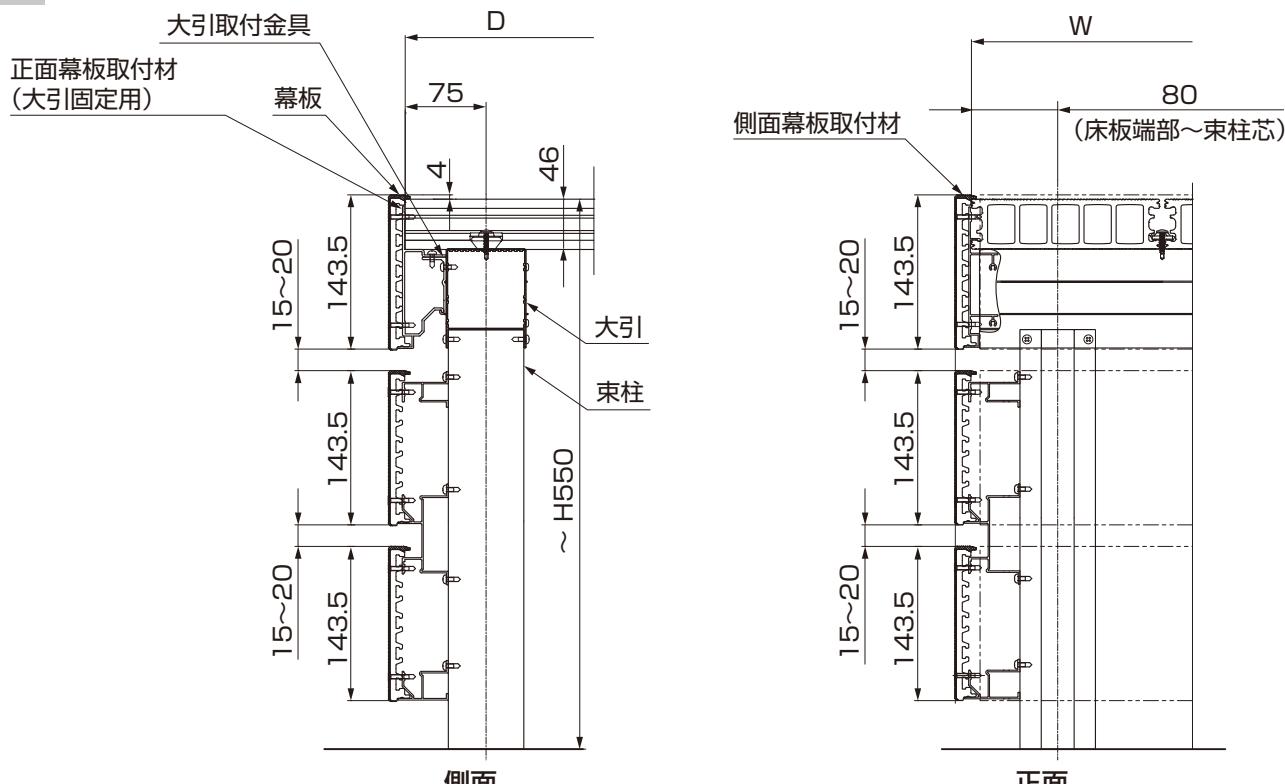
4

各部
名称と
基本寸法

ポイント

- デッキの出幅最大寸法は、D+15.5mmです。
- デッキの間口最大寸法は、W+31mmです。
- デッキ最低H寸法は、束柱A：170mm、束柱B：373mm(ロング823mm)です。

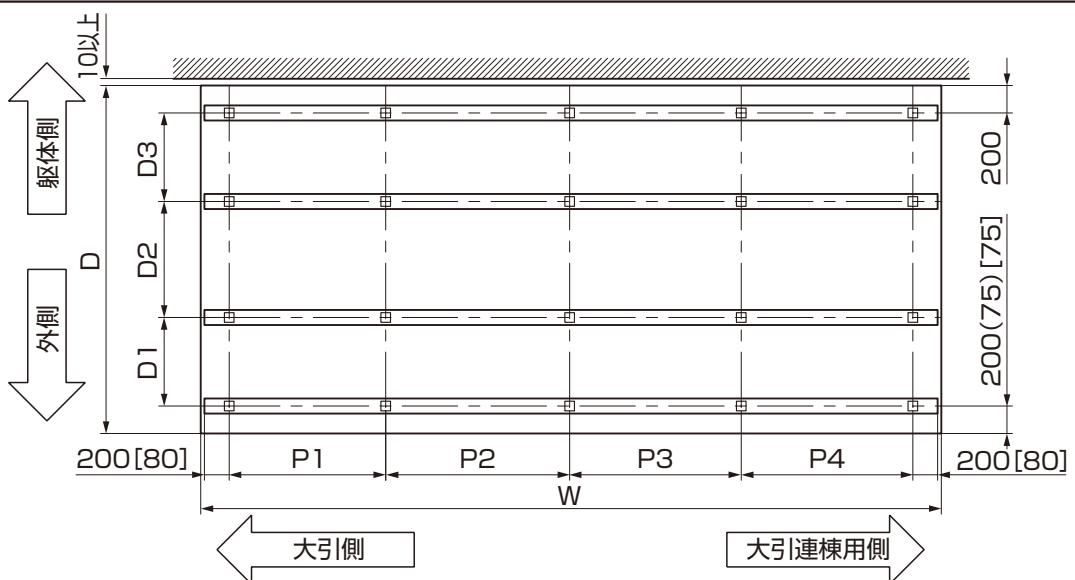
2-4 多段幕板



多段幕板

3. 床板縦張り基本寸法

3-1 基本寸法



間口方向寸法

	床板外々 W	幕板 デッキ外々 W+31	ピッチ寸法						使用大引	
			(大引側) ↔ (大引連棟用側)			P1 P2 P3 P4 P5 P6				
			P1	P2	P3	P4	P5	P6		
1.5間	2695	2726	1140	1140	—	—	—	—	1.5間	
2.0間	3595	3626	1590	1590	—	—	—	—	2.0間	
2.5間	4315	4346	1300	1300	1300	—	—	—	2.5間	
3.0間	5395	5426	1140	1340	1250	1250	—	—	1.5間+1.5間(連棟用)	
3.5間	6295	6326	1140	1340	1700	1700	—	—	1.5間+2.0間(連棟用)	
4.0間	7195	7226	1590	1790	1700	1700	—	—	2.0間+2.0間(連棟用)	
4.5間	7915	7946	1300	1300	1500	1700	1700	—	2.5間+2.0間(連棟用)	
5.0間	8815	8846	1300	1300	1500	1500	1400	1400	2.5間+2.5間(連棟用)	

大引連結部分

出幅方向寸法

	床板出幅 D	幕板 デッキ出幅 D+15.5	ピッチ寸法					使用床板	
			(外側) ↔ (躯体側)		D1 D2 D3 D4 D5				
			D1	D2	D3	D4	D5		
3尺	900	915.5	500	—	—	—	—	L=900	
4尺	1200	1215.5	800	—	—	—	—	L=1200	
5尺	1500	1515.5	550	550	—	—	—	L=1500	
6尺	1800	1815.5	700	700	—	—	—	L=1800	
7尺	2100	2115.5	850	850	—	—	—	L=2100	
8尺	2400	2415.5	700	600	700	—	—	L=2400	
9尺	2700	2715.5	700	900	700	—	—	L=2700	
10尺	2900	2915.5	700	900	900	—	—	L=2900	
12尺	3600	3615.5	700	900	900	700	—	L=3600	
15尺	4500	4515.5	700	900	900	900	700	L=1800, 2700	

床板連結部分

ポイント

- 束柱の芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
- 大引の芯々寸法は900mm以内にしてください。
- 床板の張出し寸法は、大引の芯から200mm以内にしてください。
- 床板と躯体等は10mm以上すき間をあけてください。
- 間口3.0間以上で大引の連結が必要になります。
- 大引の連結部は、必ず束柱を取付けてください。
- 床板を長さ方向に連結する場合は、2700mm以内の床板を使用してください。
- ()寸法は、幕板を大引固定する場合の寸法です。
- []寸法は、多段幕板の場合の寸法です。

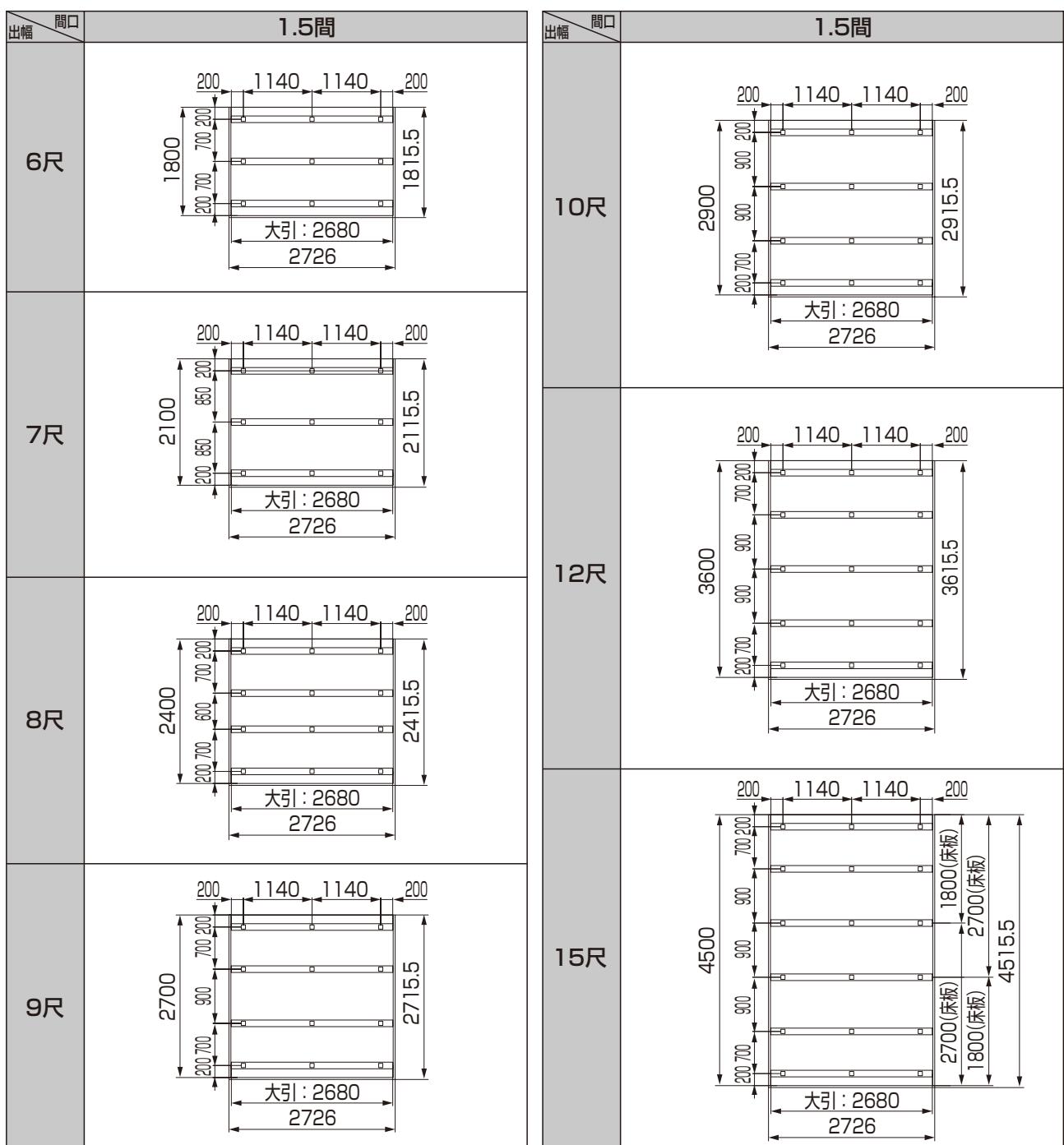
3. 床板縦張り基本寸法(つづき)

3-2 1.5間 ※図は、幕板を床板固定する場合の寸法です。幕板大引固定は「**3-1 基本寸法**」を参照してください。
※代表サイズが記載されています。3~5尺に関しては「**3-1 基本寸法**」を参照してください。



●右表の寸法を必ず守ってください。

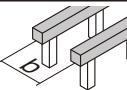
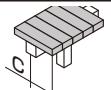
間口方向 束柱芯々寸法	出幅方向 大引芯々寸法	床板端部 張出し寸法	床板と軸体の すき間
 1800mm以内	 900mm以内	 200mm以内	 10mm以上

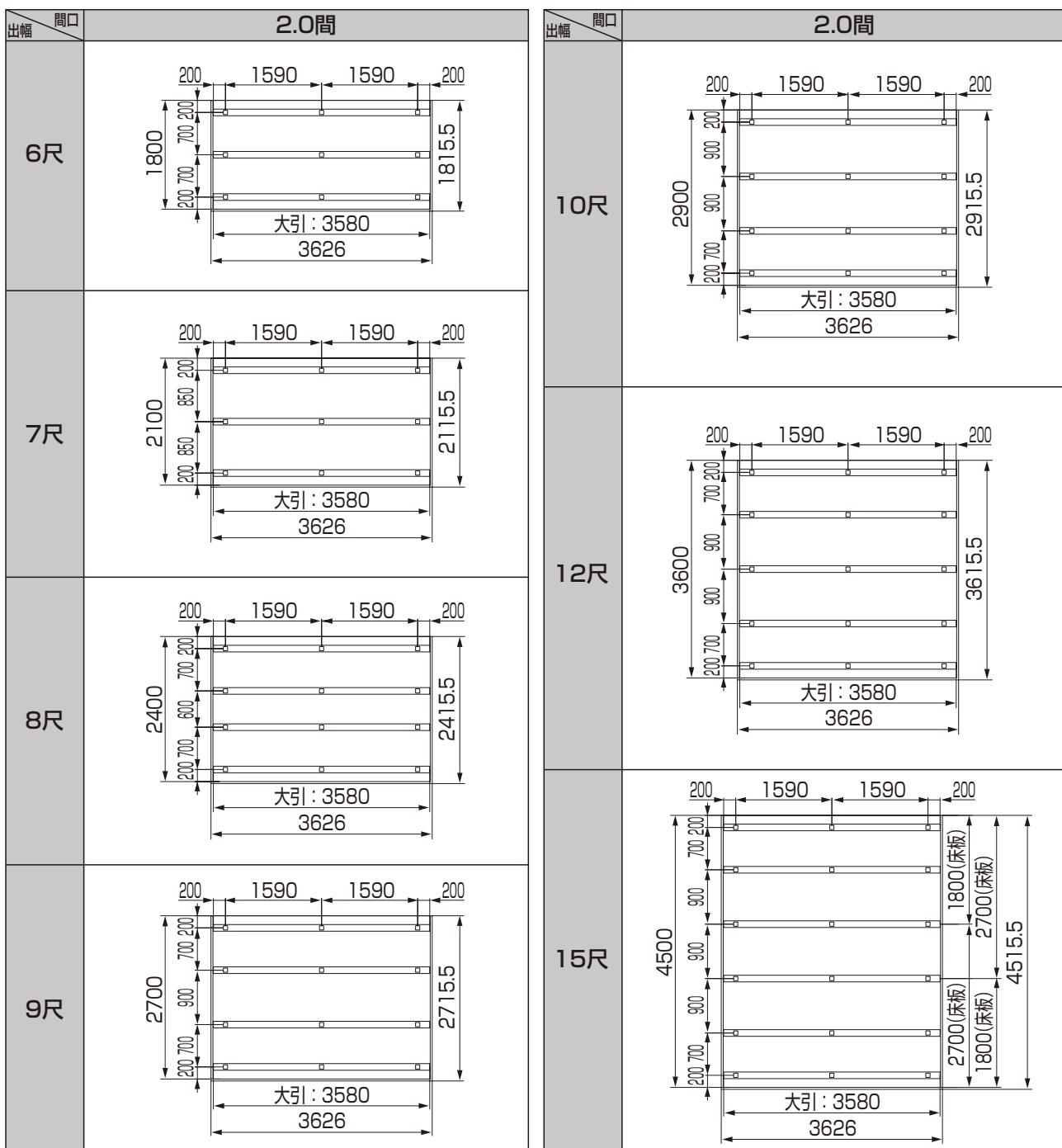


3-3 2.0間 ※図は、幕板を床板固定する場合の寸法です。幕板大引固定は「**3-1 基本寸法**」を参照してください。
※代表サイズが記載されています。3~5尺に関しては「**3-1 基本寸法**」を参照してください。

ポイント

- 右表の寸法を必ず守ってください。

間口方向 束柱芯々寸法	出幅方向 大引芯々寸法	床板端部 張出し寸法	床板と躯体の すき間
			

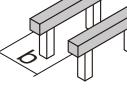
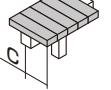
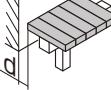


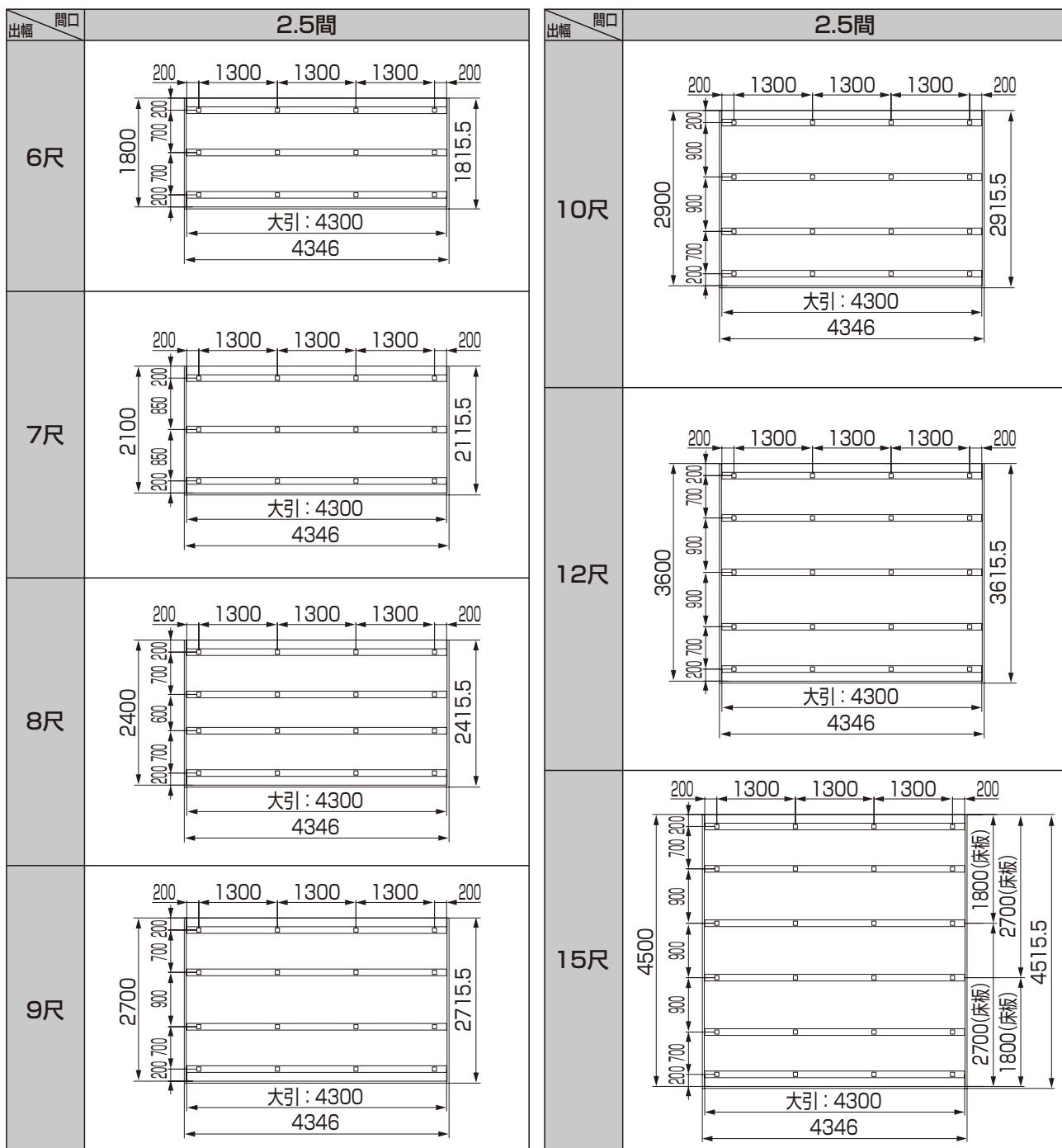
3. 床板縦張り基本寸法(つづき)

3-4 2.5間 ※図は、幕板を床板固定する場合の寸法です。幕板大引固定は「**3-1 基本寸法**」を参照してください。
※代表サイズが記載されています。3~5尺に関しては「**3-1 基本寸法**」を参照してください。

ポイント

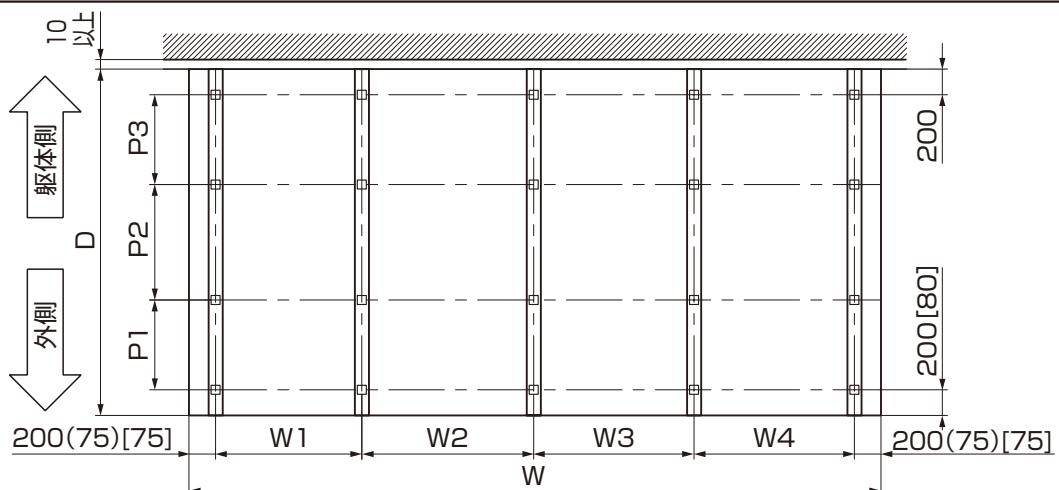
●右表の寸法を必ず守ってください。

間口方向 束柱芯々寸法	出幅方向 大引芯々寸法	床板端部 張出し寸法	床板と軸体の すき間
 1800mm以内	 900mm以内	 200mm以内	 10mm以上



4. 床板横張り基本寸法

4-1 基本寸法



開口方向寸法

	床板外々 W	幕板 デッキ外々 W+31	ピッチ寸法										使用床板
			W1	W2	W3	W4	W5	W6	W7	W8	W9	W10	
1.5間	2700	2731	700	900	700	-	-	-	-	-	-	-	L=2700
2.0間	3600	3631	700	900	900	700	-	-	-	-	-	-	L=3600
2.5間	4500	4531	700	900	900	900	700	-	-	-	-	-	L=1800, 2700
3.0間	5400	5431	700	900	900	900	900	700	-	-	-	-	L=1800, 2700
3.5間	6300	6331	700	900	900	900	900	900	700	-	-	-	L=1800, 2700
4.0間	7200	7231	700	900	900	900	900	900	900	700	-	-	L=1800, 2700
4.5間	8100	8131	700	900	900	900	900	900	900	900	700	-	L=1800, 2700
5.0間	9000	9031	700	900	900	900	900	900	900	900	900	700	L=1800, 2700

出幅方向寸法

	床板 外々 D	幕板 デッキ 外々 D+15.5	ピッチ寸法 (外側) ⇌ (軀体側)			間口毎の使用大引									
			P1	P2	P3	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	3.5間	4.0間	4.5間	5.0間		
3尺	895	910.5	480	-	-	1.5間×2本	1.5間×2本	1.5間×2本	2.0間×2本	2.0間×2本	1.5間×3本	1.5間×1本 +2.0間×2本	1.5間×1本 +2.0間×2本		
4尺	1255	1270.5	840	-	-	1.5間×2本	2.5間×2本	2.5間×2本	1.5間×2本 +2.5間×1本	1.5間×2本 +2.5間×2本	1.5間×3本	1.5間×2本 +2.5間×1本	1.5間×4本 +2.5間×2本		
5尺	1435	1450.5	1020	-	-	2.0間×2本	2.5間×2本	2.5間×2本	1.5間×2本 +2.5間×2本	2.0間×1本 +2.5間×2本	2.5間×3本	1.5間×1本 +2.5間×3本	2.5間×4本		
6尺	1795	1810.5	1380	-	-	2.0間×2本	1.5間×1本 +2.0間×2本	2.0間×3本	1.5間×1本 +2.0間×3本	2.0間×4本	1.5間×1本 +2.0間×4本	2.0間×5本	1.5間×1本 +2.0間×5本		
7尺	1975	1990.5	1560	-	-	2.5間×2本	1.5間×1本 +2.5間×2本	2.5間×3本	1.5間×1本 +2.5間×3本	2.5間×4本	1.5間×1本 +2.5間×4本	2.5間×5本	1.5間×1本 +2.5間×5本		
8尺	2335	2350.5	960	960	-	1.5間×4本	1.5間×5本	1.5間×6本	1.5間×7本	1.5間×8本	1.5間×9本	1.5間×10本	1.5間×11本		
9尺	2695	2710.5	1140	1140	-	1.5間×4本	1.5間×5本	1.5間×6本	1.5間×7本	1.5間×8本	1.5間×9本	1.5間×10本	1.5間×11本		
10尺	2875	2890.5	1230	1230	-	2.0間×4本	2.0間×5本	2.0間×6本	2.0間×7本	2.0間×8本	2.0間×9本	2.0間×10本	2.0間×11本		
12尺	3595	3610.5	1590	1590	-	2.0間×4本	2.0間×5本	2.0間×6本	2.0間×7本	2.0間×8本	2.0間×9本	2.0間×10本	2.0間×11本		
15尺	4495	4510.5	680	1800	1600	1.5間×4本 +連1.5間×4本	1.5間×5本 +連1.5間×5本	1.5間×6本 +連1.5間×6本	1.5間×7本 +連1.5間×7本	1.5間×8本 +連1.5間×8本	1.5間×9本 +連1.5間×9本	1.5間×10本 +連1.5間×10本	1.5間×11本 +連1.5間×11本		



大引連結部分

- 束柱の芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
- 大引の芯々寸法は900mm以内にしてください。
- 床板の張出し寸法は、大引の芯から200mm以内にしてください。
- 床板と軀体等は10mm以上すき間をあけてください。
- 出幅15尺以上で大引の連結が必要になります。
- 大引の連結部は、必ず束柱を取付けてください。
- 床板を長さ方向に連結する場合は、2700mm以内の床板を使用してください。
- ()寸法は、幕板を大引固定する場合の寸法です。
- []寸法は、多段幕板の場合の寸法です。

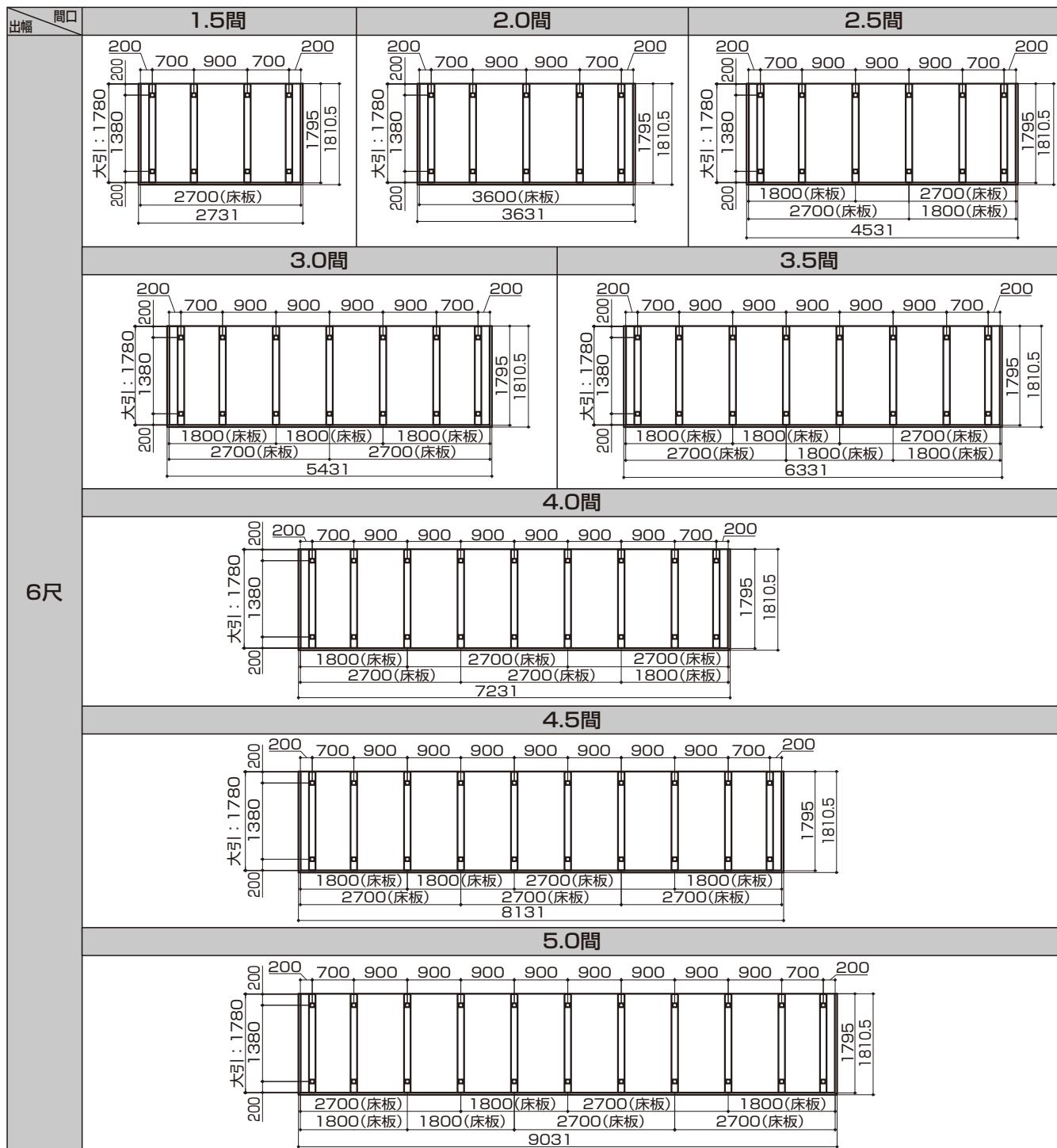
4. 床板横張り基本寸法(つづき)

4-2 6尺 ※図は、幕板を床板固定する場合の寸法です。幕板大引固定は「[4-1 基本寸法](#)」を参照してください。



- 右表の寸法を必ず守ってください。

間口方向 大引芯々寸法	出幅方向 束柱芯々寸法	床板端部 張出し寸法	床板と躯体の すき間
900mm以内	1800mm以内	200mm以内	10mm以上

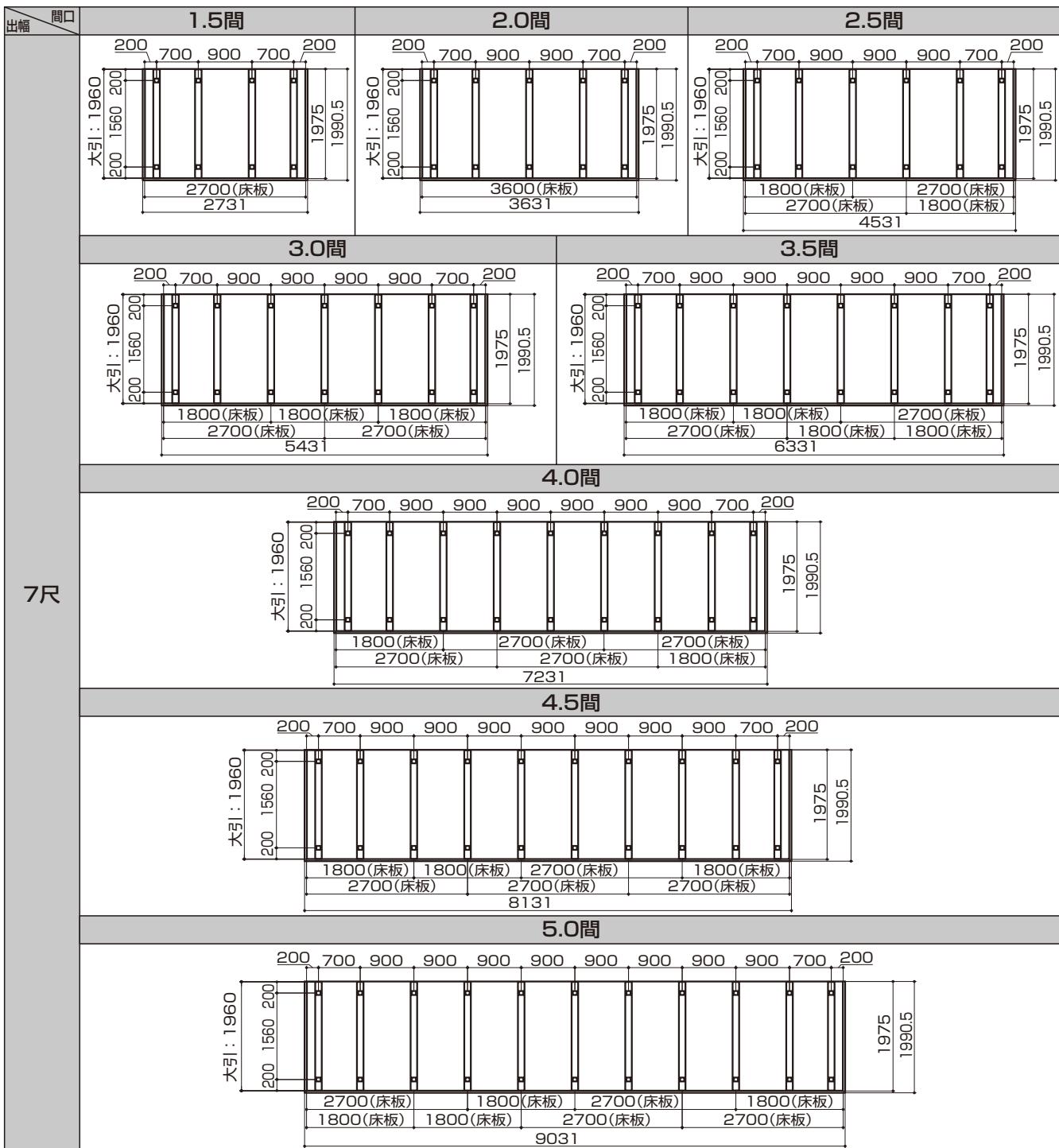


4-3 7尺 ※図は、幕板を床板固定する場合の寸法です。幕板大引固定は「4-1 基本寸法」を参照してください。

ポイント

- 右表の寸法を必ず守ってください。

間口方向 大引芯々寸法	出幅方向 束柱芯々寸法	床板端部 張出し寸法	床板と躯体の すき間
900mm以内	1800mm以内	200mm以内	10mm以上



4. 床板横張り基本寸法(つづき)

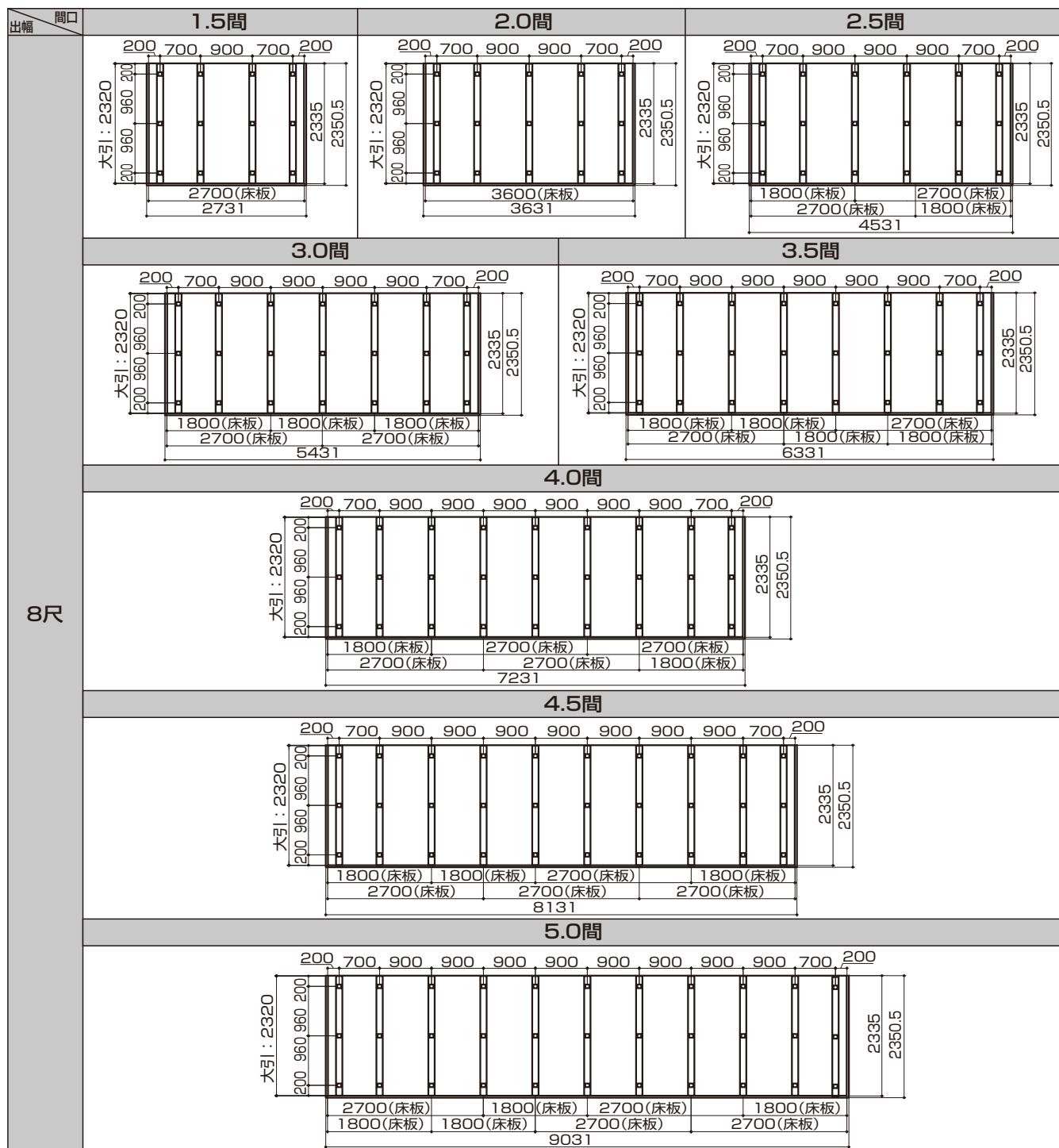
4-4 8尺

※図は、幕板を床板固定する場合の寸法です。幕板大引固定は「[4-1 基本寸法](#)」を参照してください。



- 右表の寸法を必ず守ってください。

間口方向 大引芯々寸法	出幅方向 束柱芯々寸法	床板端部 張出し寸法	床板と躯体の すき間
900mm以内	1800mm以内	200mm以内	10mm以上



5 束柱・大引の施工

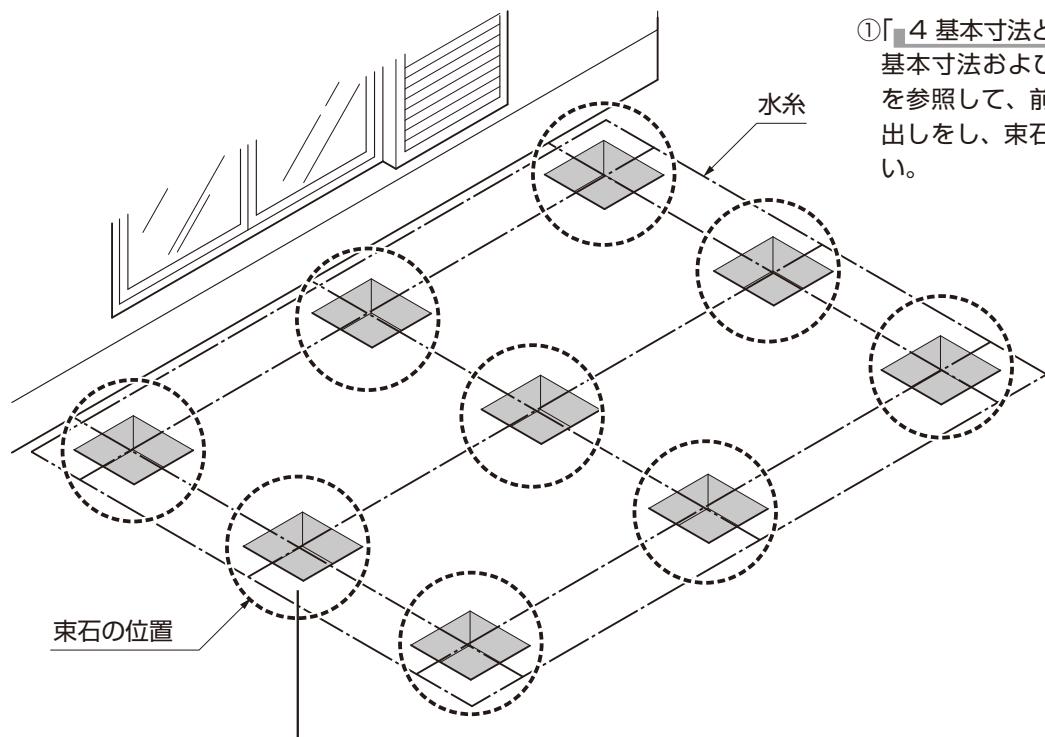
※土間施工の場合は、「5. 土間施工」を参照してください。

ポイント

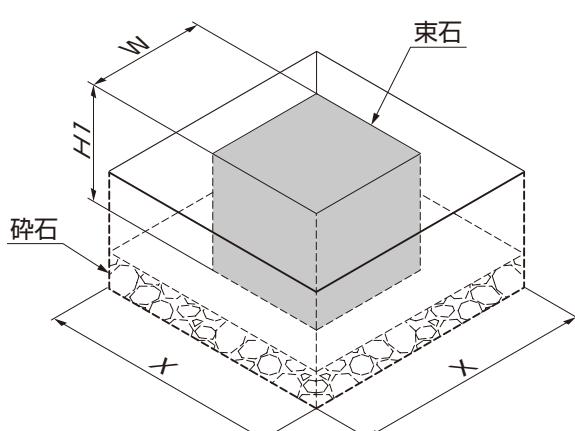
- 床板はフラット施工が標準施工です。現場の施工誤差により、床板上に水溜りができる場合があります。お客様のご要望により、水が溜まることが納得いただけない場合は、ご使用に問題がない範囲で勾配をつけていただいて構いません。

1. 基礎の施工

※スロープを施工する場合は、スロープ取付説明書(E366)を合わせて参照し、確実に施工してください。

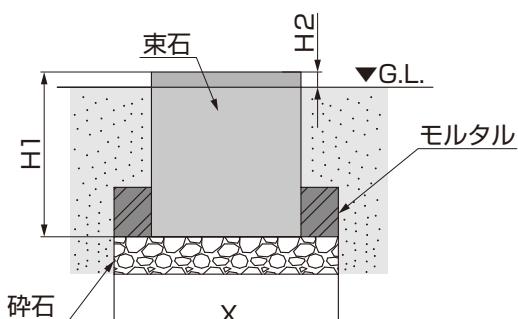


①「4 基本寸法と各部名称 3. 床板縦張り 基本寸法および4. 床板横張り基本寸法」を参照して、前面・両側面の水糸に寸法出しをし、束石の位置を決定してください。



●束石寸法表

束石サイズ	W	H1	H2	X
□200×H200	200	200	50mm以下	300
□200×H180	200	180	50mm以下	300
□190×H190	190	190	50mm以下	290
□300×H100	300	100	全埋込み	400

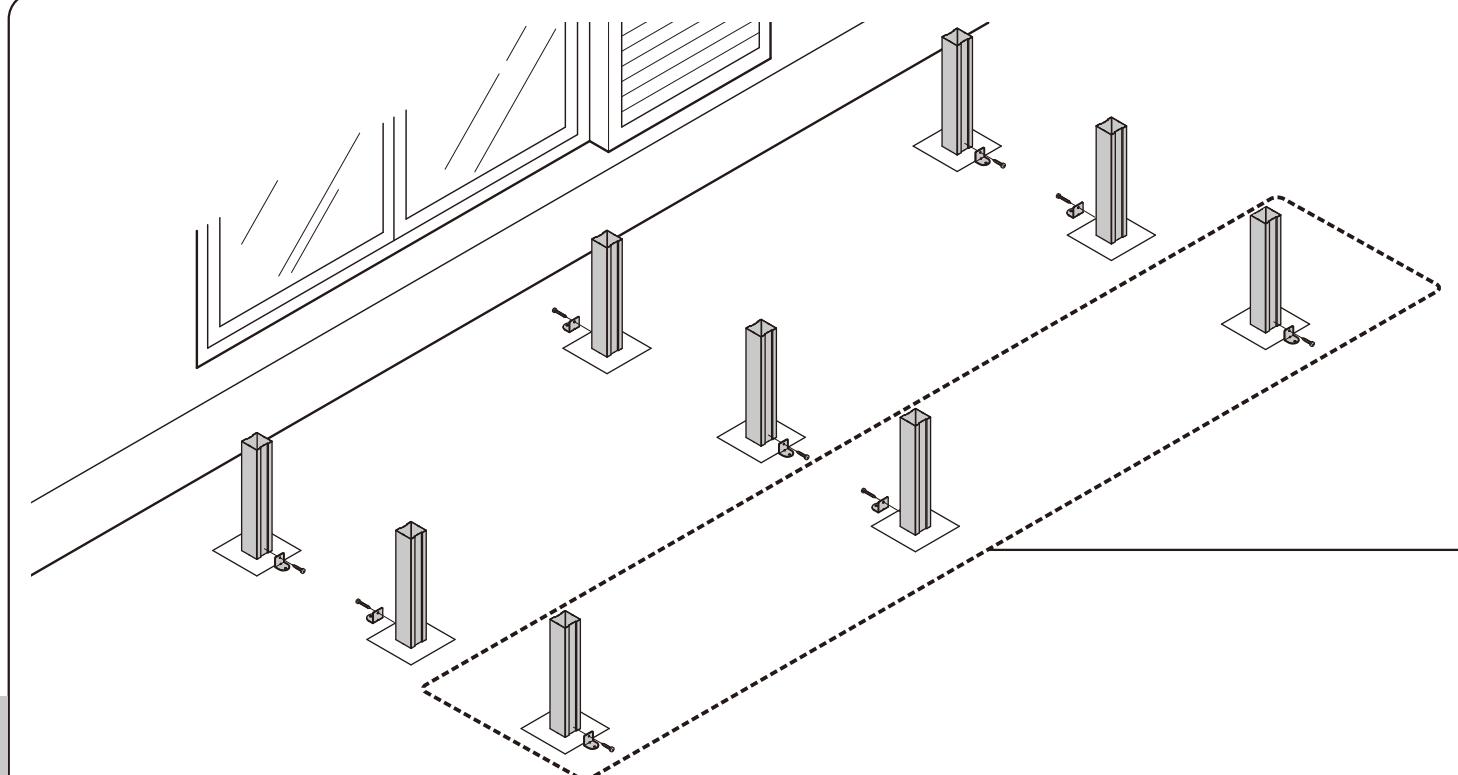


- ①指定位置に穴を掘り、碎石を敷いて突き固めてください。
- ②束石を設置し、レベルを出してください。
- ③束石のまわりをモルタルで固めてください。

ポイント

- 束石は必ず指定サイズのものを使用してください。
- 指示通りの施工を行なわないと基礎の浮き沈みや、床板の反りの原因になる場合があります。

2. 束柱・大引の取付け



5
施工
束柱・大引の工事

2-1 束柱の加工

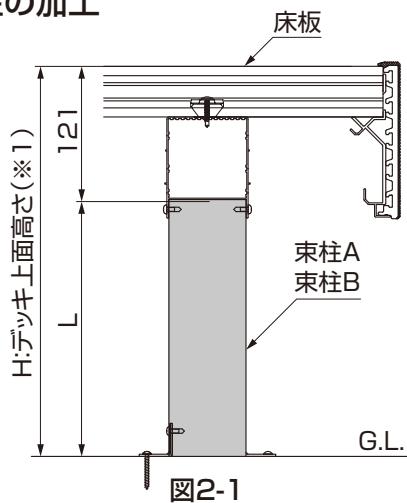
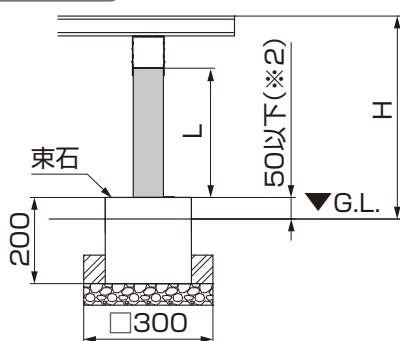


図2-1

補足



●束石をG.L.面より出す場合は、束石の高さ(※2)を考慮して切断してください。

- ①H寸法(デッキ上面高さ)を決定してください。
- ②束柱を切斷してください。

補足

- H(デッキ上面高さ)は最大550mm(ロング1000mm)、最小170mmです。(※1)
- 束柱Bは高さ調整式で、調整寸法は147mmです。
- 束柱Bの切断は、柱下部側の下面方向ならびに柱上部側の上面方向より、同寸法で行ってください。

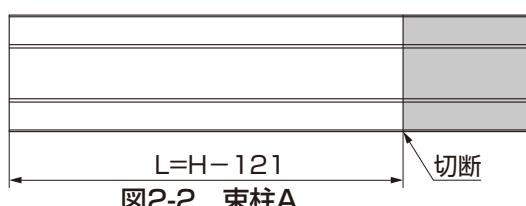


図2-2 束柱A

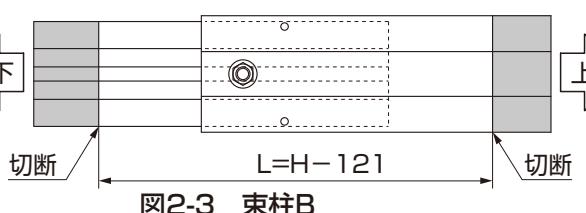
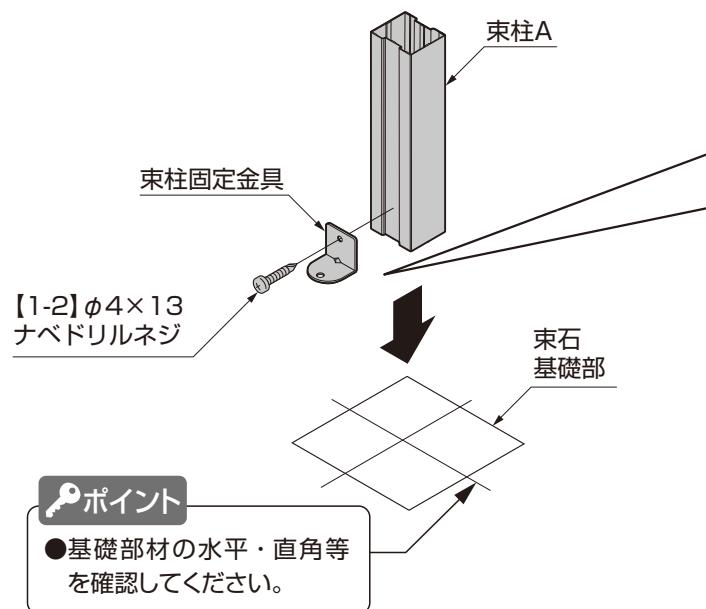


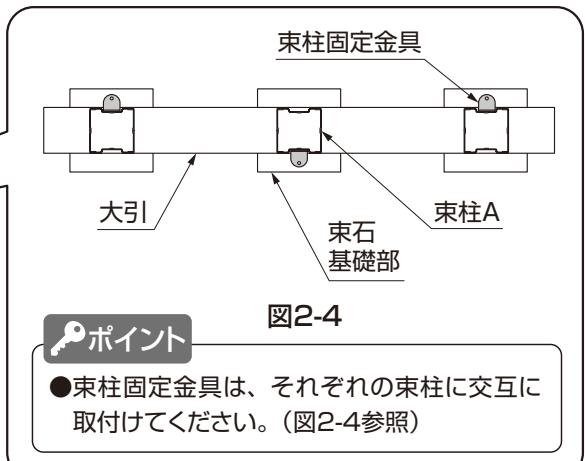
図2-3 束柱B

2-2 束柱固定金具の取付け

(1) 束柱Aの場合



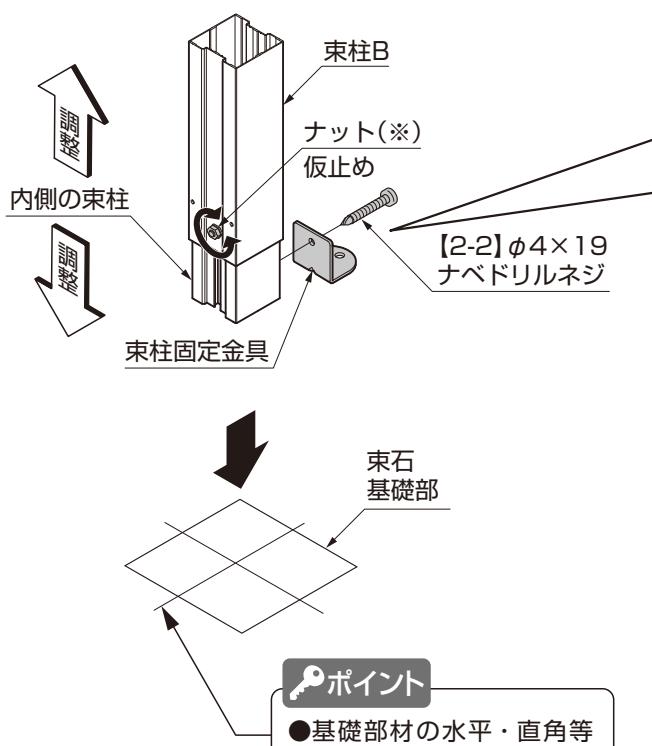
① 束柱Aに、束柱固定金具を【1-2】で固定してください。



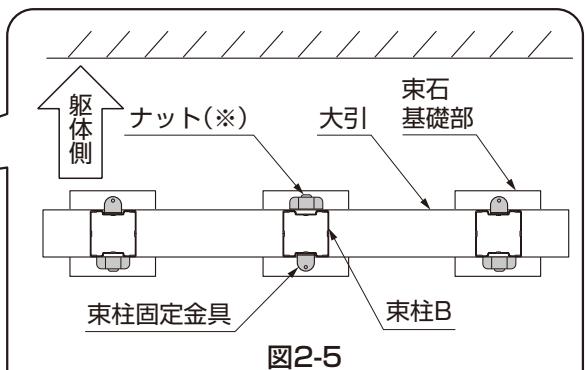
ポイント

- 束柱固定金具は、それぞれの束柱に交互に取付けてください。(図2-4参照)

(2) 束柱Bの場合



① 束柱Bに、束柱固定金具を【2-2】で固定してください。



ポイント

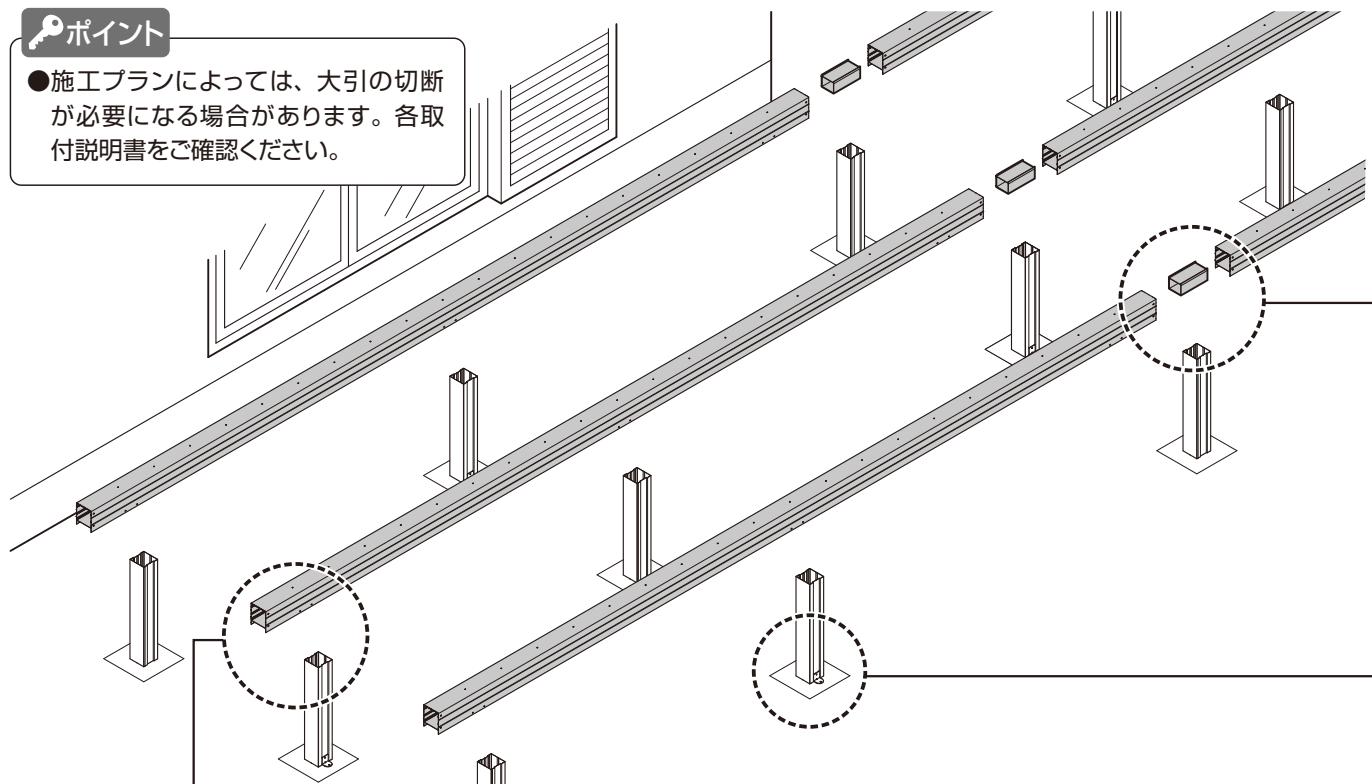
- 束柱Bはナットを緩め、内側の束柱をスライドさせて表へ出し、ナット(※)を仮締めして、内側の束柱が下になるように取付けてください。
- 束柱固定金具は、それぞれの束柱に交互に取付けてください。(図2-5参照)

② 「4 基本寸法と各部名称 3. 床板縦張り基本寸法および 4. 床板横張り基本寸法」を参照して、前面・両側面の水糸に寸法出しをし、束石または基礎部に束柱Bをのせてください。

2. 束柱・大引の取付け（つづき）

ポイント

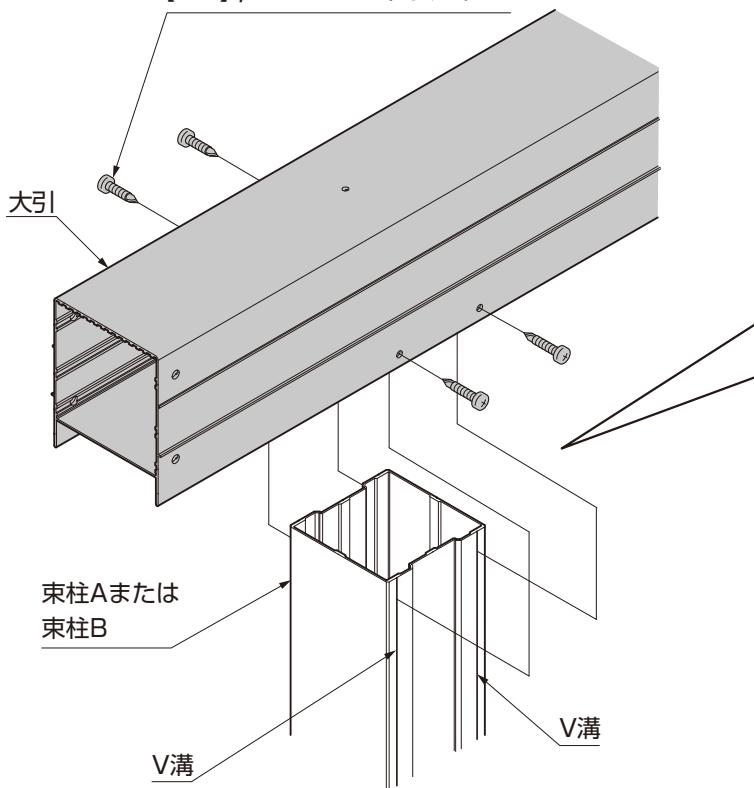
●施工プランによっては、大引の切断が必要になる場合があります。各取付説明書をご確認ください。



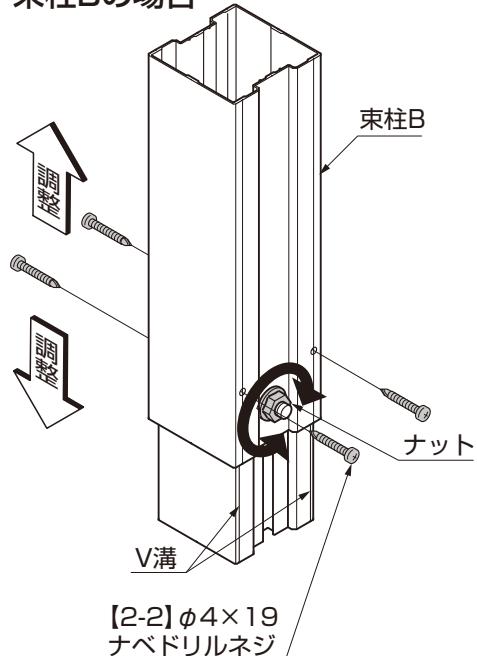
5
施工
束柱・大引の取付け

2-3 大引の取付け

【1-2】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジまたは
【2-2】 $\phi 4 \times 19$ ナベドリルネジ



束柱Bの場合

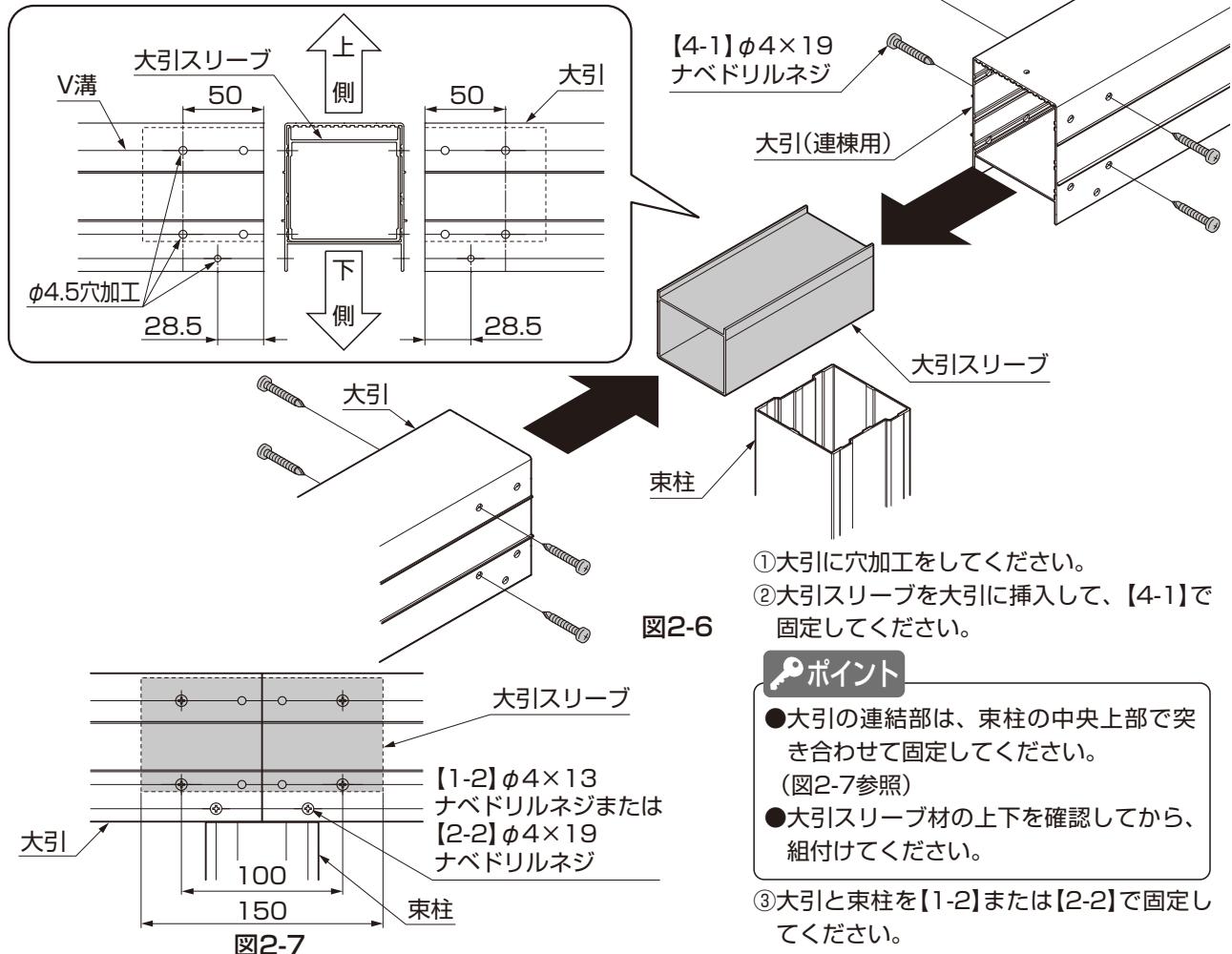


ポイント

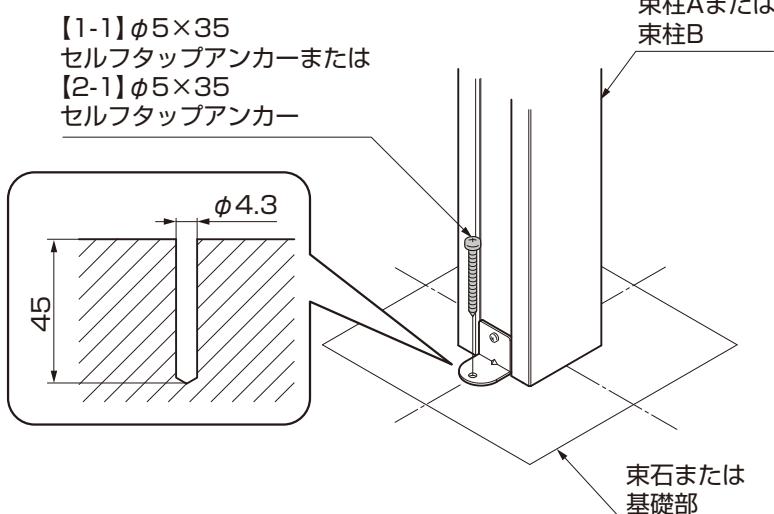
●束柱Bはナットを緩め、高さを調節し、水平・直角を確認してからナットを締め、V溝に【2-2】で固定してください。

①大引と束柱Aまたは束柱BをV溝に合わせて【1-2】または【2-2】で固定してください。

2-4 大引の連結



2-5 束柱の固定



補足

- 根がらみ(オプション)を使用する場合は、「3.根がらみの取付け(オプション)」を参照してください。

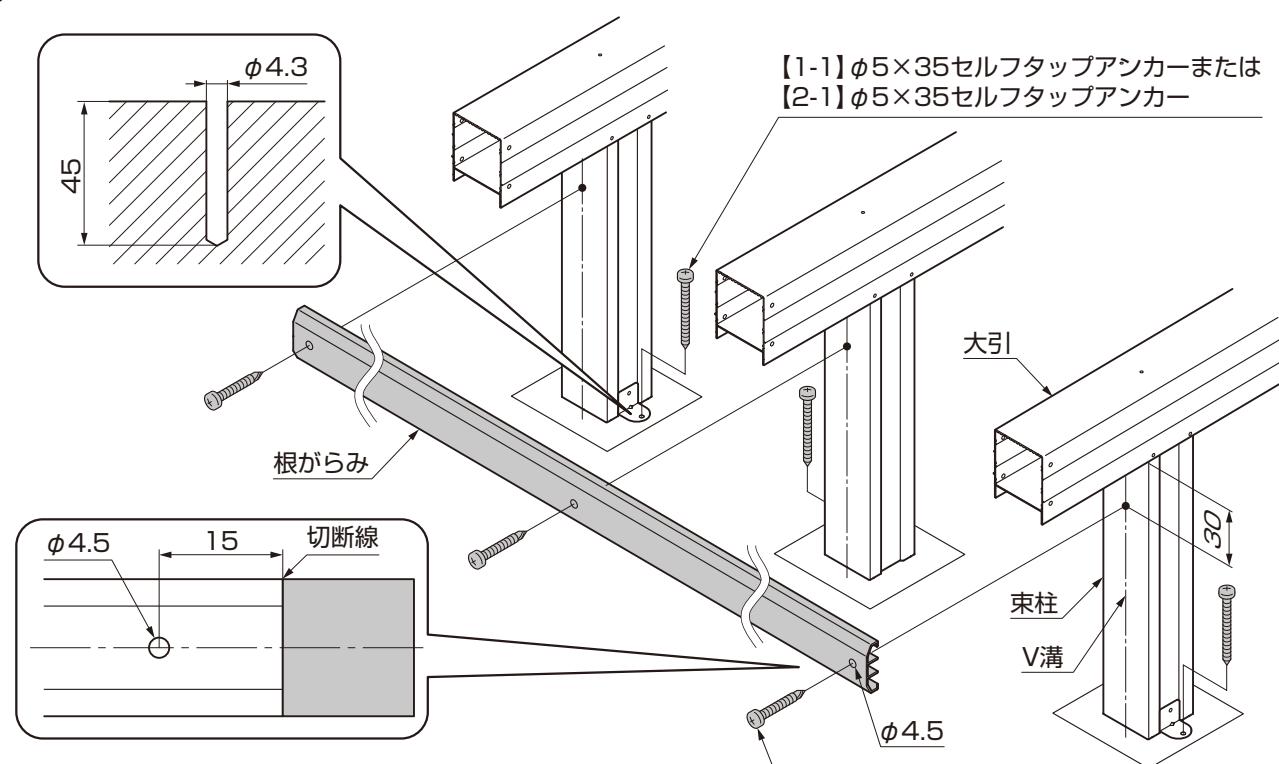
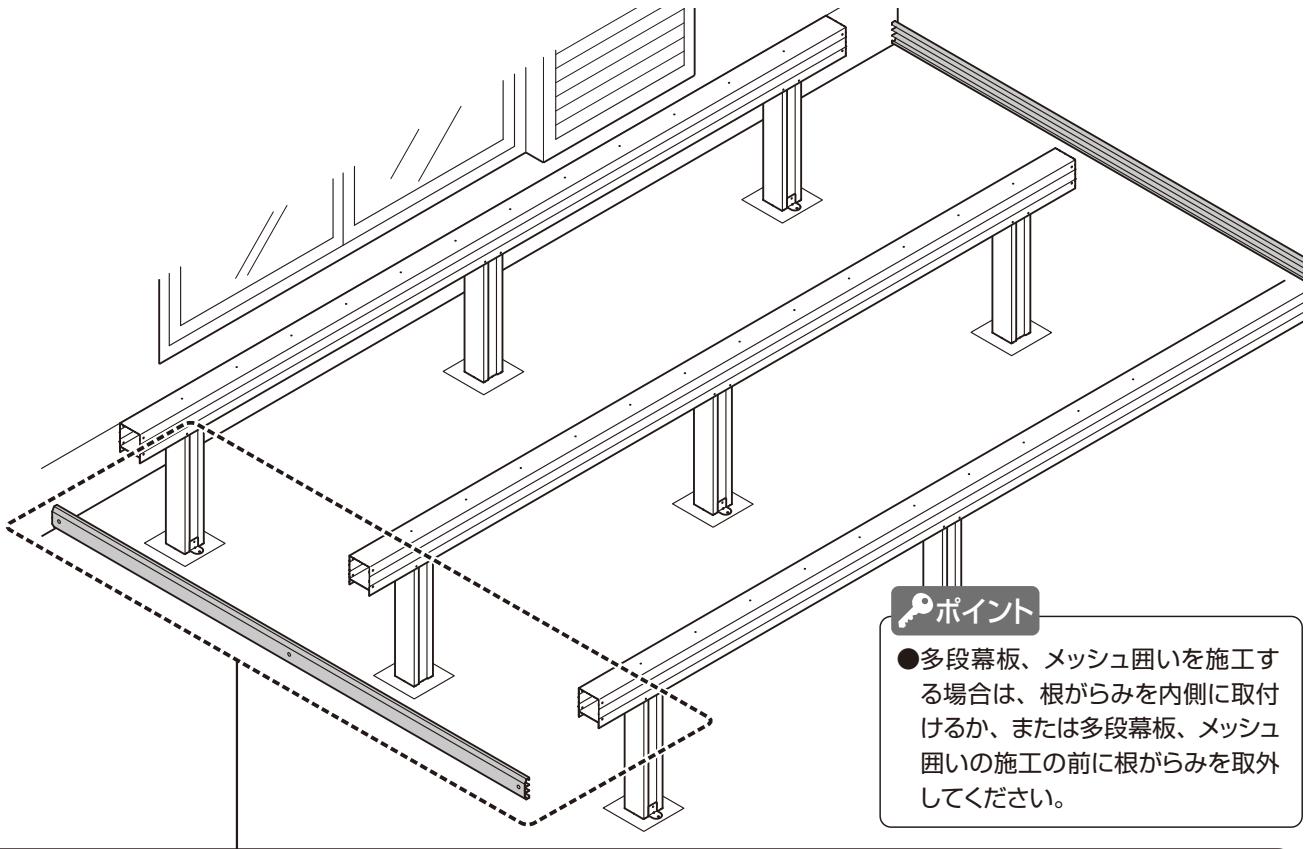
① 束石または基礎部に、φ4.3で深さ45mmの下穴を開けてください。

② 束柱固定金具を束石または基礎部に【1-1】または【2-1】で固定してください。

ポイント

- 下穴φ4.3は正確にあけてください。
- 穴に残ったカスは充分清掃してください。
- 束柱と束石の固定は、基礎部材の水平・直角等を確認後に行ってください。

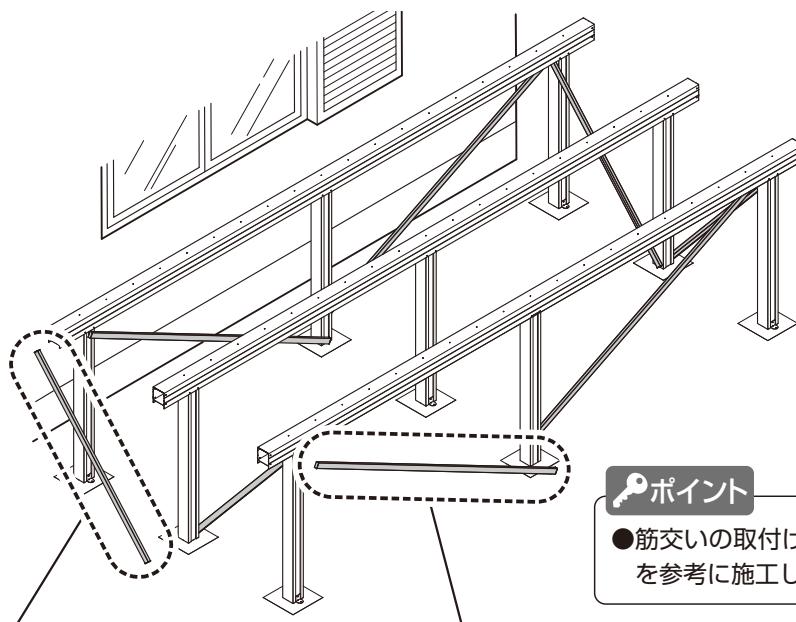
3. 根がらみの取付け オプション



- ①大引のピッチにあわせて根がらみにφ4.5の穴をあけてください。
 - ②根がらみを端部の穴から15mmの位置で切断してください。
 - ③束柱のV溝にあわせて根がらみを束柱の上端から30mmの位置に、[6-1]または[7-1]で取付けてください。
 - ④基礎石に下穴をあけ、[1-1]または[2-1]で束柱を固定してください。
- [6-1]φ4×19ナベドリルネジまたは
[7-1]φ4×19ナベドリルネジ

4. 筋交いの取付け

*ロング束柱の場合の作業です。



ポイント

- 筋交いの取付けは、「4-2 筋交いの施工例」を参考に施工してください。

4-1 筋交いの取付け

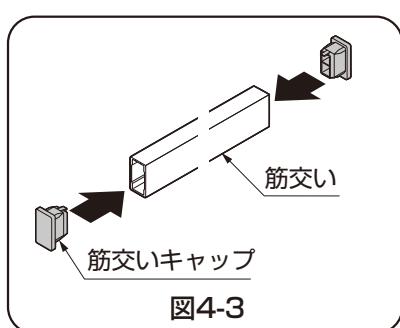


図4-3

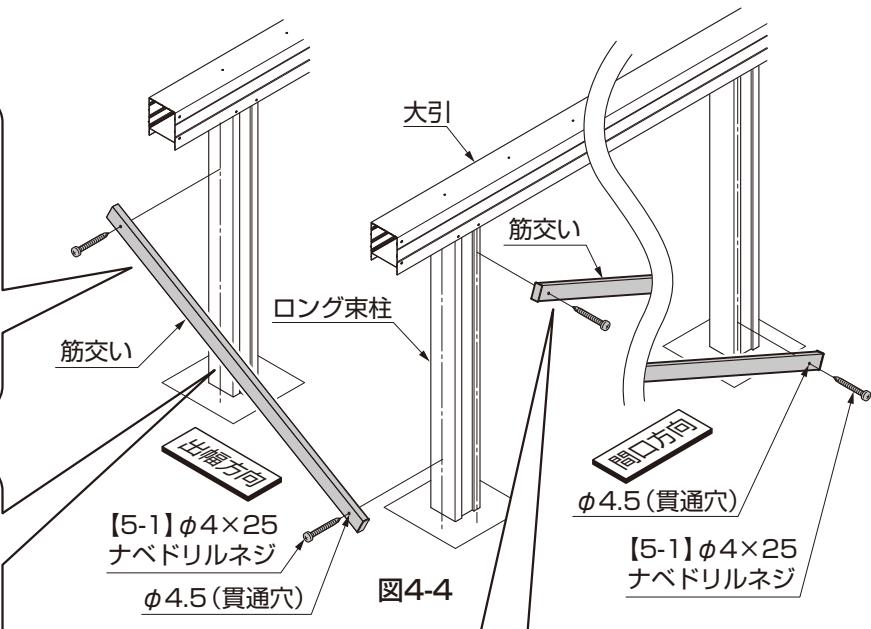


図4-4

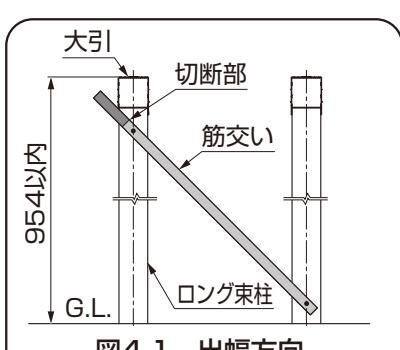


図4-1 出幅方向

ポイント

- 筋交い端部はロング束柱からはみ出ないようにしてください。

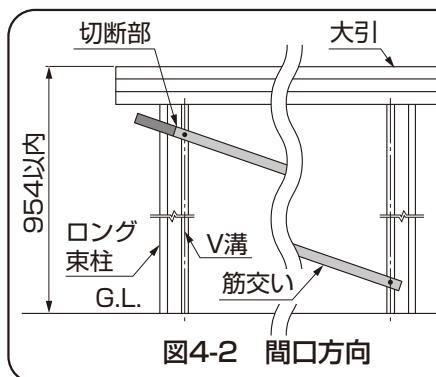


図4-2 間口方向

ポイント

- ロング束柱 内-内のV溝センターにネジ止めしてください。
段落ち部へのネジ止めはしないでください。
- 筋交い端部はロング束柱からはみ出ないようにしてください。

①取付位置を確認し、ロング束柱からはみ出さないように切断してください。(図4-1、図4-2参照)

②筋交いの両端に筋交いキャップを押し込んで取付けてください。(図4-3参照)

③筋交いにφ4.5の穴をあけてください。(図4-4参照)

④ロング束柱に筋交いを、【5-1】で固定してください。(図4-4参照)

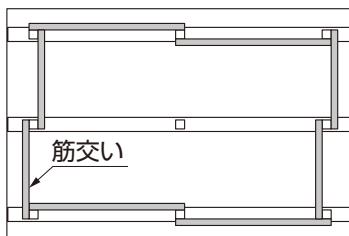
4. 筋交いの取付け(つづき)

4-2 筋交いの施工例

ポイント

- 筋交いは、ロング束柱の内側・外側交互に取付けてください。
- 横張りの場合は、図を横にして読み替えてください。

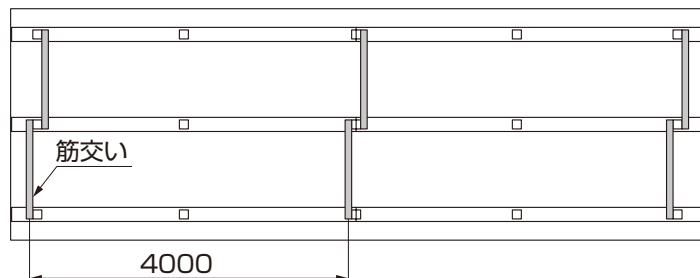
(1) 出幅4000mm未満、間口4000mm未満の場合



ポイント

- 床板方向は、両側面側に配置してください。
- 大引方向は、前面側と躯体側に配置してください。

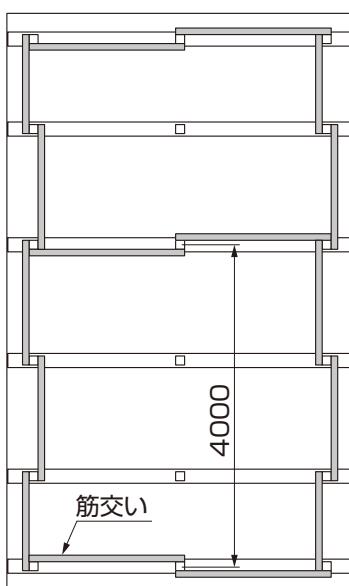
(2) 出幅4000mm未満、間口4000mm以上の場合



ポイント

- 床板方向は、両側面側と間口4000mmにつき1筋配置してください。

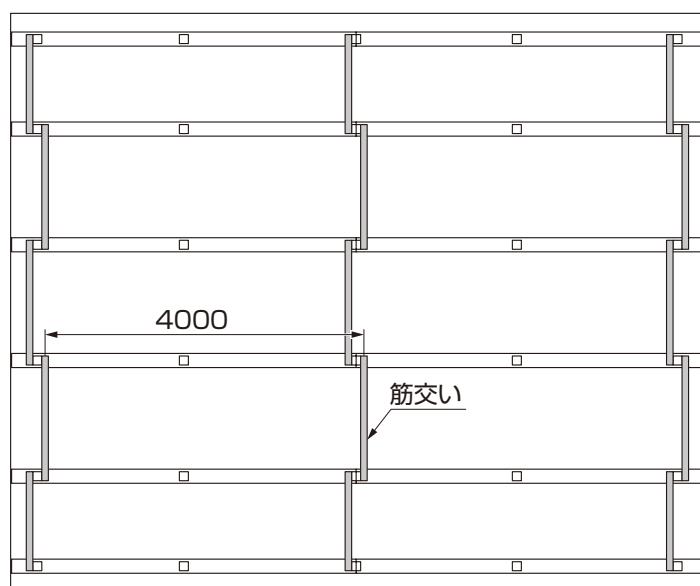
(3) 出幅4000mm以上、間口4000mm未満の場合



ポイント

- 大引方向は、前面側、躯体側ならびに出幅4000mmにつき1筋配置してください。
- 床板方向は、両側面側に配置してください。

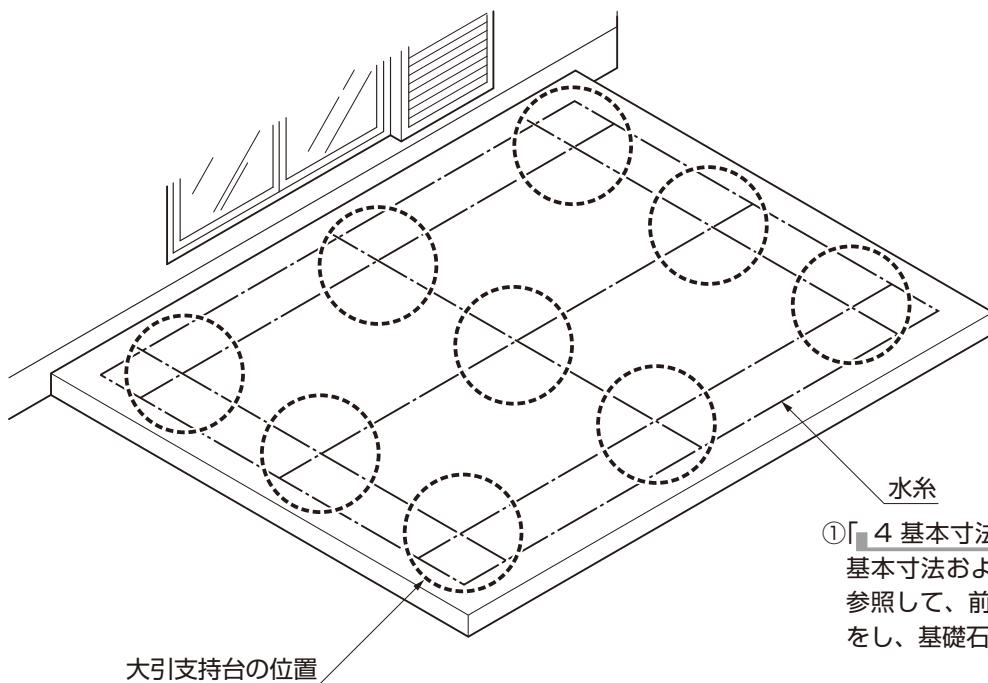
(4) 出幅4000mm以上、間口4000mm以上の場合



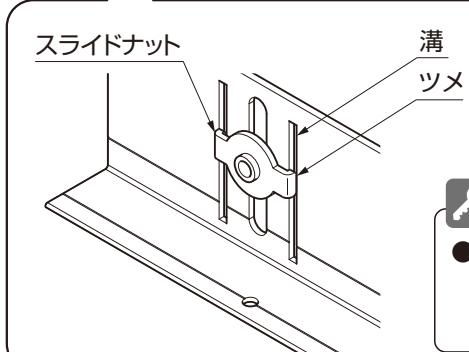
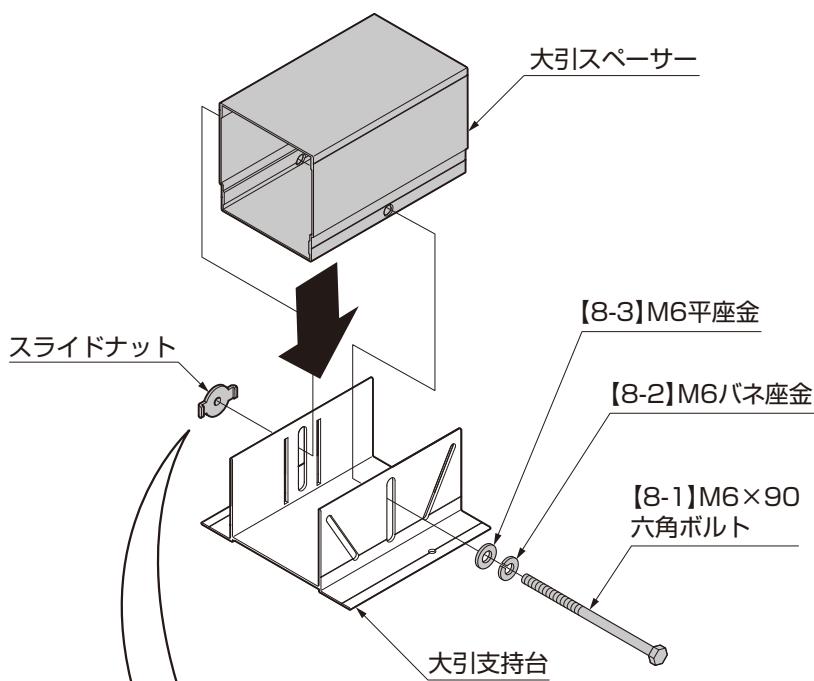
ポイント

- 床板方向は、両側面側と間口4000mmにつき1筋配置してください。

5. 土間施工



①「**4 基本寸法と各部名称 3. 床板縦張り 基本寸法および 4. 床板横張り基本寸法**」を参照して、前面・両側面の水糸に寸法出しをし、基礎石の位置を決定してください。



ポイント

- スライドナットのツメを溝にはめて確実に締め付けてください。

②大引支持台に大引スペーサーを【8-1】[8-2][8-3]とスライドナットで仮固定してください。

	デッキ高さ
補助スペーサーなし	200~240
1個	247~287

補足

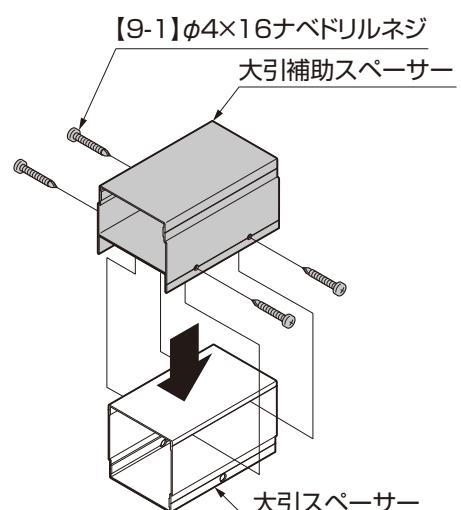
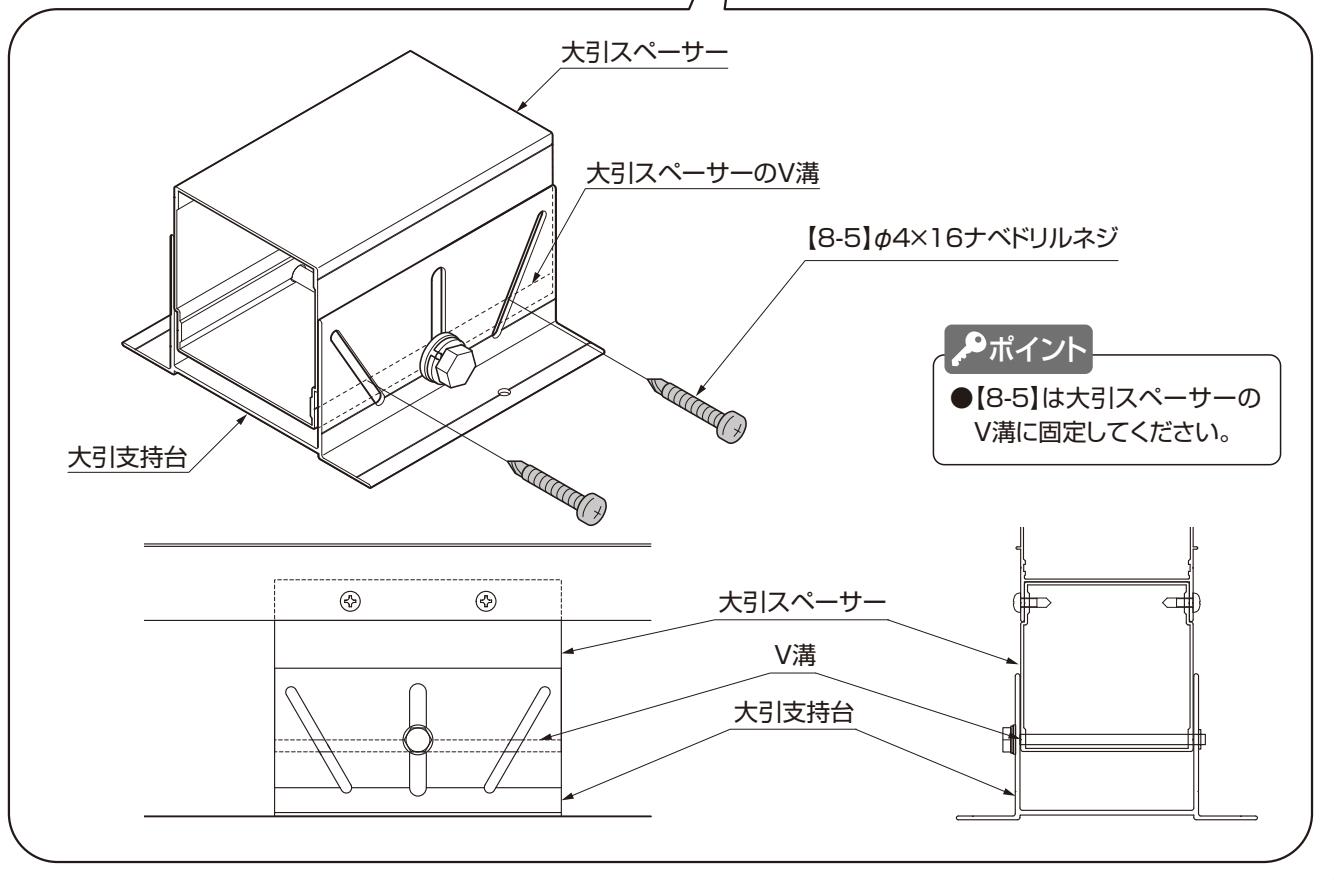
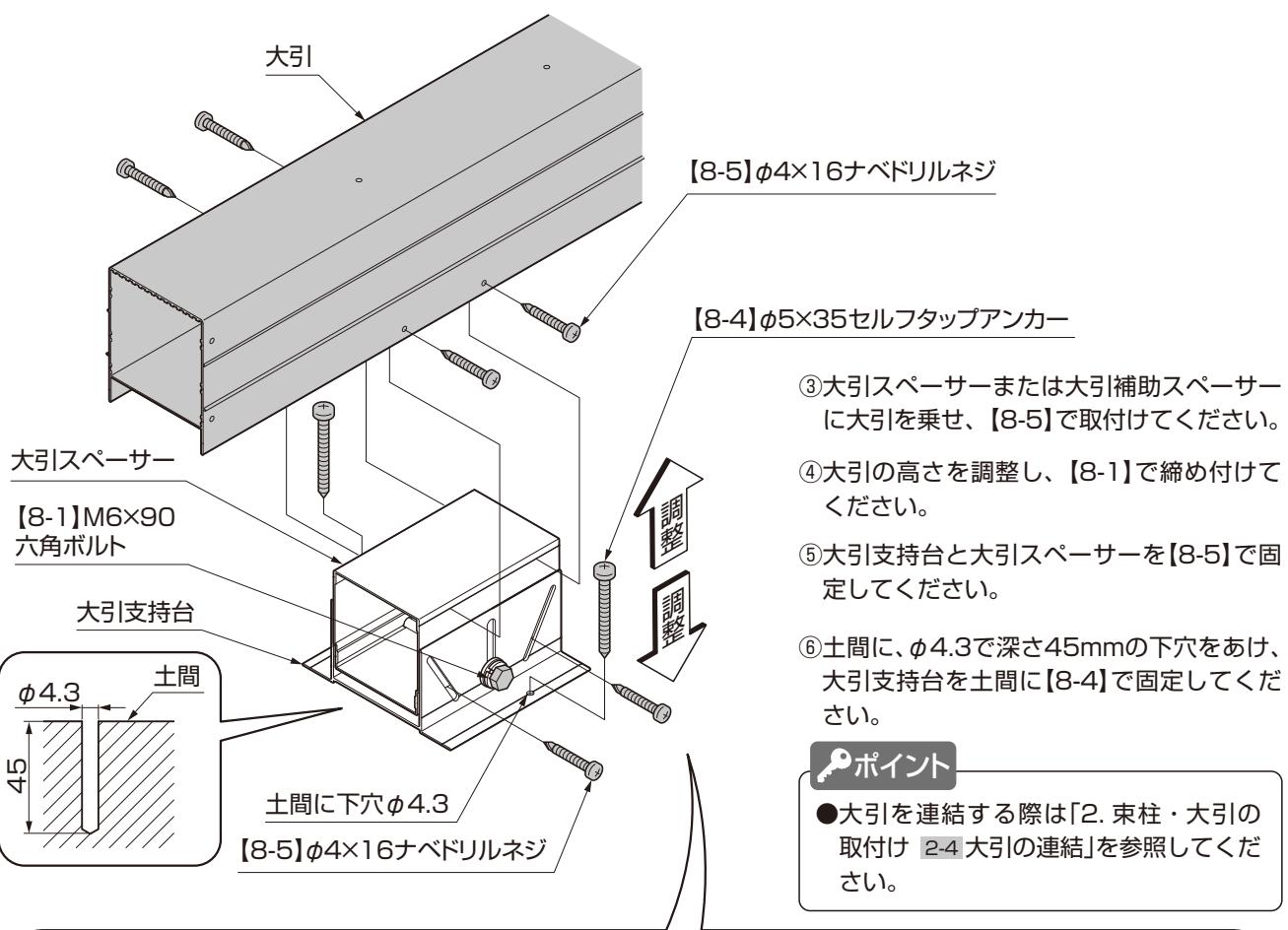


図5-1 大引辅助スペーザーを使う場合

- 大引辅助スペーザーを使用する場合は、大引スペーザーに【9-1】で取付けてください。

5. 土間施工（つづき）



6 床板の施工

※T-12を超えるフェンス柱を取付ける場合は、床板補強材の取付けが必要となります。

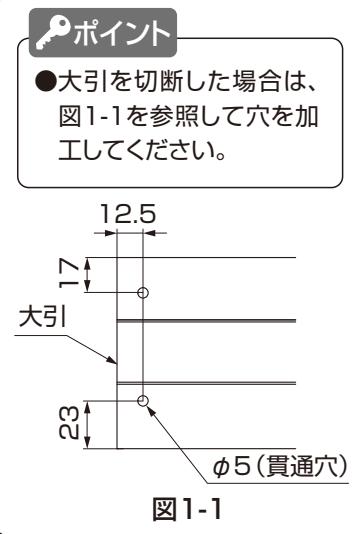
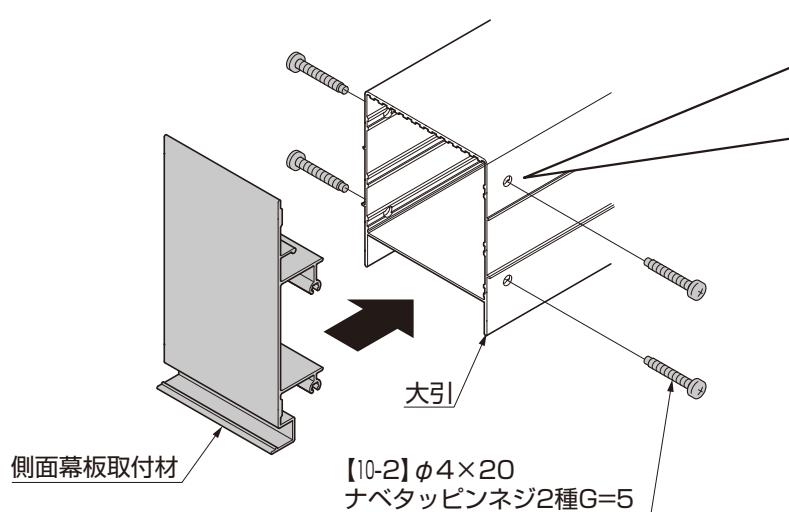
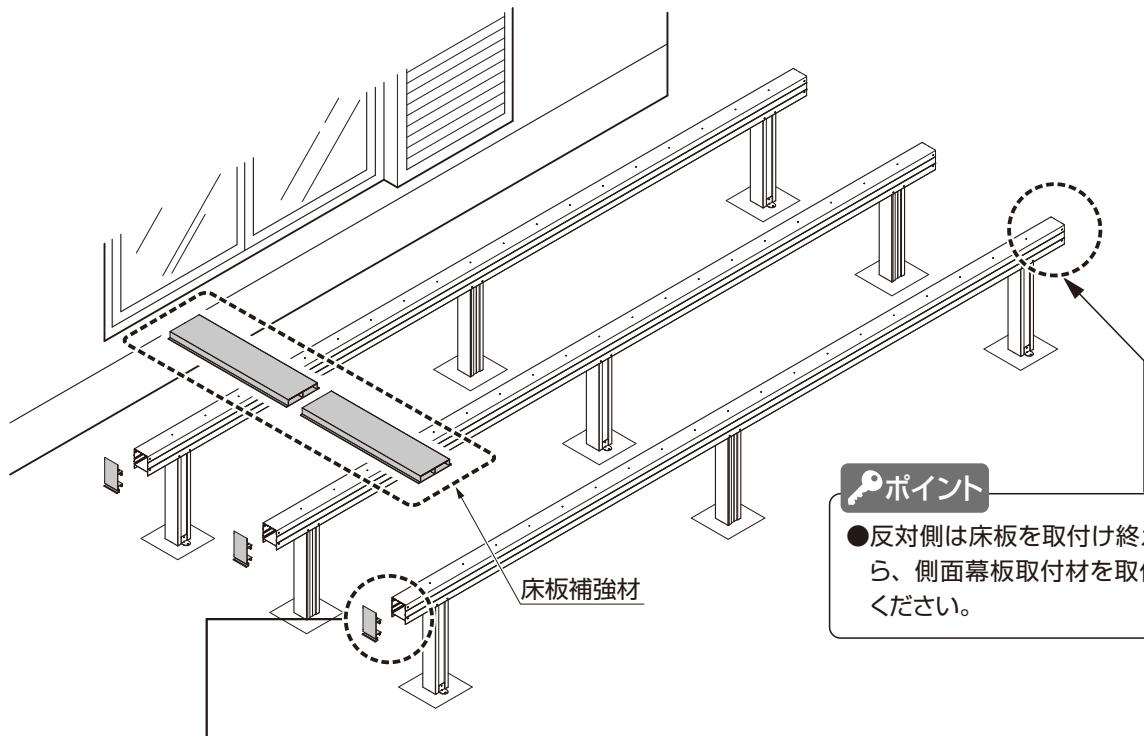
床板等を取付ける前に、「10 床板補強材の取付けおよび各取付説明書」を参照して、確実に施工してください。

※軸体付けアングルを取付ける場合は床板等を取付ける前に、「11 オプション 3. 軸体付けアングルの取付けオプション」を参照してください。

※補助根太を取付ける場合は床板等を取付ける前に、「9 隅切り施工 2. 補助根太の取付けオプション」を参照してください。

※床板キャップを取付ける場合は床板等を取付ける前に、「11 オプション 4. 床板キャップの取付けオプション」を参照してください。

1. 側面幕板取付材の取付け



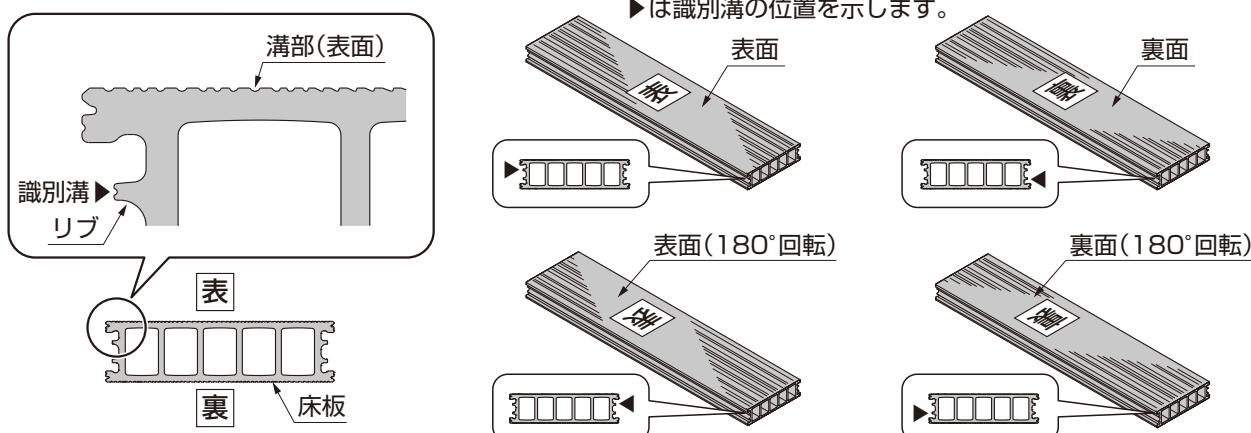
①床板を取付け始める側に、側面幕板取付材を大引に【10-2】で固定してください。

2. 床板の取付け

ポイント

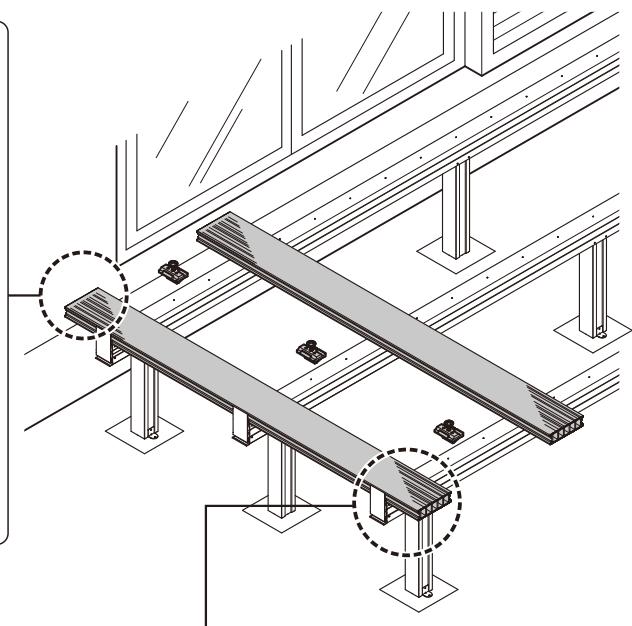
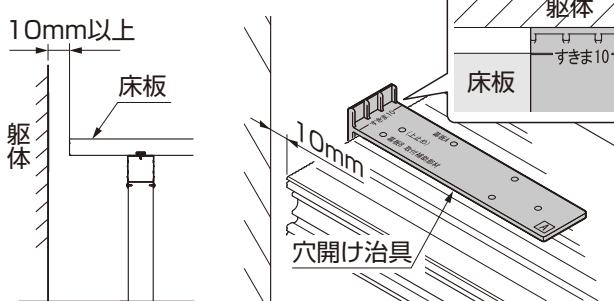
- 床板の表面には不規則な溝があり、表裏・回転により4パターンの柄の組合せが可能です。
現場状況に合わせて床板を組合せて取付けてください。側面のリブには識別用の溝があります。

▶は識別溝の位置を示します。

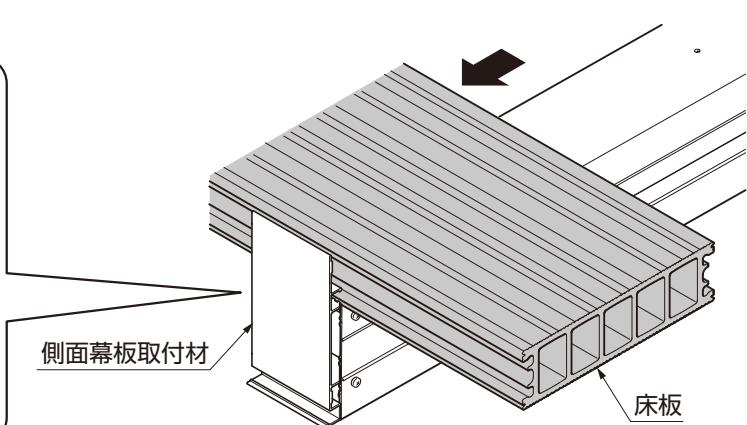
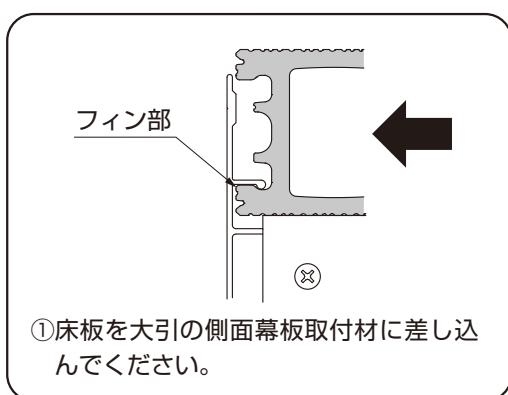


ポイント

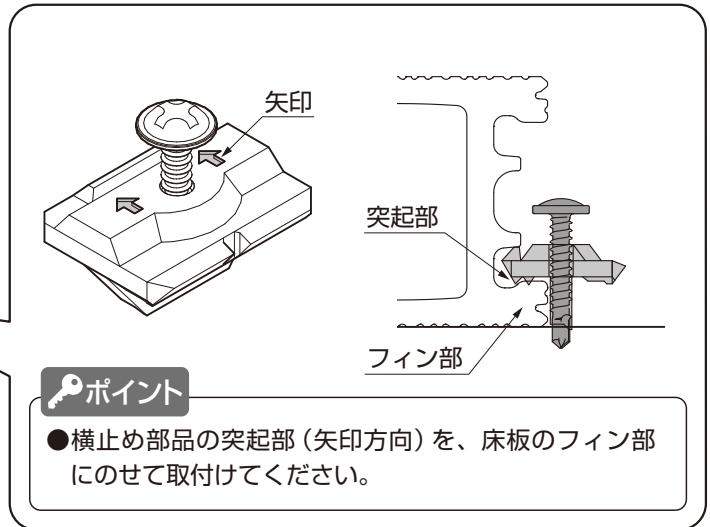
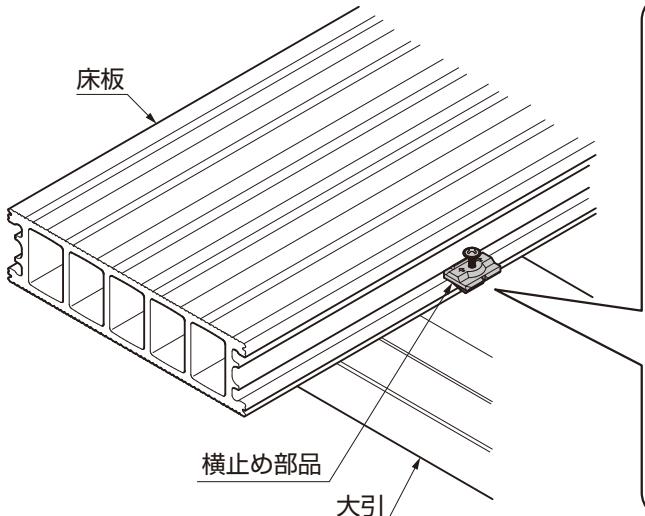
- 床板と躯体のすき間に穴開け治具を当て、すき間が10mm以上あることを確認してください。



2-1 床板1枚目の固定



2-2 横止め部品の取付け

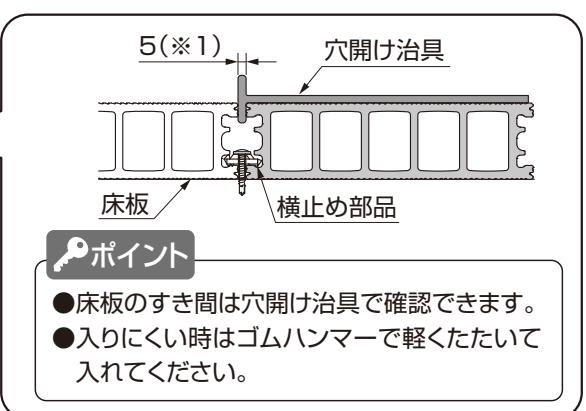
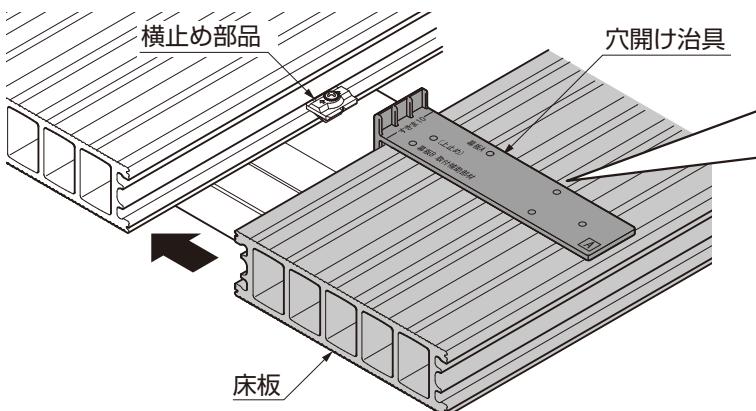


ポイント

- 横止め部品の突起部(矢印方向)を、床板のフィン部にのせて取付けてください。

- ①横止め部品に組み込まれているネジを大引の下穴に締め込んでください。
- ②「2-3 床板2枚目以降の固定」以降も同様に取付けてください。

2-3 床板2枚目以降の固定

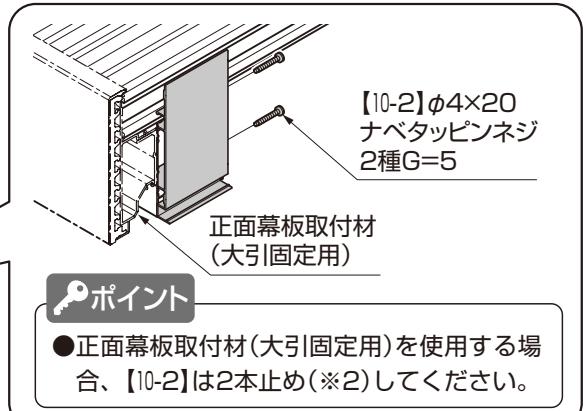
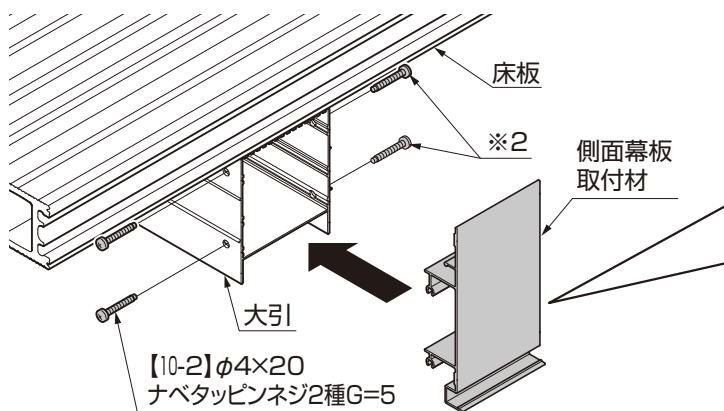


ポイント

- 床板のすき間は穴開け治具で確認できます。
- 入りにくい時はゴムハンマーで軽くたたいて入れてください。

- ①床板同士のすき間が5mm(※1)になるように、床板を横止め部品に差し込んでください。

2-4 側面幕板取付材の固定



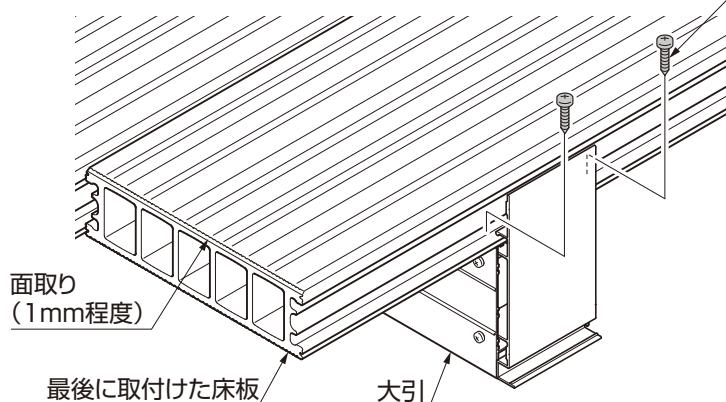
ポイント

- 正面幕板取付材(大引固定用)を使用する場合、[10-2]は2本止め(※2)してください。

- ①側面幕板取付材を大引に【10-2】で取付けてください。

2. 床板の取付け(つづき)

2-5 床板の固定

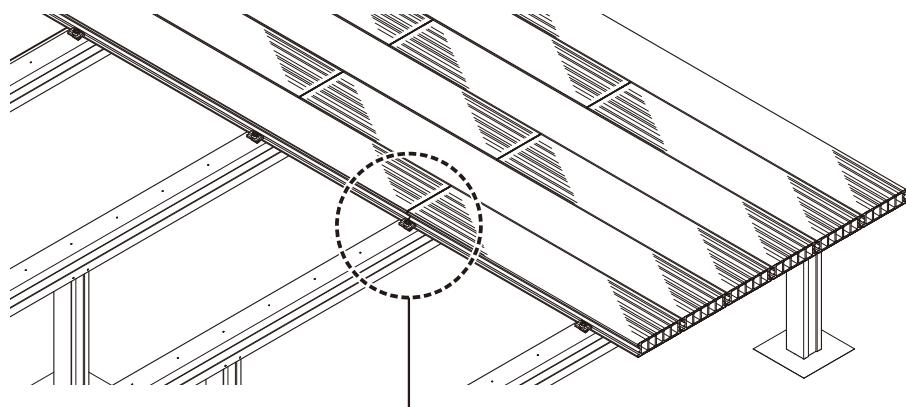


【13-1】 $\phi 4 \times 12$ ナベタッピンネジ1種

ポイント

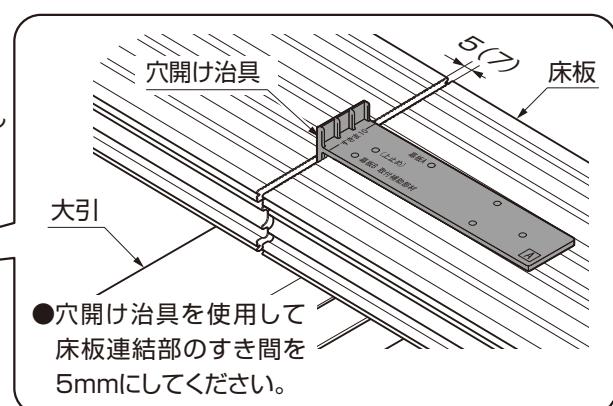
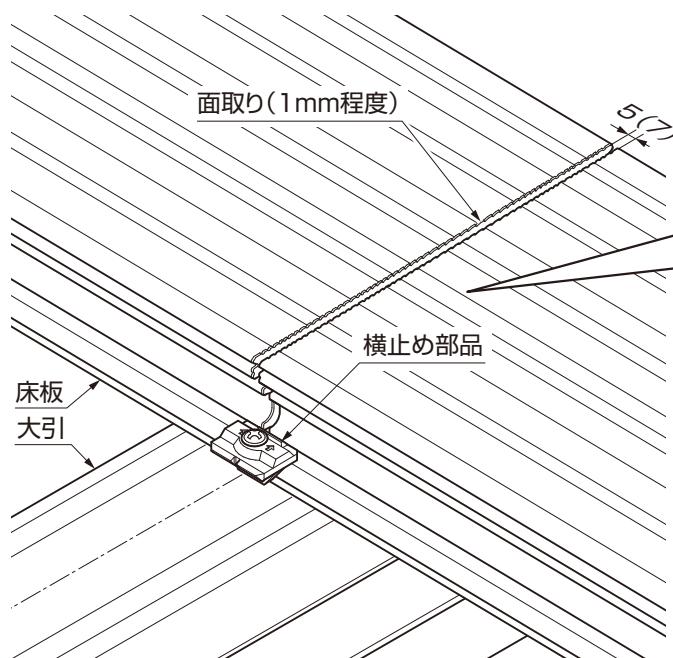
- 【13-1】は、最後に取付けた床板の側面側に取付けてください。ネジを取付けないと床板が動くおそれがあります。
- 全ての床板の小口の上部は必ず面取りしてください。水溜りの原因になります。

2-6 床板を縦連結する場合



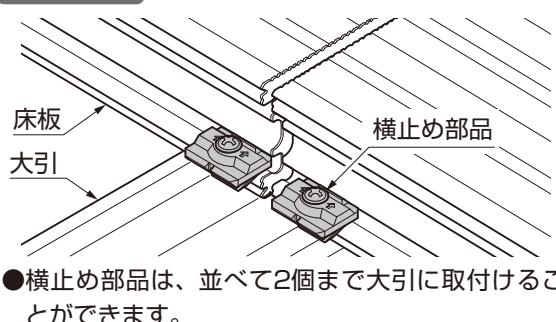
ポイント

- 床板を連結する場合は、必ず千鳥張りにしてください。千鳥張りにしないと、床板が反り・変形するおそれがあります。



- 穴開け治具を使用して床板連結部のすき間を5mmにしてください。

補足



- 横止め部品は、並べて2個まで大引に取付けることができます。

- ①床板の連結は必ず大引上の中間にしてください。
- ②床板連結部のすき間は下記の通りにしてください。
 - ・床板L1800まで \Rightarrow 5mm
 - ・床板L1801~2700まで \Rightarrow 7mm
- ③連結部の床板小口は軽く(1mm程度)面取りをしてください。

3. 床板の上止め

※躯体が入隅の場合の作業です。

3-1 床板の上止め

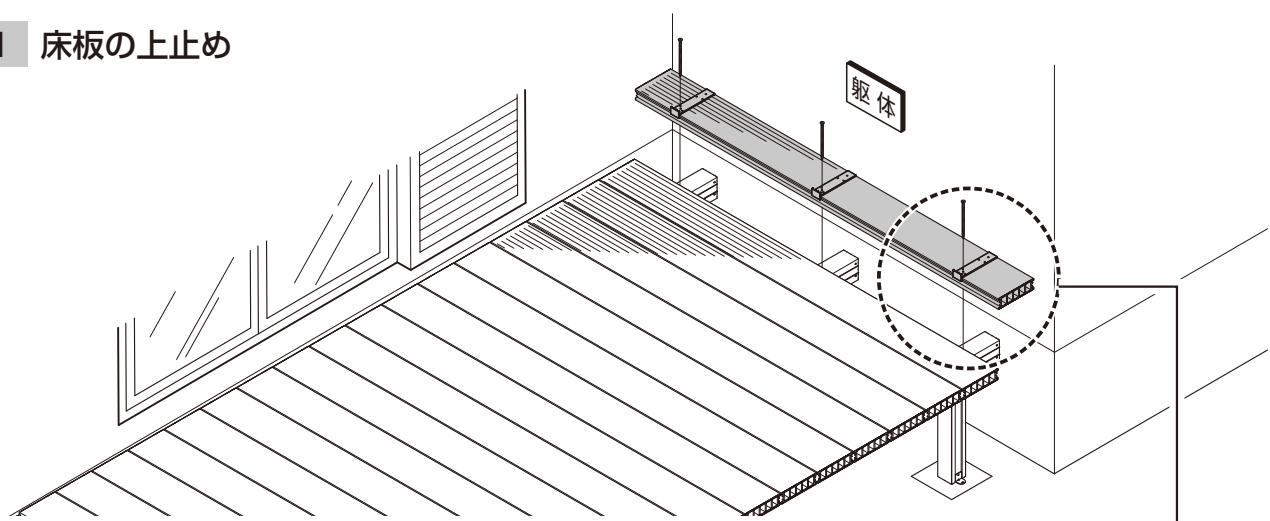


図3-1

穴開け治具

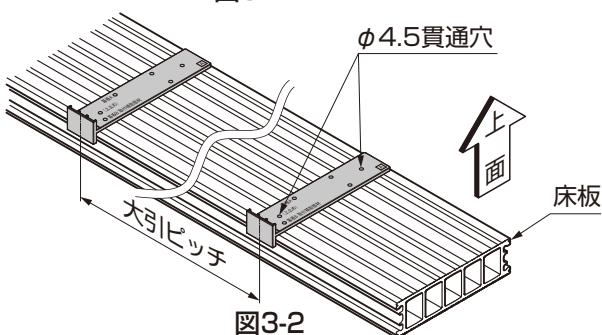


図3-2



●穴開け治具の○印の穴を使ってください。(図3-1参照)

- ①床板に、 $\phi 4.5$ の貫通穴をあけてください。(図3-1、図3-2参照)

- ②床板上面の $\phi 4.5$ の穴に $\phi 8$ サラ取り加工をしてください。

- ③床板を大引に、【14-1】で固定してください。

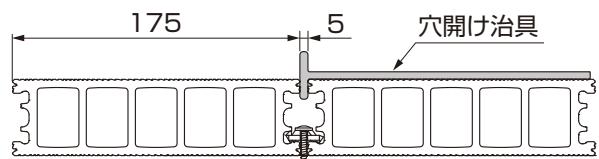
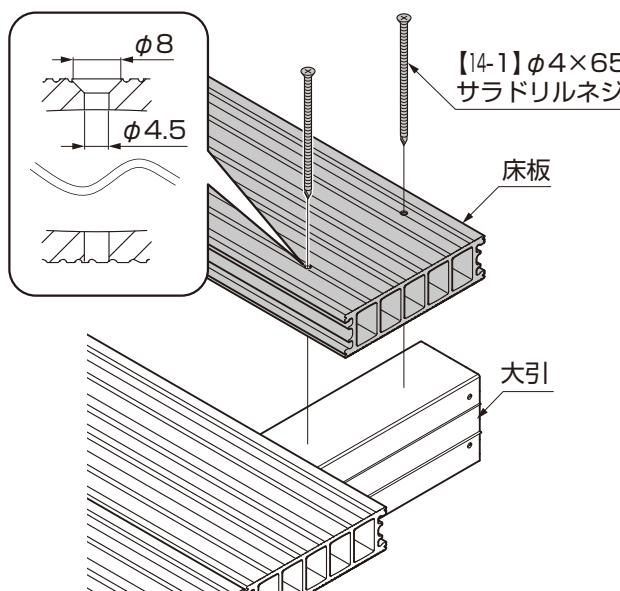


図3-3



- 電動ドライバー等での締め付け過ぎに注意してください。締込み過ぎると床板が割れるおそれがあります。
- 穴開け治具を使って、床板と床板のすき間を5mmにしてください。(図3-3参照)

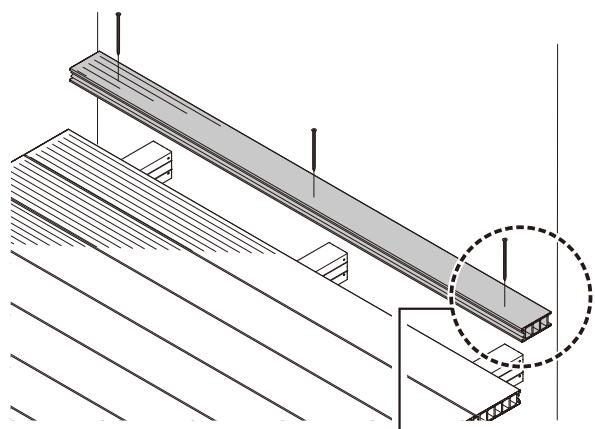


3. 床板の上止め(つづき)

3-2 床板を縦切りする場合

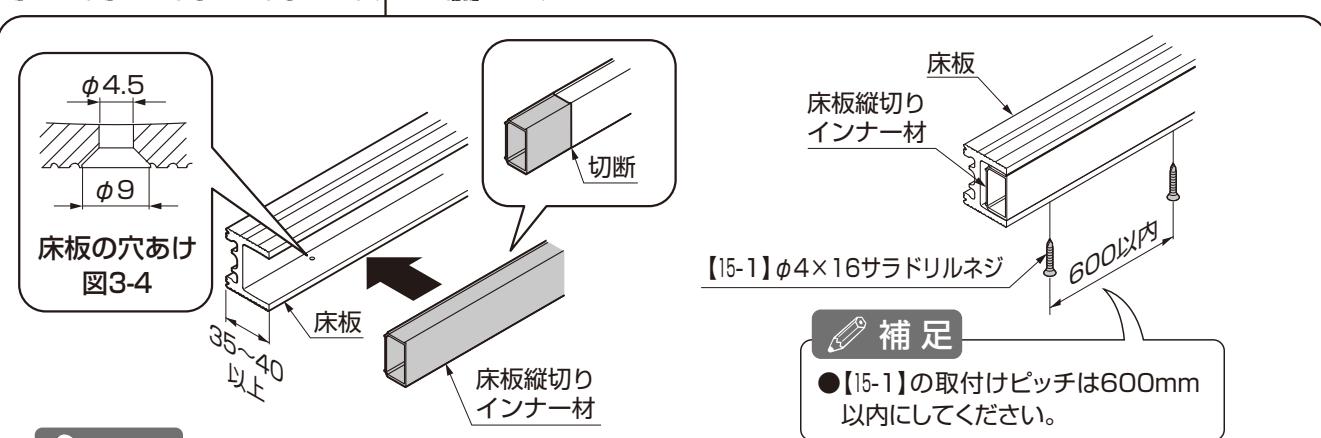
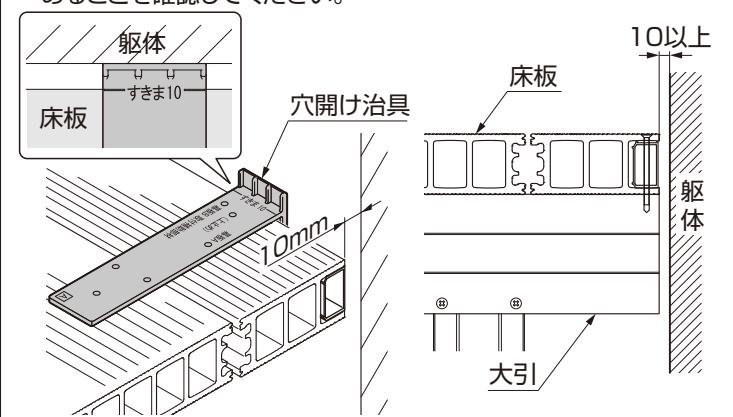
ポイント

- 床板の縦切りをする場合には、必ずこの作業を行ってください。



ポイント

- 床板と躯体のすき間に穴開け治具を当て、すき間が10mm以上あることを確認してください。

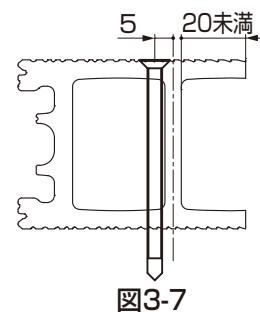
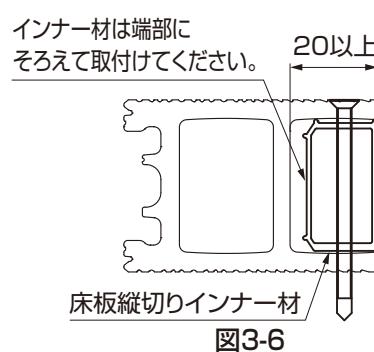
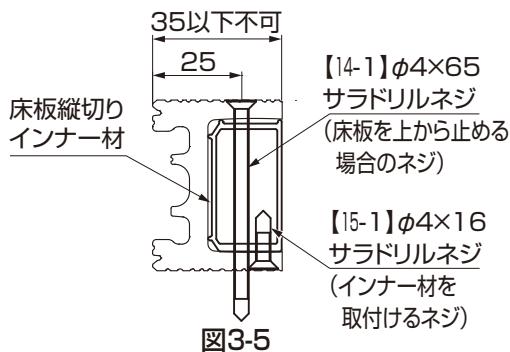


ポイント

- 床板のホロ一部の1つ目を切断する場合は、リブからの持ち出しが20mm以上の場にインナー材を使用してください。(図3-5参照)

- 床板のホロ一部の2つ目以降を切断する場合は、リブからの持ち出しが20mm以上の場にインナー材を使用してください。(図3-6参照)

リブからの持ち出しが20mm未満の場合はリブの中央より5mmずらした位置にネジ止めしてください。(図3-7参照)



①床板縦切りインナー材を必要な長さに切断してください。

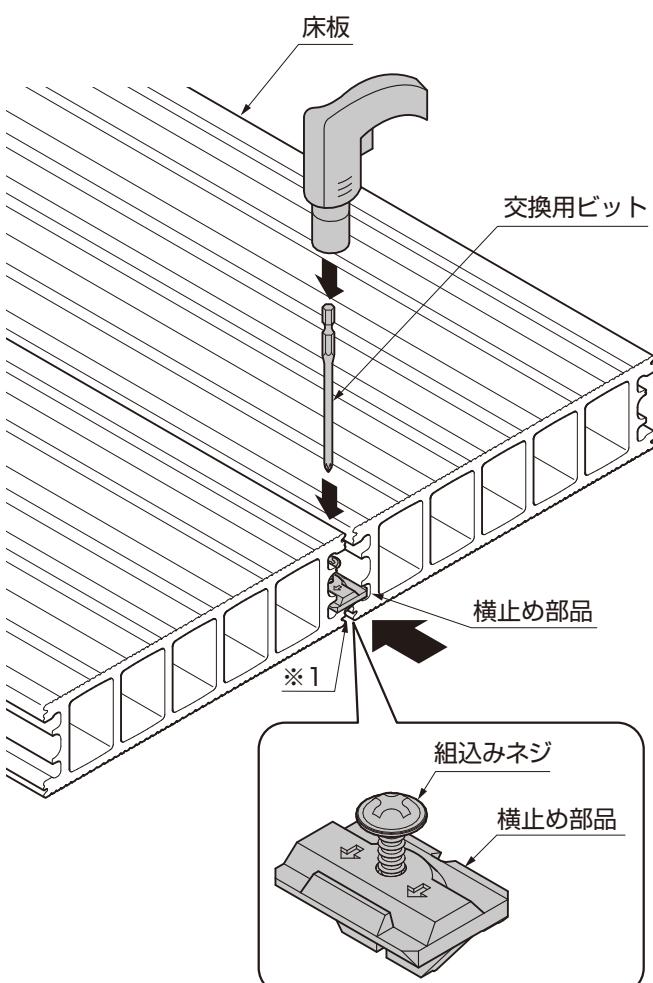
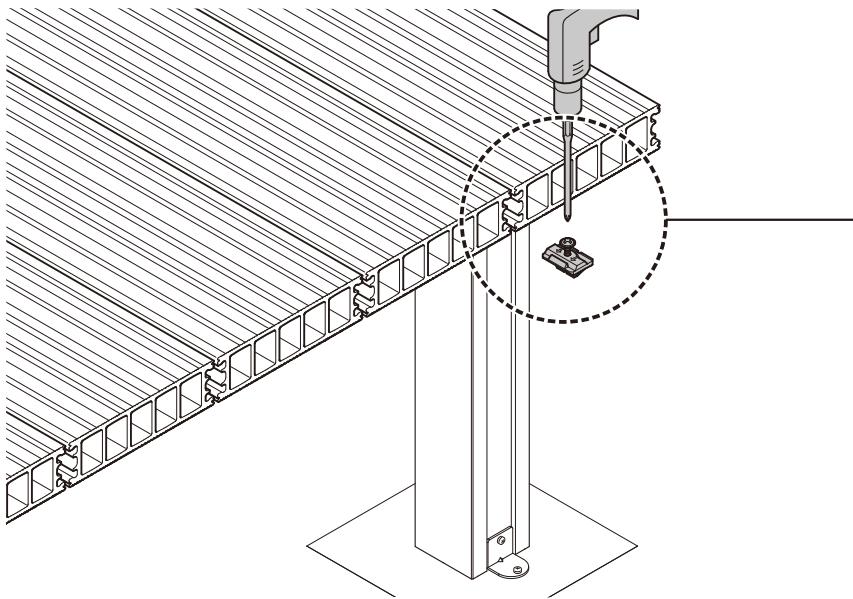
②床板の床板縦切りインナー材を固定する位置にΦ4.5下穴とΦ9サラ取りをしてください。(図3-4参照)

③床板縦切りインナー材を床板に【15-1】で固定してください。

④床板を大引に【14-1】で取付けてください。

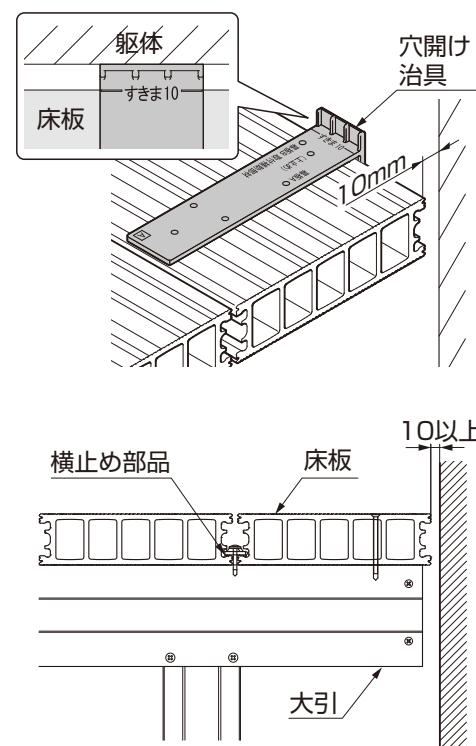
3-3 横止め部品の付け替え オプション

※床板を全面施工後に横止め部品を大引に改めて固定する場合の作業です。



ポイント

- 床板と躯体のすき間に穴開け治具を当て、すき間が10mm以上あることを確認してください。



①デッキ前面の目地の隙間(※1)から横止め部品を入れてください。

②交換用ビットを目地上部から差込み、横止め部品を移動させ、大引に組込みネジで固定してください。

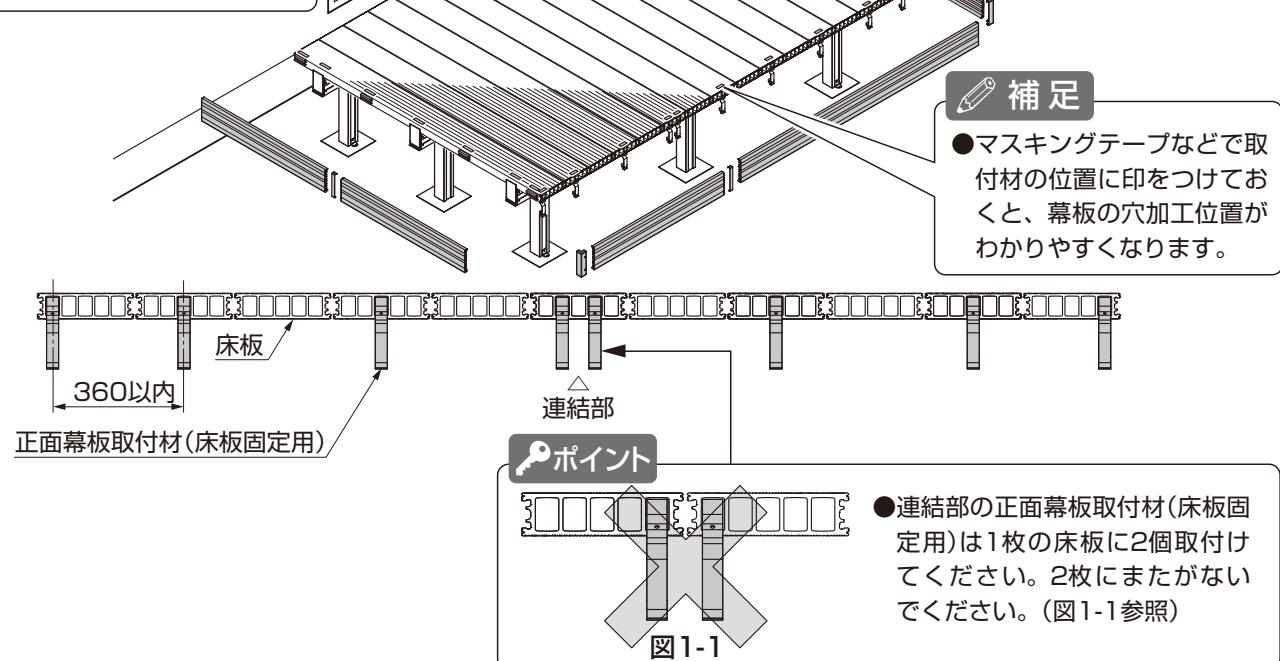
7 幕板の施工

1. 正面幕板取付材(床板固定用)の取付け

1-1 正面幕板取付材(床板固定用)の取付位置の確認

ポイント

- デッキ上にフェンスを取り付ける場合は、フェンス取付け後に幕板を固定してください。

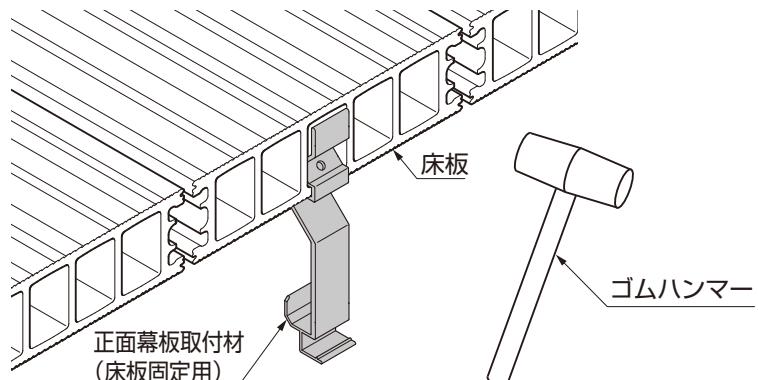


①正面幕板取付材(床板固定用)を取付ける位置を確認してください。

ポイント

- 正面幕板取付材(床板固定用)の取付けピッチは、360mm以内(床板1枚おきまで)にしてください。
- 正面幕板取付材(床板固定用)は、幕板の始まりと終わり、および連結部に必ず取付けてください。

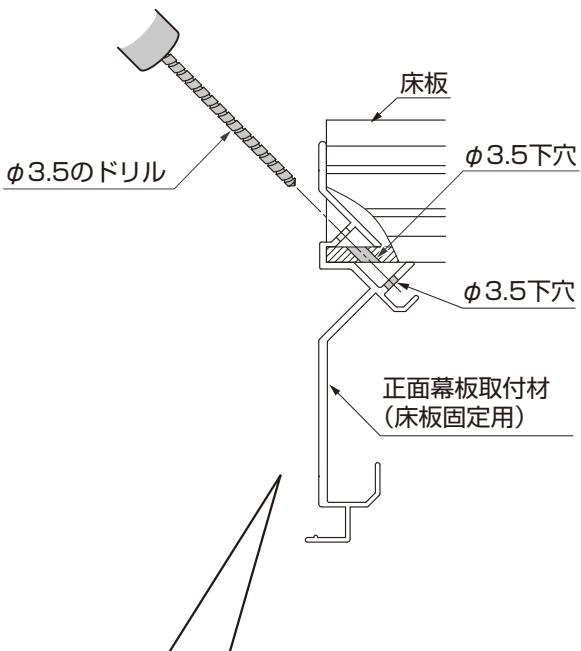
1-2 正面幕板取付材(床板固定用)の取付け



①正面幕板取付材(床板固定用)を床板のホロ一部にはめこんでください。

ポイント

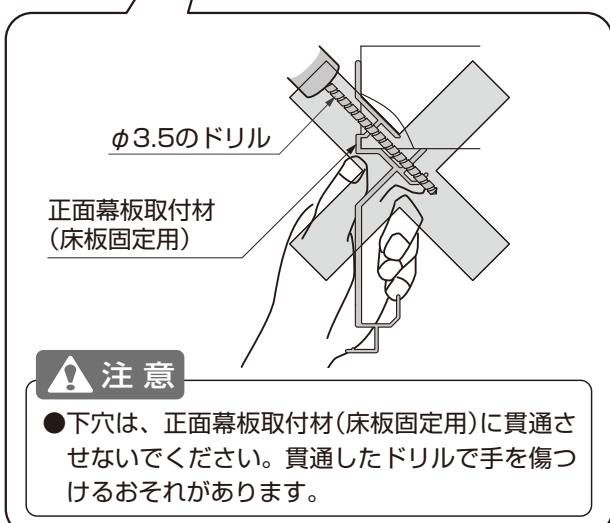
- 正面幕板取付材(床板固定用)を床板にあて、ゴムハンマーなどで叩いて確実にはめ込んでください。



ポイント

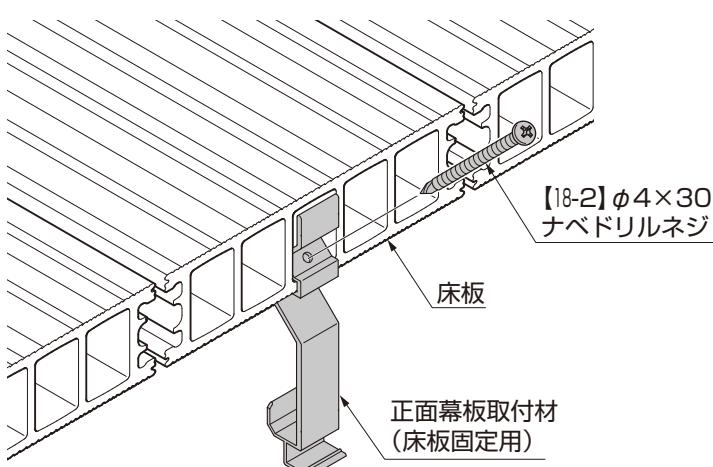
- 正面幕板取付材(床板固定用)がずれないように押さえながら穴をあけてください。

②正面幕板取付材(床板固定用)を床板のホロ一部にはめこみ、正面幕板取付材(床板固定用)の穴に従って床板下面と正面幕板取付材(床板固定用)に $\phi 3.5$ の下穴をあけてください。



注意

- 下穴は、正面幕板取付材(床板固定用)に貫通させないでください。貫通したドリルで手を傷つけるおそれがあります。



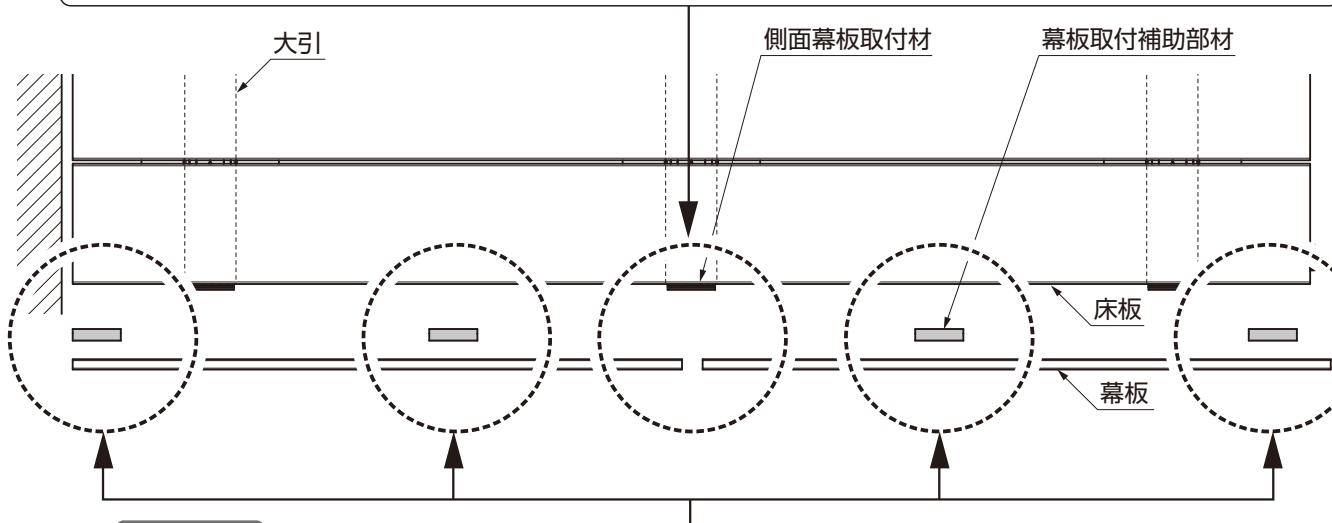
③正面幕板取付材(床板固定用)を、床板のホロ一部に【18-2】で固定してください。

2. 幕板取付補助部材の取付け

2-1 幕板取付補助部材の取付位置の確認

ポイント

●幕板の連結は、必ず側面幕板取付材のある箇所で行ってください。

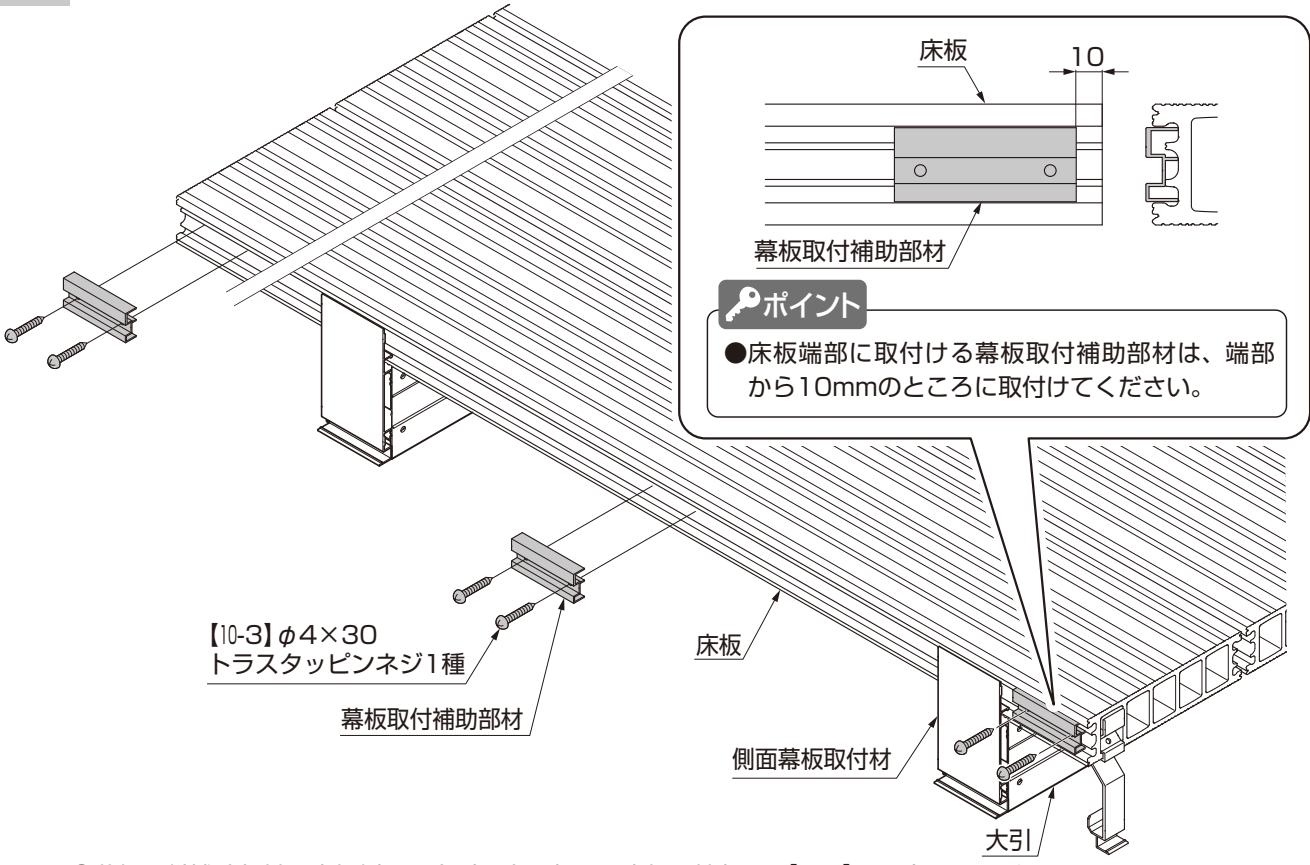


ポイント

●幕板取付補助部材は、床板の両端部と、側面幕板取付材の間に取付けてください。

①幕板取付補助部材を取付ける位置を確認してください。

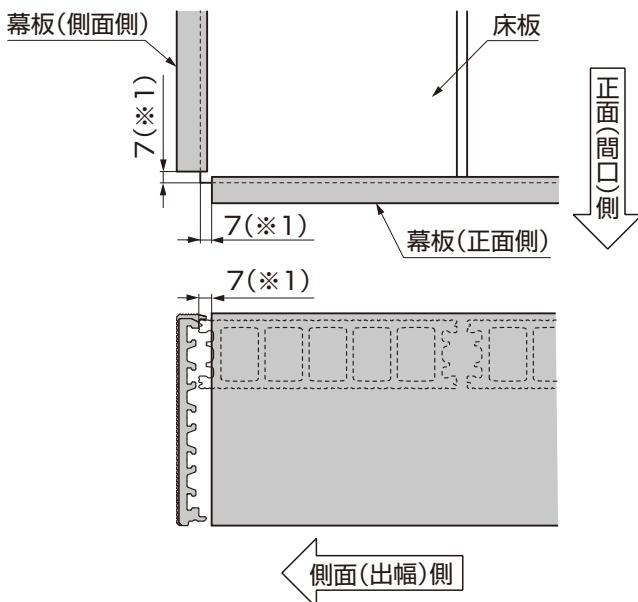
2-2 幕板取付補助部材の取付け



①幕板取付補助部材を床板側面の大引間中間部と、床板両端部に、【10-3】で固定してください。

3. 幕板の加工

3-1 90度コーナー(出隅仕様)の場合

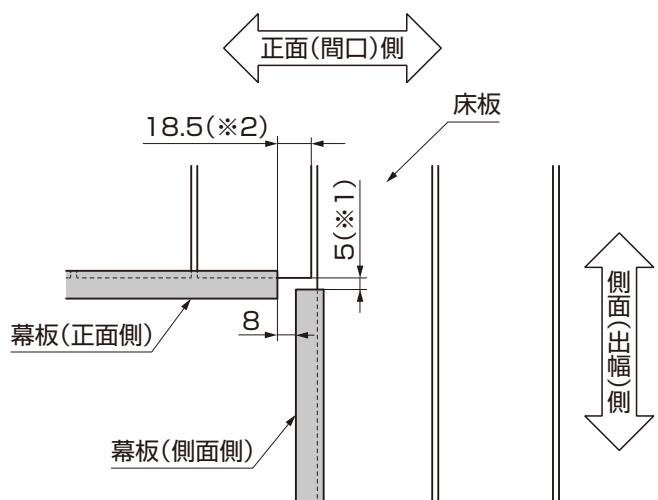


①図のように幕板を切断してください。

ポイント

- 幕板は床板から7mm(※1)デッキ内側にしてください。

3-2 90度コーナー(入隅仕様)の場合



①図のように幕板を切断してください。

ポイント

- 側面側の幕板は床板から5mm(※1)あけてください。
- 正面側の幕板は床板から18.5mm(※2)あけてください。

3-3 連結部の場合

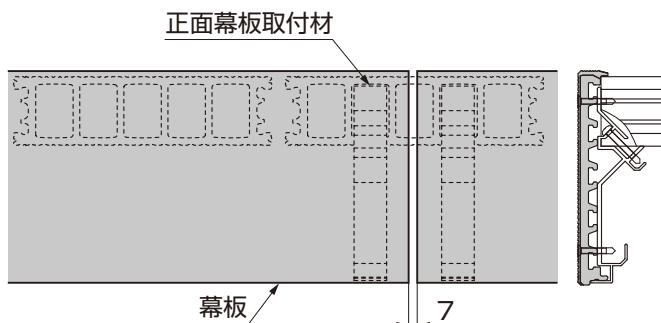


図3-1 正面

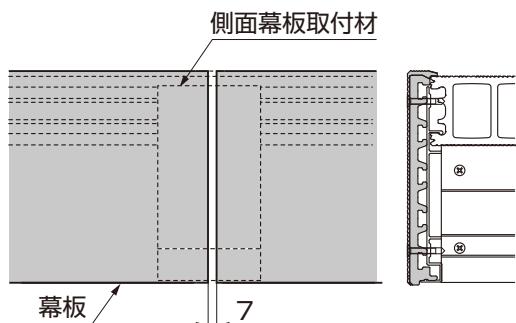
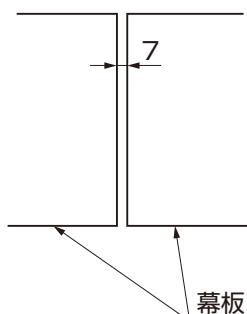


図3-2 側面



ポイント

- 連結部の正面幕板取付材(床板固定用)は、1枚の床板に2個取付けてください。2枚にまたがないでください。

ポイント

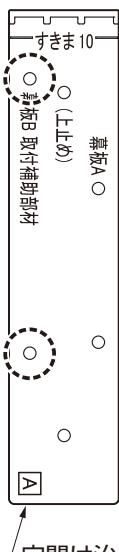
- 幕板の連結は、幕板取付材のある箇所で行ってください。

①幕板の連結部は7mmあけて切断してください。

3. 幕板の加工(つづき)

3-4 幕板の穴加工

ポイント



●穴開け治具の○印の穴を使ってください。

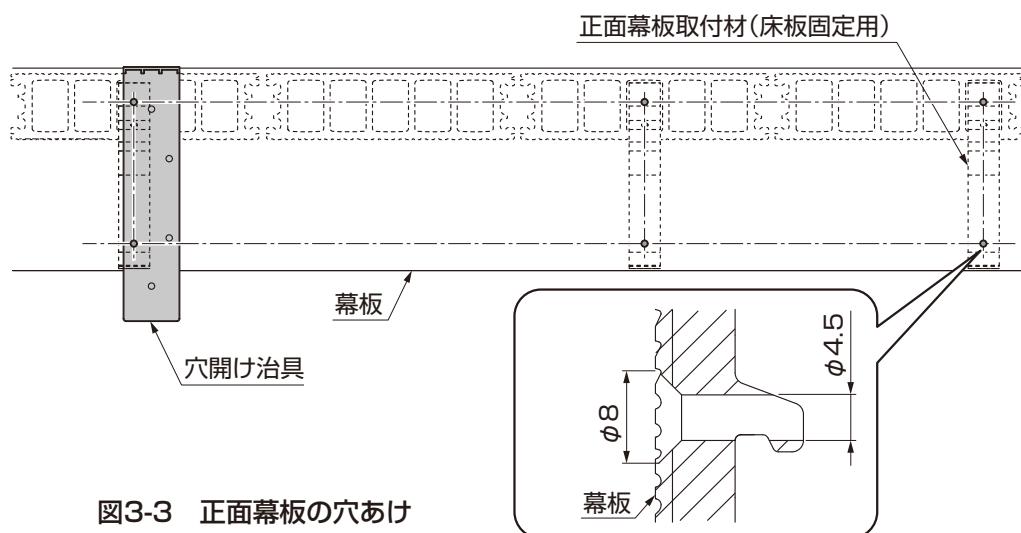


図3-3 正面幕板の穴あけ

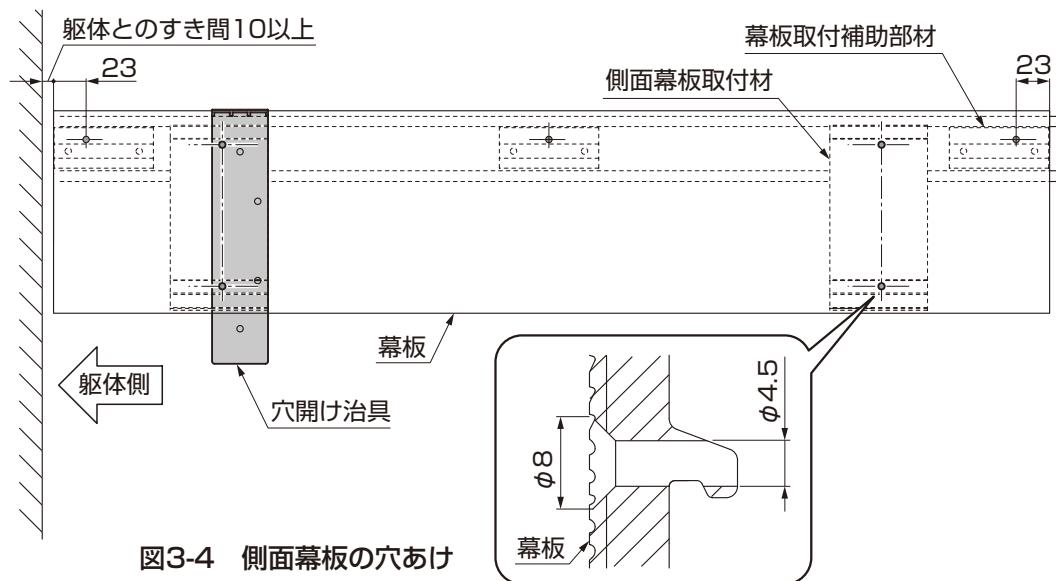


図3-4 側面幕板の穴あけ

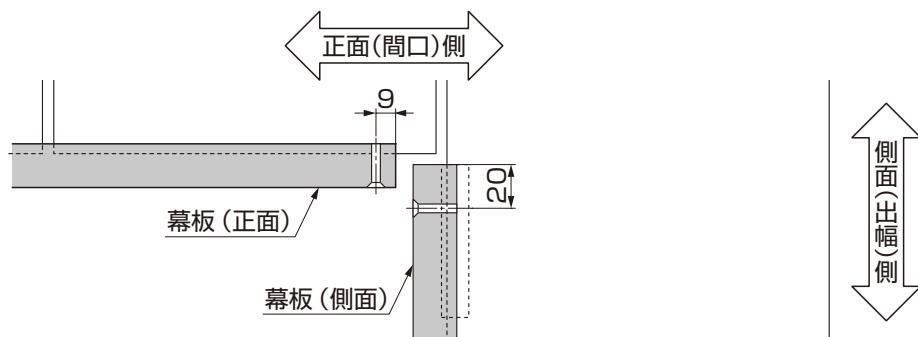


図3-5 幕板の穴あけ(入隅コーナー部)

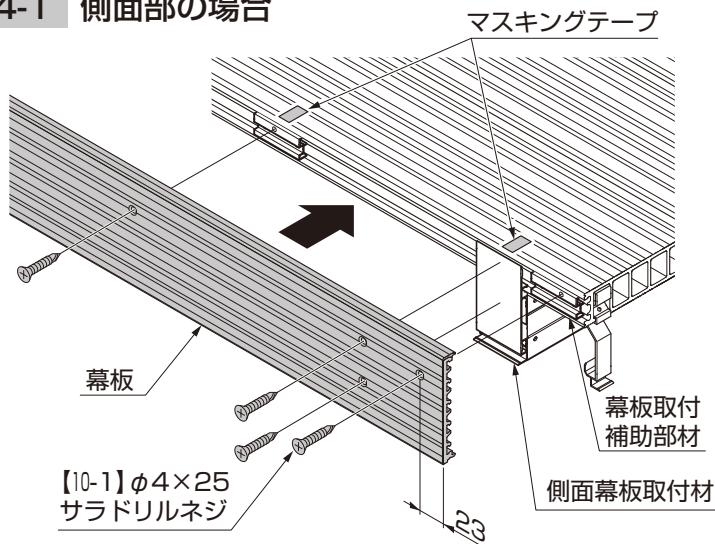
①幕板に穴開け治具を使用して、φ4.5の穴とφ8サラ取り加工をしてください。(図3-3、図3-4、図3-5参照)

ポイント

●側面の幕板取付補助部材には、上1箇所のみ穴をあけてください。

4. 幕板の取付け

4-1 側面部の場合



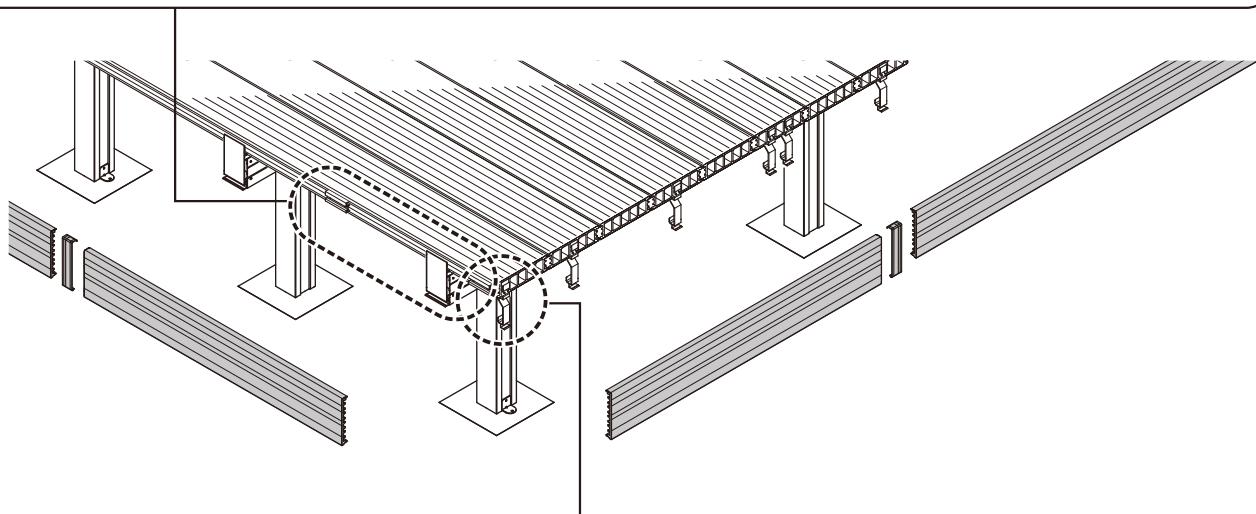
①側面の幕板を側面幕板取付材と幕板取付補助部材に、【10-1】で固定してください。

ポイント

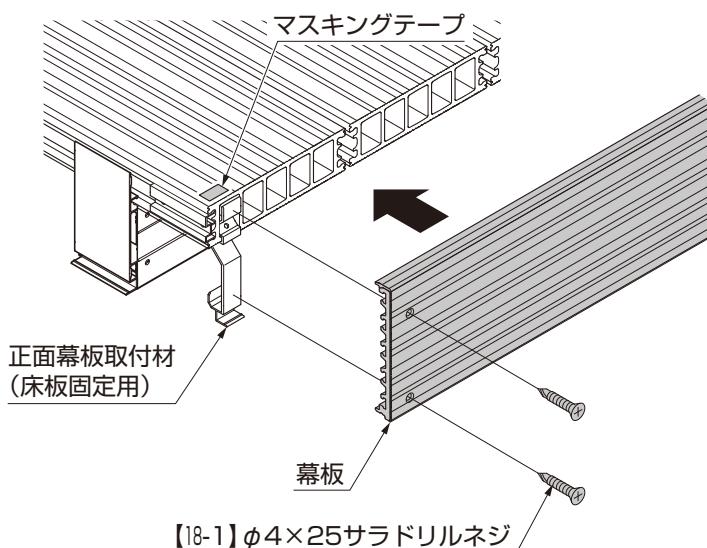
- 側面の幕板は側面幕板取付材へは上下2ヶ所、幕板取付補助部材へは上1ヶ所の取付けとなります。
- 幕板を取付ける際は、施工後の反りを防ぐため幕板中心部で固定してから、両端部方向へ固定していくようにしてください。

補足

- マスキングテープなどで取付材の位置に印をつけておくと、幕板の穴加工位置がわかりやすくなります。



4-2 正面部の場合



①正面の幕板を、正面幕板取付材(床板固定用)に【18-1】で固定してください。

ポイント

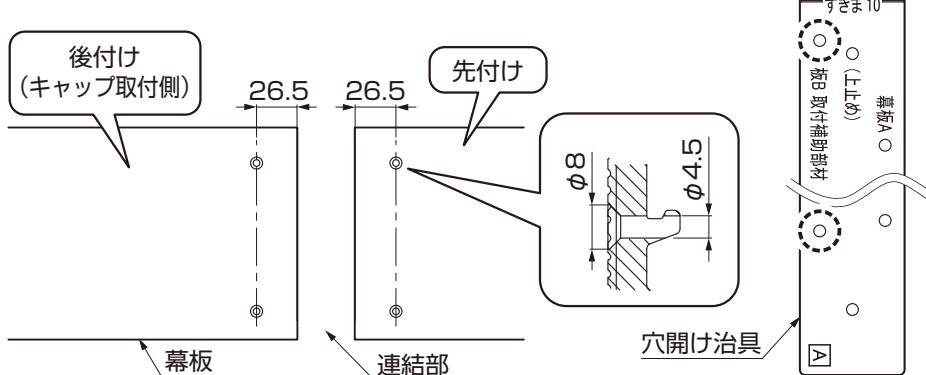
- 正面の幕板は、上下2ヶ所の取付けになります。
- 幕板を取付ける際は、施工後の反りを防ぐため幕板中心部で固定してから、両端部方向へ固定していくようにしてください。

補足

- マスキングテープなどで取付材の位置に印をつけておくと、幕板の穴加工位置がわかりやすくなります。

4. 幕板の取付け(つづき)

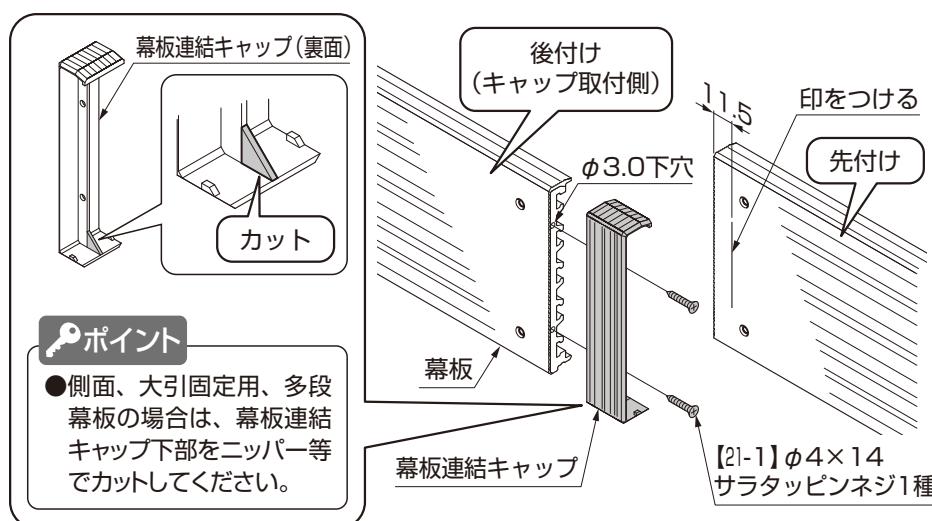
4-3 連結部の取付け



①幕板の連結端部から26.5mmの位置に穴加工してください。

ポイント

- 穴開け治具の○印の穴を使って穴加工してください。

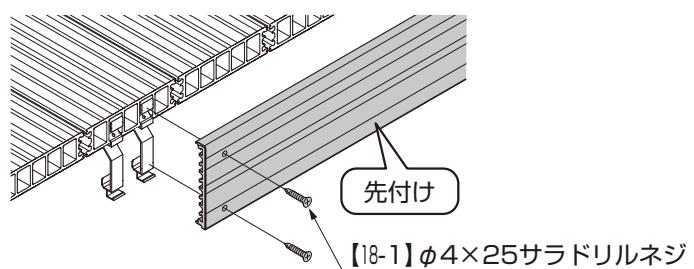


②先付けの幕板にキャップのみ込みの印を鉛筆などでつけてください。

③後付けの幕板に連結キャップを【2-1】で取付けてください。

ポイント

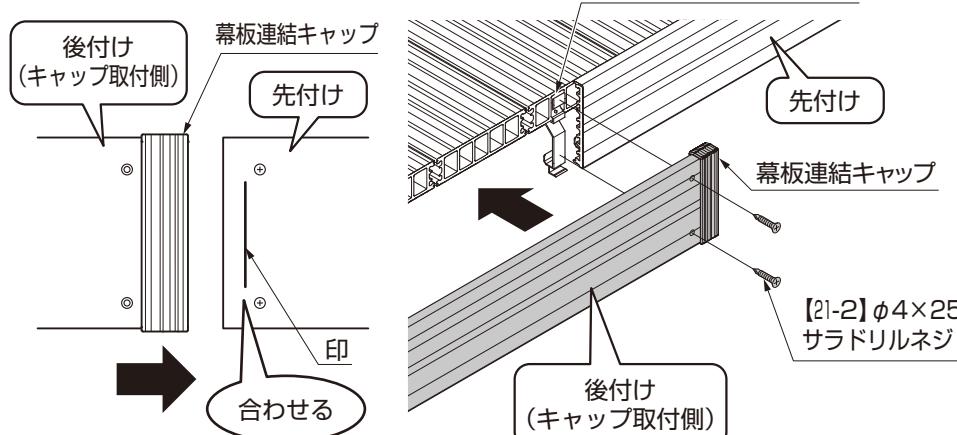
- 下穴を必ずあけてください。あけないと幕板が割れるおそれがあります。



④先付けの幕板を、正面幕板取付材(床板固定用)に【18-1】で固定してください。

ポイント

- 幕板連結キャップが取付いている幕板を後から取付けてください。

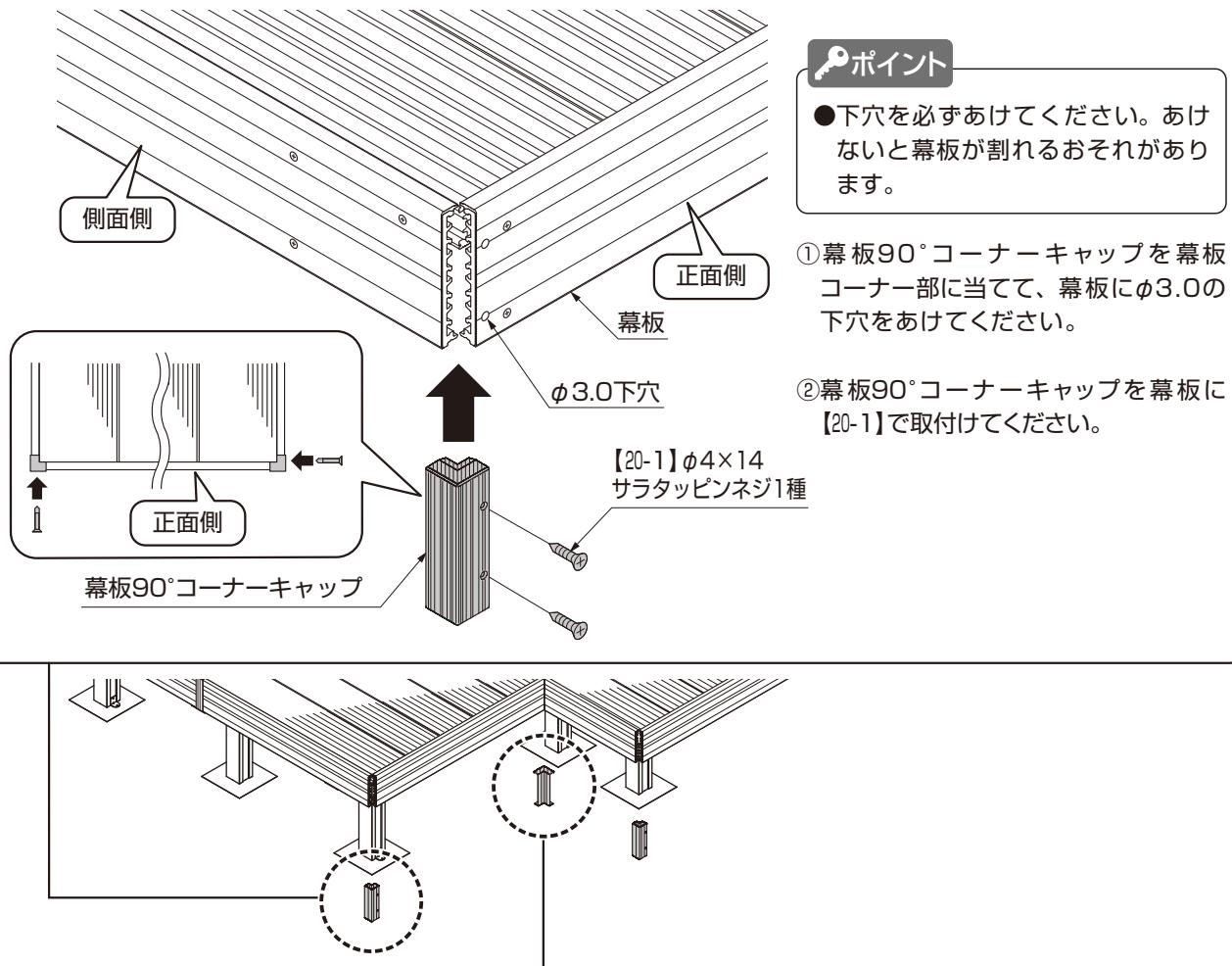


⑤後付けの幕板を正面幕板取付材に仮置きしてください。

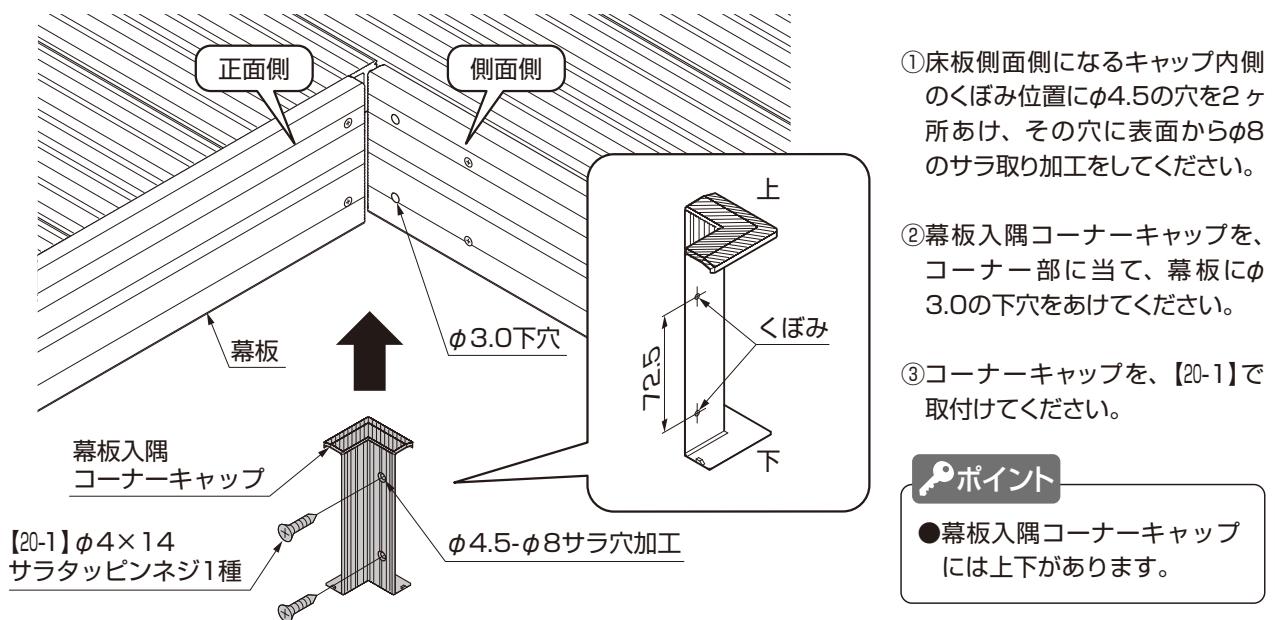
⑥幕板キャップの端部を印に合わせてください。

⑦後付けの幕板を【21-2】で固定してください。

4-4 90度コーナー(出隅仕様)の場合



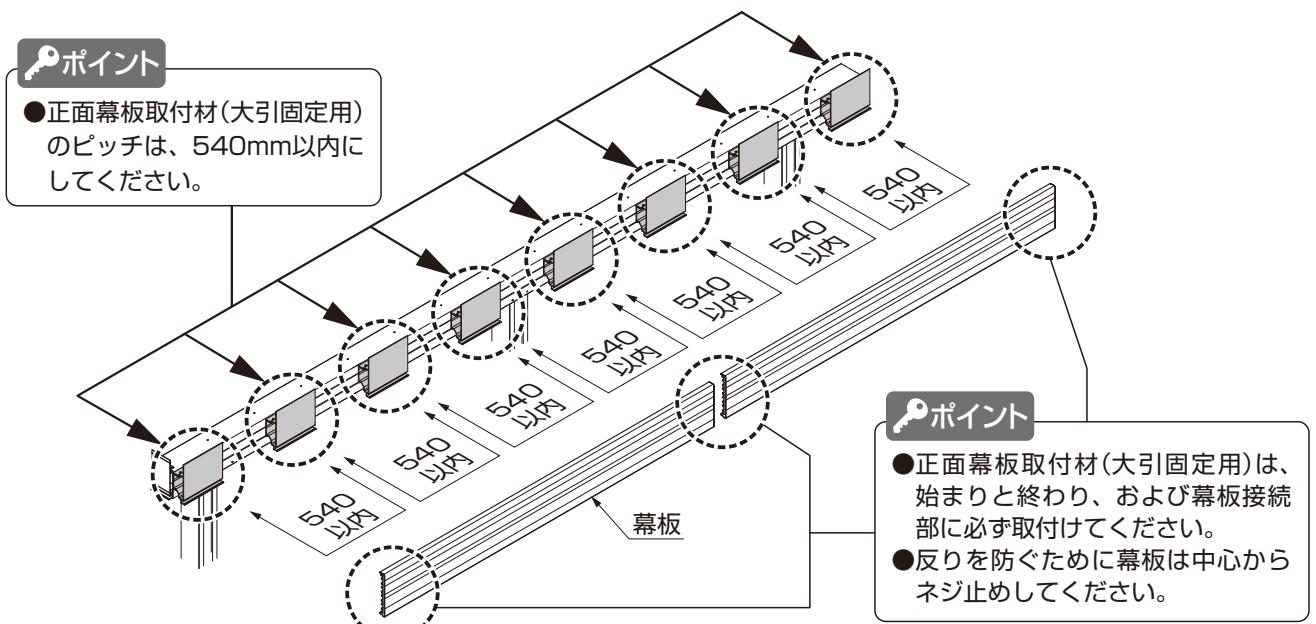
4-5 90度コーナー(入隅仕様)の場合



8 幕板の大引固定

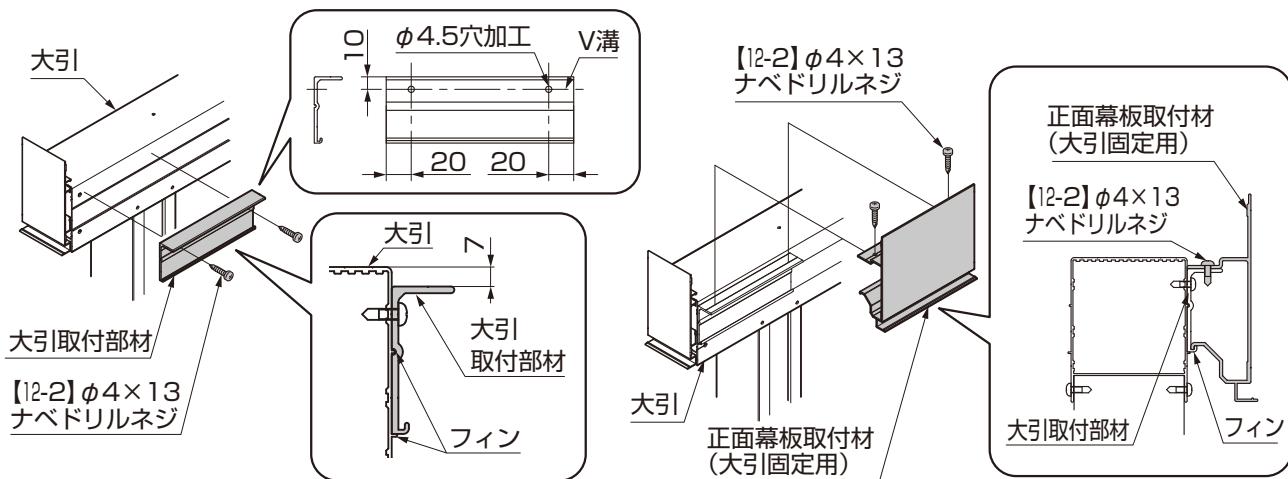
1. 正面幕板取付材(大引固定用)の取付け

※正面幕板を大引固定する場合の作業です。幕板を床板固定する場合は「7 幕板の施工」を参照してください。



- フェンスベースプレートの固定に正面幕板取付材(大引固定用)を用いる場合は、各フェンスの取付説明書を参考に位置を確認してください。
- 多段幕板を施工する場合は、幕板を大引固定してください。

①図を参照して、正面幕板取付材(大引固定用)を取付ける位置を確認してください。



- ②大引取付部材にφ4.5の穴を加工してください。
③大引取付部材を大引に【12-2】で取付けてください。
④正面幕板取付材(大引固定用)を大引取付部材のフィンに引っかけ、【12-2】で固定してください。

補足

- 幕板は床板施工後に取付けてください。

ポイント

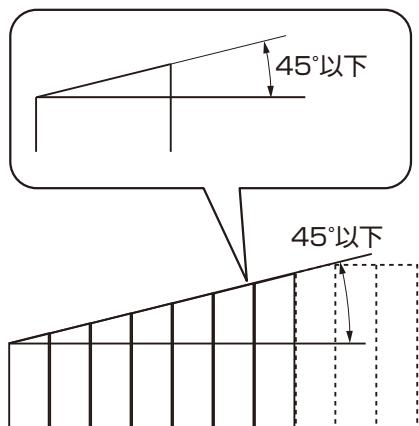
- 以降の取付けは、「7 幕板の施工 2-2 幕板取付補助部材の取付け～」をご覧ください。

9 隅切り施工

※土間施工は対応していません。

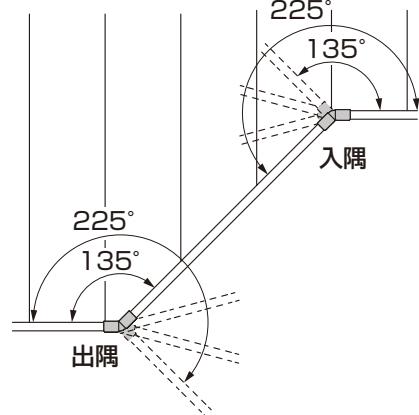
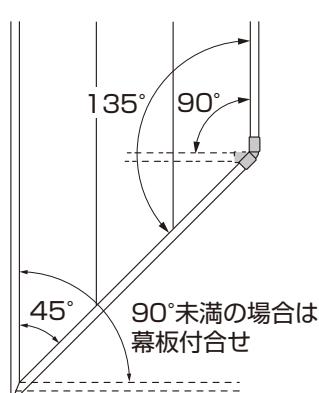
1. 床板取付上の注意

1-1 隅切り角度とフリーコーナーキャップの対応角度

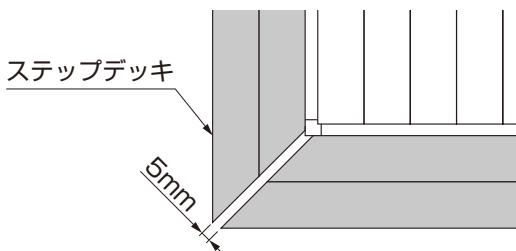


●隅切りは45°以下にしてください。

●フリーコーナーキャップの取付可能角度は90°～225°までです。



1-2 ステップデッキの留切部のすき間

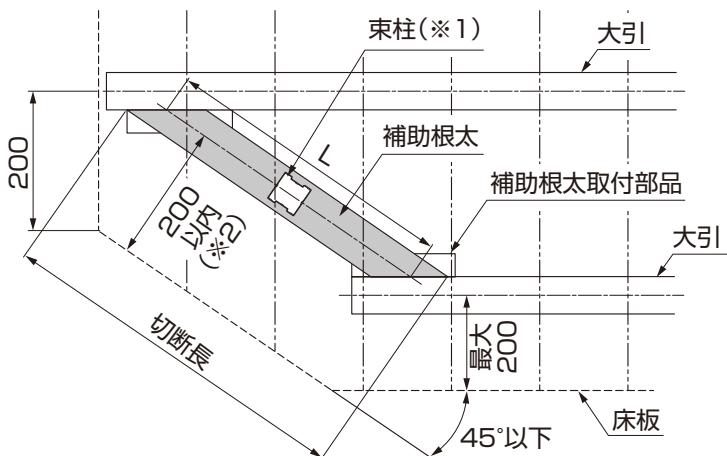


●ステップデッキの留切部の床板はすき間を5mmあけてください。

2. 補助根太の取付け オプション

※特殊納まりの加工です。

2-1 納まり図



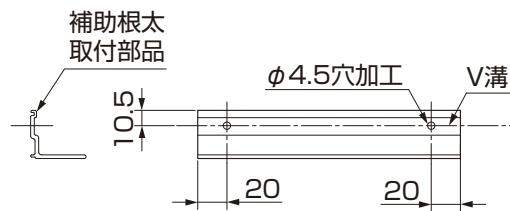
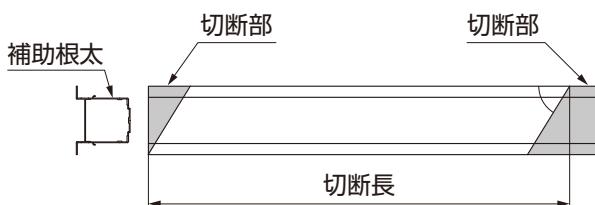
- 角度切りは45°以下にしてください。
- L寸法が800mm以上の場合は補助根太の中間部に束柱(※1)を設置してください。
- 床板の張り出しあは、補助根太の芯から200mm以内にしてください。(※2)

2. 補助根太の取付け オプション（つづき）

2-2 補助根太の取付け

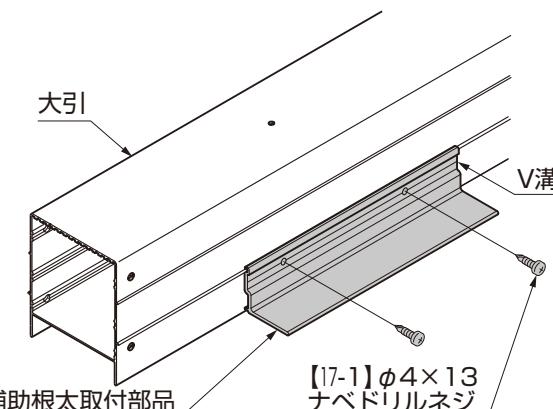
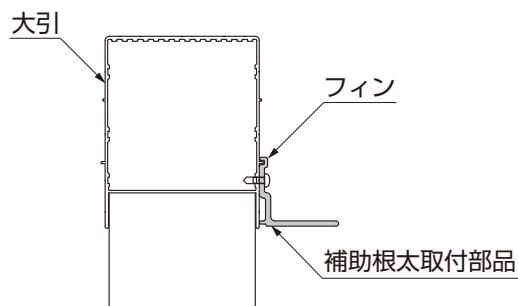
ポイント

●L寸法が2000mm以上の場合は、補助根太の代わりに大引を使用し、束柱を2本設置してください。



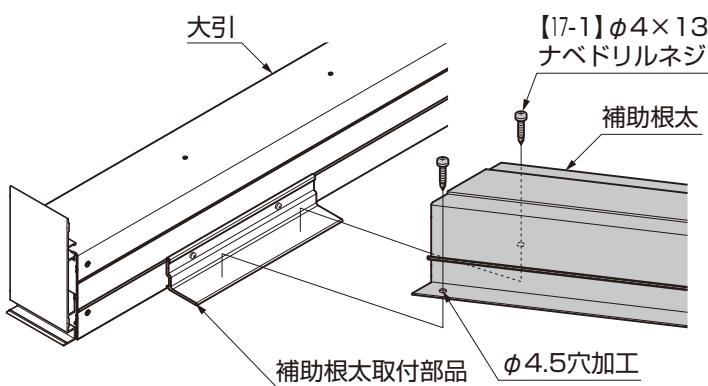
①L寸法を実測して、補助根太を切断してください。

②補助根太取付部品に、 $\phi 4.5$ の穴を2ヶ所あけてください。



③補助根太取付部品の上部を、大引のフィンにひっかけて取付けてください。

④大引に補助根太取付部品を、【17-1】で固定してください。



⑤補助根太に4ヶ所、 $\phi 4.5$ の穴をあけてください。

⑥補助根太を補助根太取付部品に、【17-1】で固定してください。

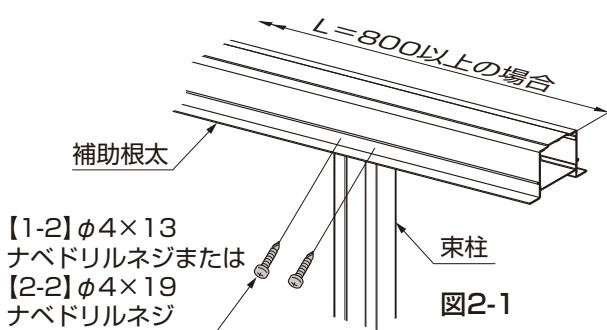


図2-1

補足

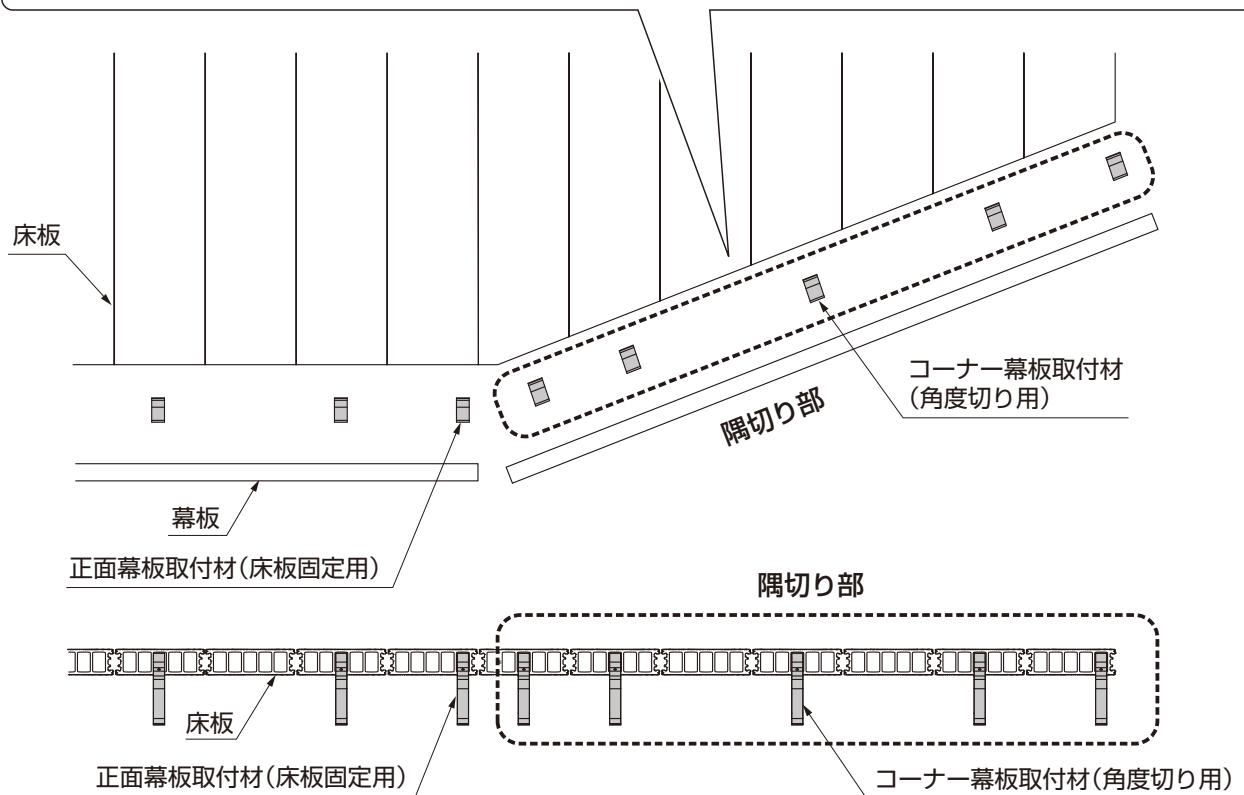
●補助根太がL=800mm以上の場合は補助根太に束柱を固定してください。（図2-1参照）

3. フリーコーナーの幕板の取付け

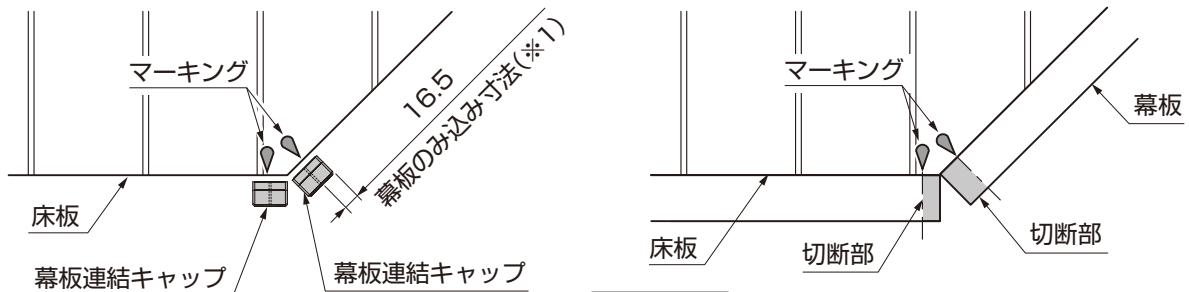
3-1 コーナー幕板取付材(角度切り用)と正面幕板取付材(床板固定用)の取付け

ポイント

- 隅切り部はコーナー幕板取付材(角度切り用)を床板1枚おき(ピッチ360mm以下)に取付けてください。
- 直線部と隅切りの始まりと終わりに正面幕板取付材(床板固定用)を取付けてください。
- 正面幕板取付材(床板固定用)、コーナー幕板取付材(角度切り用)の取付け方法は、「7 幕板の施工 1. 正面幕板取付材(床板固定用)の取付け 1-2 正面幕板取付材(床板固定用)の取付け」を参照してください。



3-2 幕板の加工



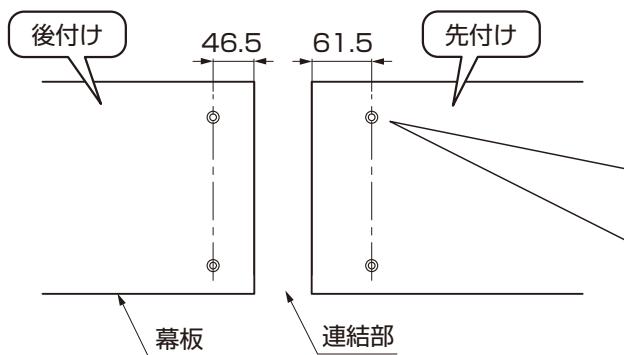
ポイント

- 幕板フリーコーナーキャップの取付可能角度範囲は、 $90^\circ \sim 225^\circ$ です。

- ①幕板連結キャップを床板のコーナー部に当ててください。
- ②幕板連結キャップの端部から16.5mmのみ込んだ位置(※1)の床板にマーキングしてください。
- ③幕板をマーキングした部分で切断してください。

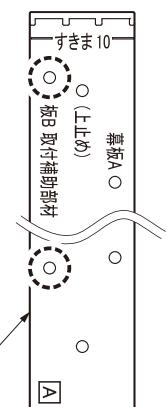
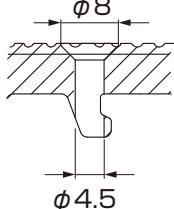
3. フリーコーナーの幕板の取付け(つづき)

3-3 幕板の取付け

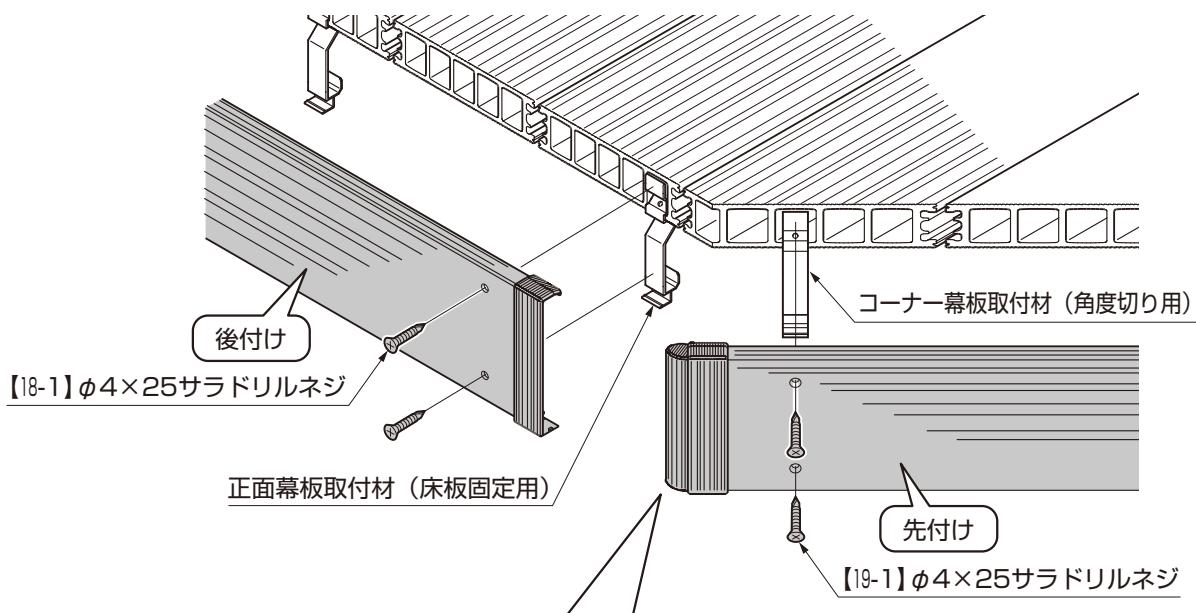


ポイント

- 下穴を開ける際は穴開け治具の○印の穴を使って穴加工してください。

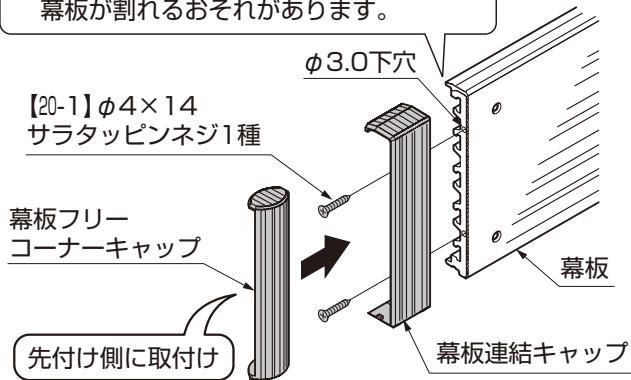


- ①穴開け治具を使用して、幕板に穴加工してください。



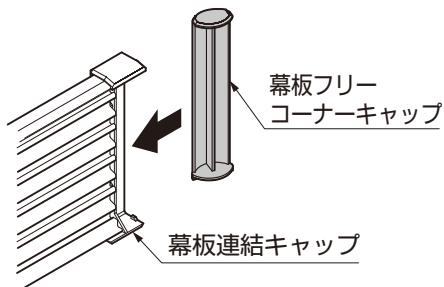
ポイント

- 下穴を必ずあけてください。あけないと幕板が割れるおそれがあります。



ポイント

- 幕板フリーコーナーキャップを取付ける際は、側面から差し込んでください。



- ②幕板にΦ3の下穴をあけ、幕板連結キャップを幕板に【20-1】で取付けてください。

- ③幕板フリーコーナーキャップを先付け側の幕板連結キャップに差し込んでください。

- ④先付け側の幕板をコーナー幕板取付材(角度切り用)に【19-1】で取付けてください。

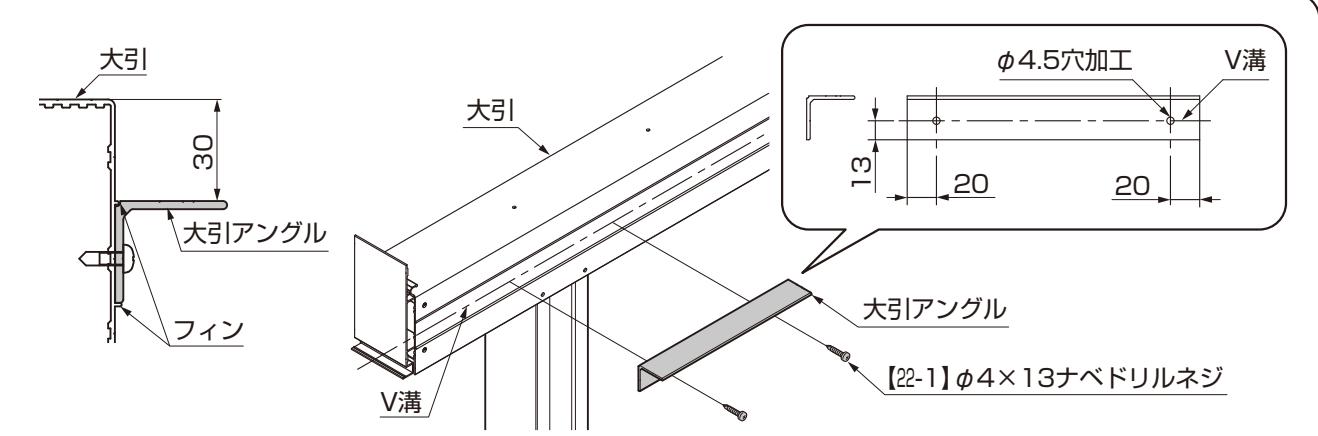
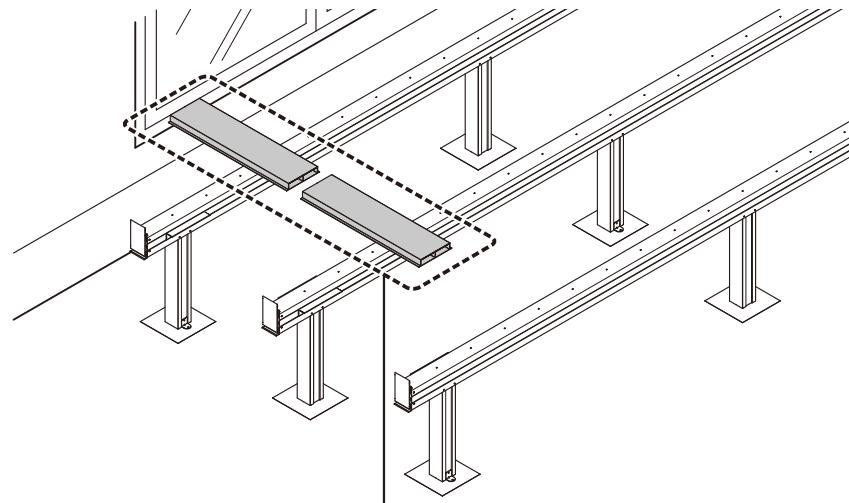
- ⑤後付け側の幕板を正面幕板取付材(床板固定用)に【18-1】で取付けてください。

10 床板補強材の取付け

※床板補強材を取付ける場合の作業です。

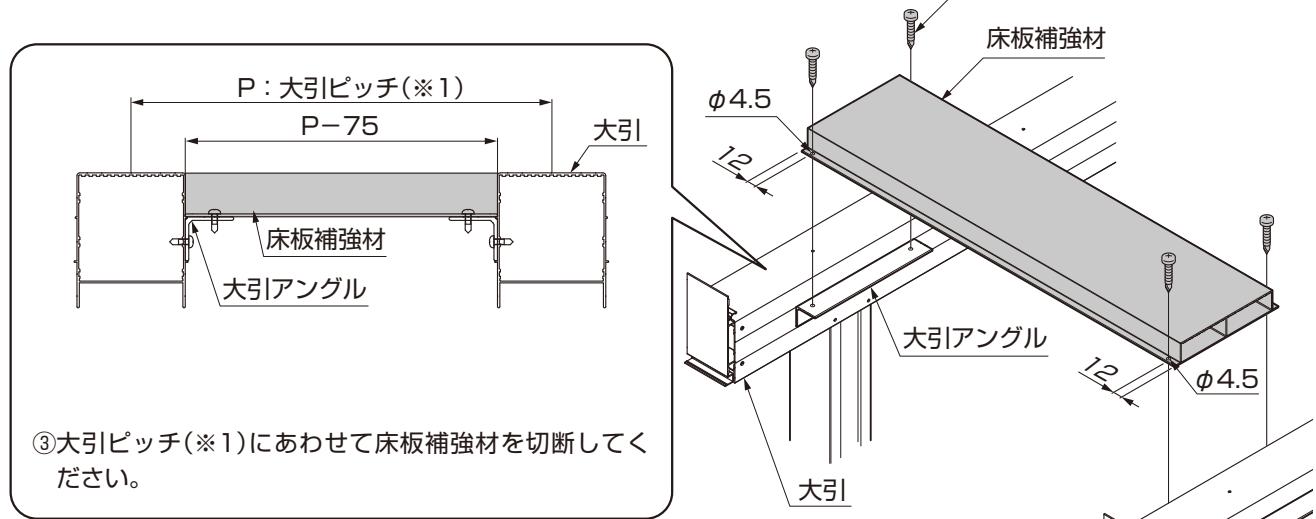
※T-12を超えるフェンス柱を取付ける場合は、床板補強材の取付けが必要となります。

床板等を固定した後での施工は非常に困難なため、各取説を参照して、確実に施工してください。



①大引アングルにφ4.5の穴を加工してください。

②大引アングルを大引のフィンに引っかけて【22-1】で固定してください。



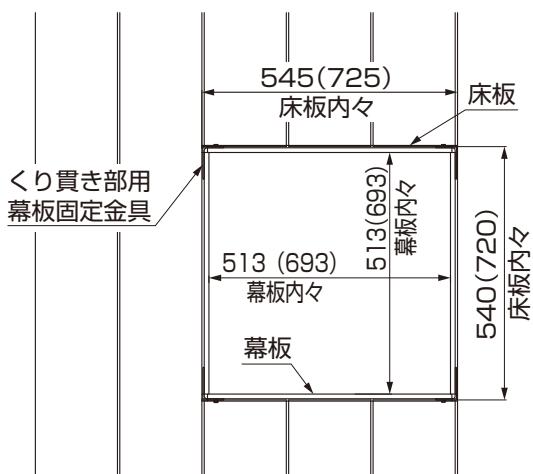
④床板補強材1本当たりに4ヶ所、φ4.5の穴をあけてください。

⑤大引アングルに床板補強材を、【22-1】で固定してください。

11 オプション

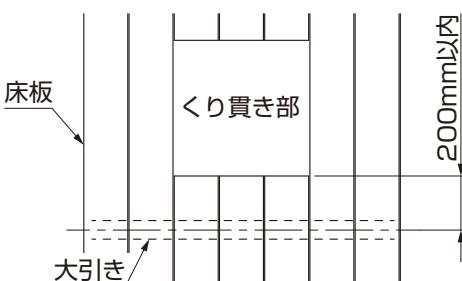
1. くり貫き部幕板の取付け オプション

1-1 くり貫き納まり図 ※()は床板4枚分の場合の寸法です。



ポイント

- デッキくり貫きが可能な寸法は、床板3枚分、もしくは4枚分です。
- くり貫き部の床板張出し寸法は、大引の芯から200mm以内としてください。



1-2 正面幕板取付材(床板固定用)の取付け

ポイント

- 床板に内々寸法545mm×540mm、または725mm×720mmあてはいるか確認してください。
- 床板3枚分の場合は、正面幕板取付材を両端の床板（中央のホロ一部）に差し込んでください。
- 床板4枚分の場合は、正面幕板取付材を両端の床板（中央のホロ一部）と中央の幕板に差し込んでください。

正面幕板取付材(床板固定用)



図1-1 床板3枚分

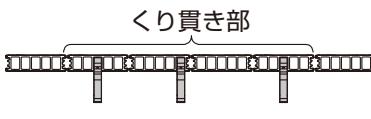
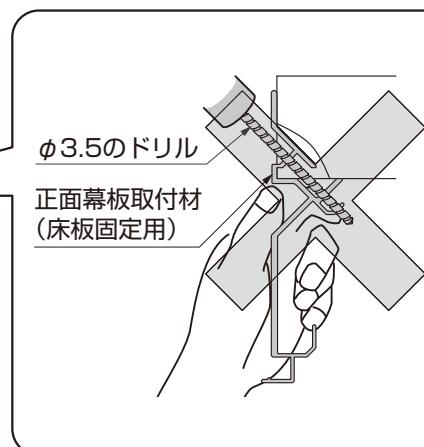
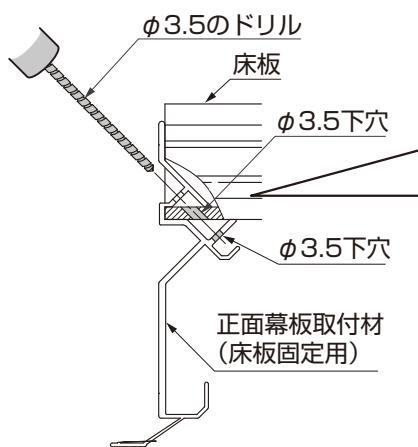


図1-2 床板4枚分



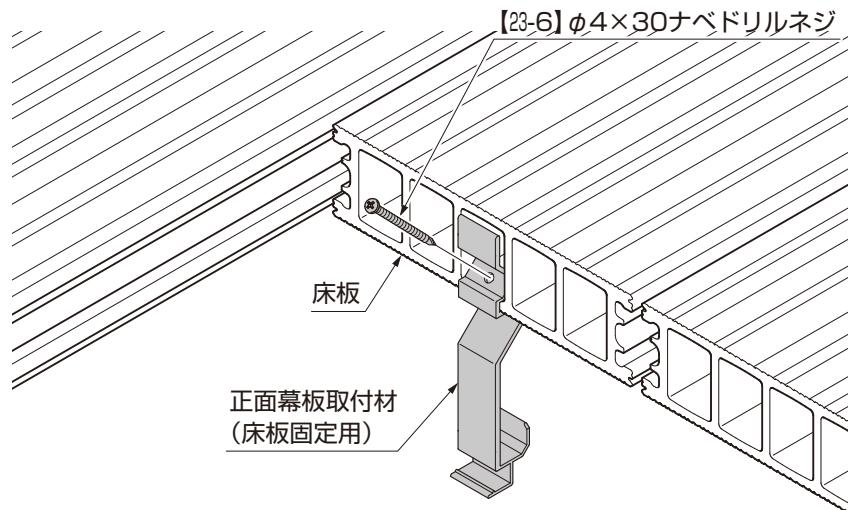
注意

- 下穴は、正面幕板取付材(床板固定用)に貫通させないでください。貫通したドリルで手を傷つけるおそれがあります。

ポイント

- 正面幕板取付材(床板固定用)がずれないように押さえながら穴を開けてください。

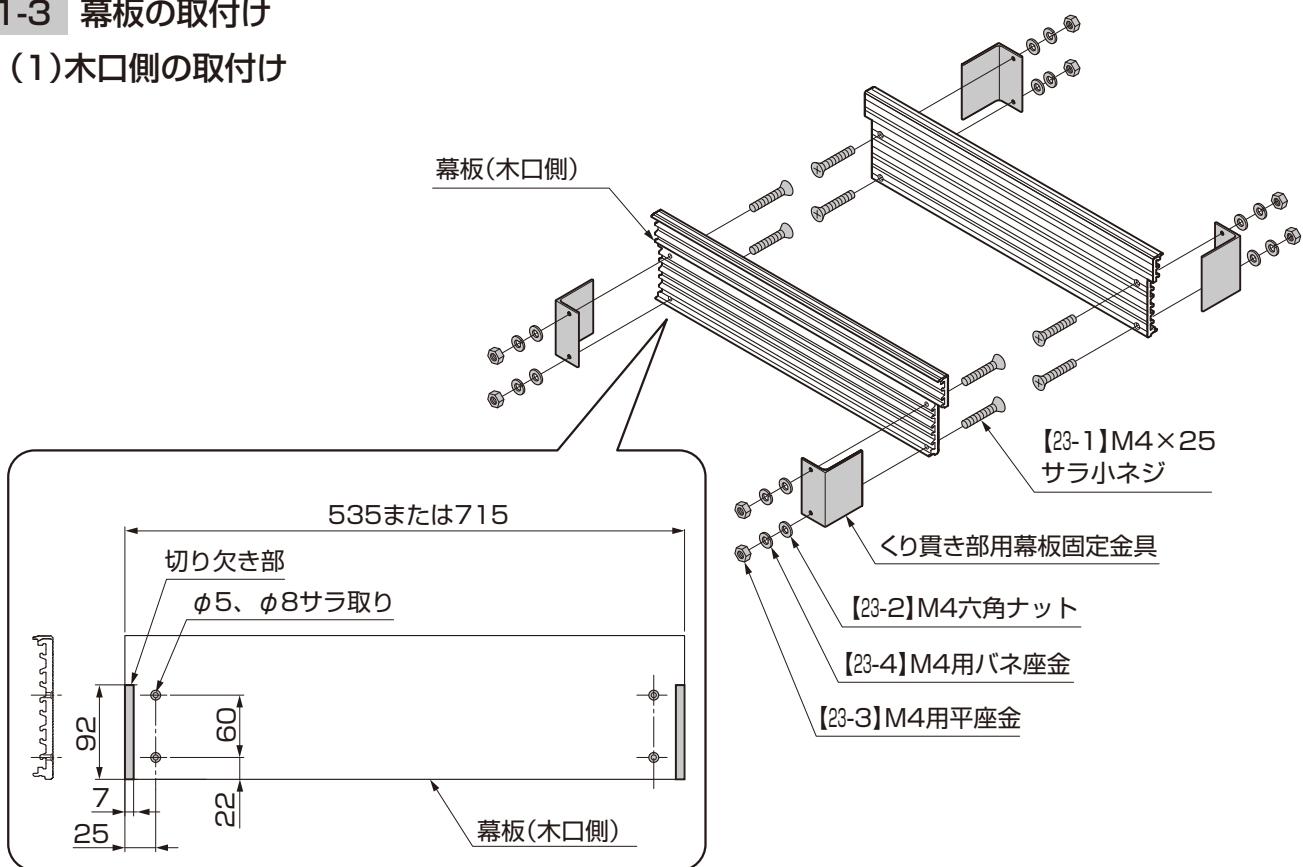
①正面幕板取付材(床板固定用)を床板のホロ一部にはめこみ、正面幕板取付材(床板固定用)の穴に従って床板下面と正面幕板取付材(床板固定用)にφ3.5の下穴をあけてください。



②正面幕板取付材(床板固定用)を、床板のホロ一部に【23-6】で固定してください。

1-3 幕板の取付け

(1) 木口側の取付け



①幕板を535mm、または715mm幅で切断してください。

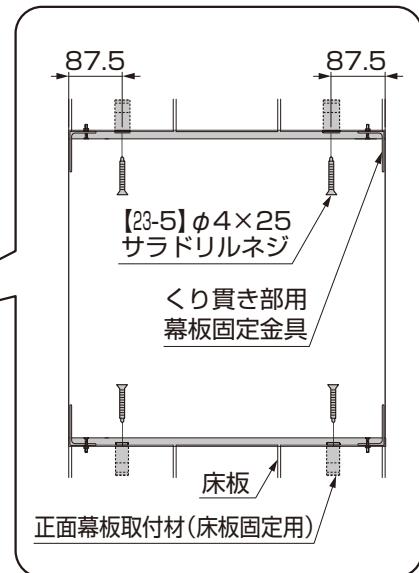
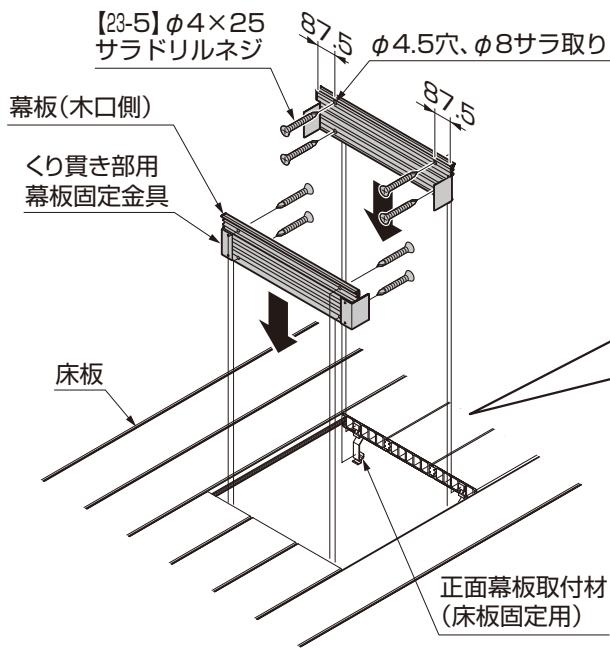
②幕板(木口側)の両端に切り欠き加工をして、4ヶ所、φ5の下穴とφ8のサラ取り加工をあけてください。

③幕板(木口側)の両端にくり貫き部用幕板固定金具を【23-1】、【23-2】、【23-3】、【23-4】で固定してください。

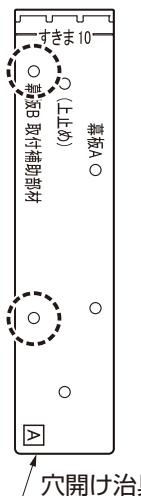
1. くり貫き部幕板の取付け(つづき) オプション

※図は3枚抜きの場合です。

1-3 幕板の取付け(つづき)



ポイント

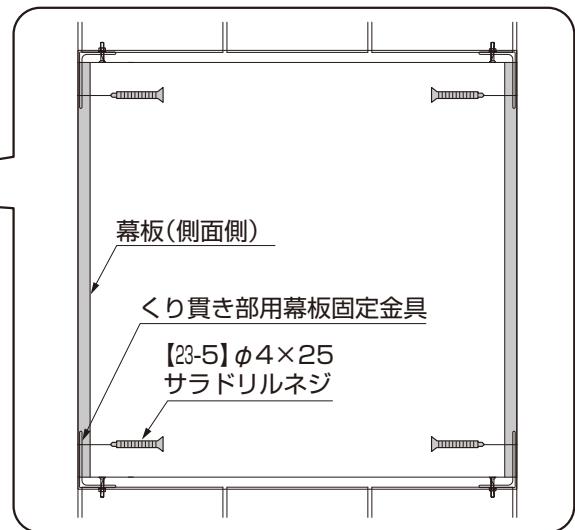
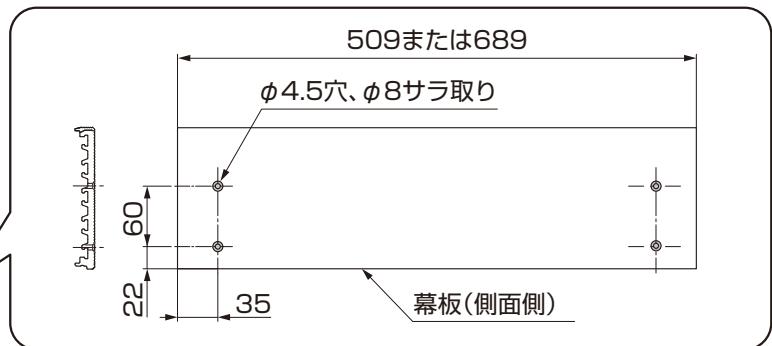
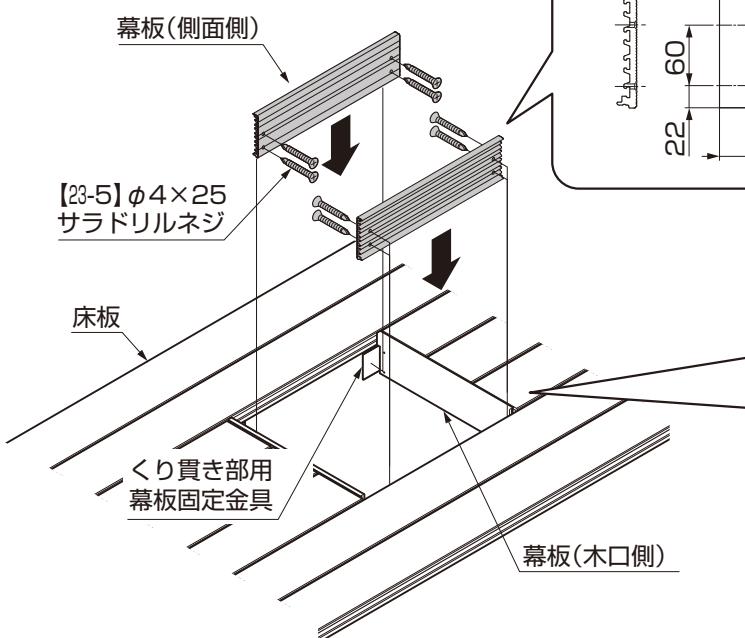


- 穴開け治具の○印の穴を使ってください。

④穴開け治具を使用して、幕板(木口側)に $\phi 4.5$ の穴と $\phi 8$ のサラ取り加工をしてください。

⑤幕板(木口側)を正面幕板取付材(床板固定用)に、[23-5]で取付けてください。

(2) 側面側の取付け



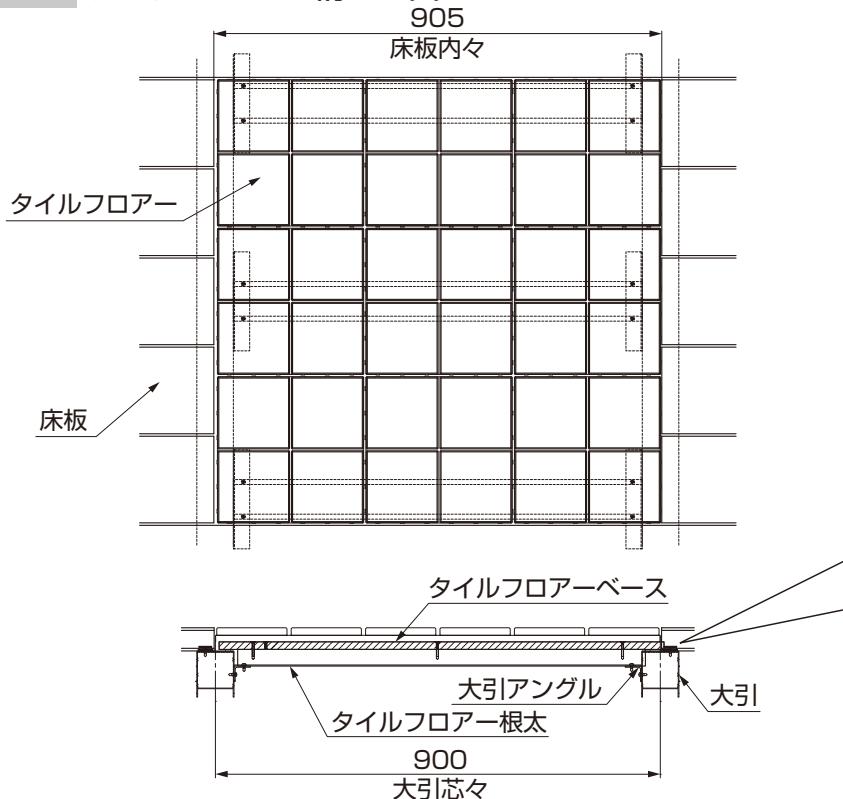
①幕板を509mm、または689mm幅に切断してください。

②幕板(側面側)の両端に4ヶ所、 $\phi 4.5$ の穴と $\phi 8$ のサラ取り加工をしてください

③幕板(側面側)を、くり貫き部用幕板固定金具に[23-5]で取付けてください。

2. タイルフロアーの取付け（オプション）

2-1 タイルフロアー納まり図

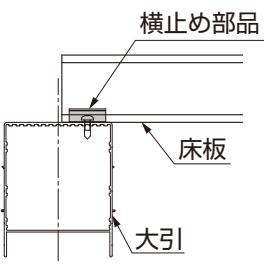


ポイント

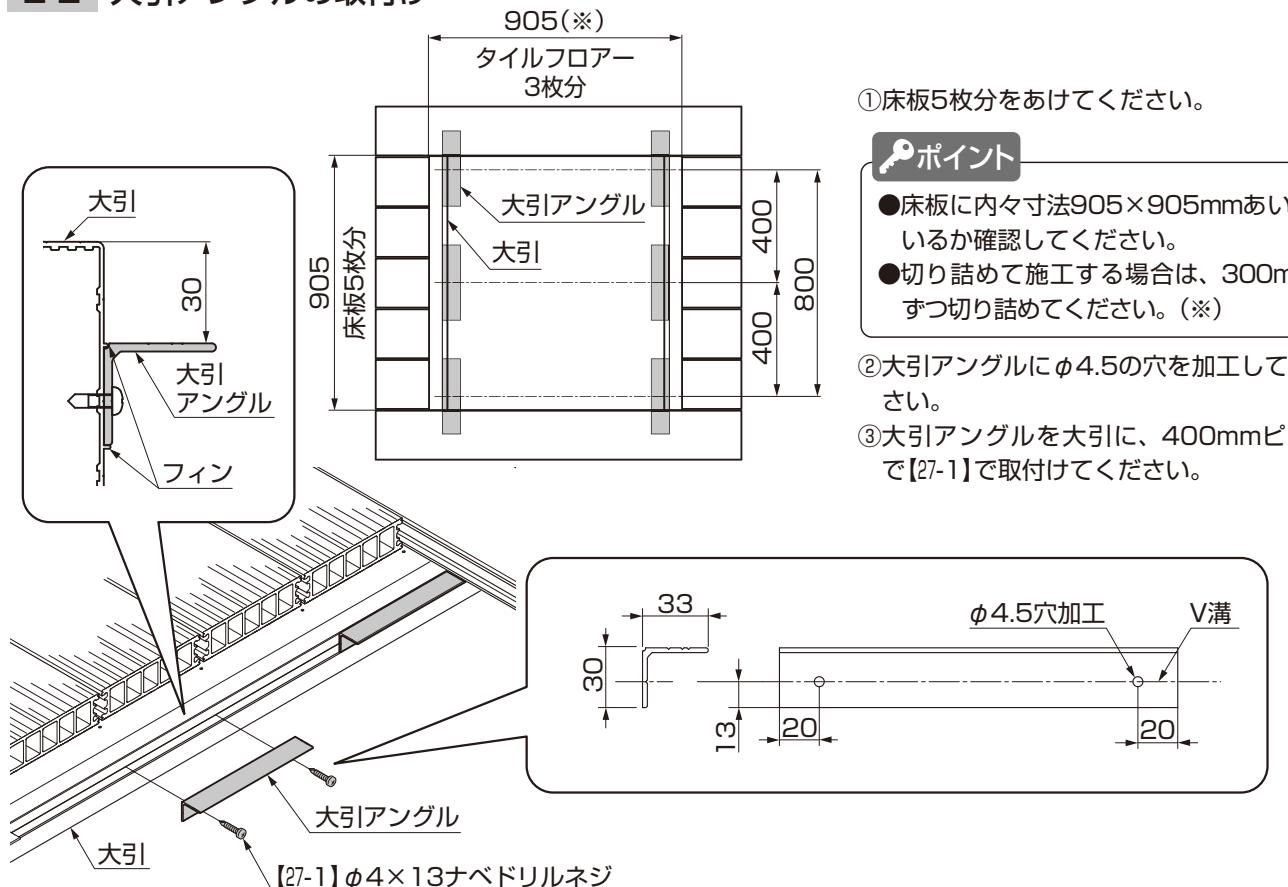
- タイルフロアーを取付ける場合は、大引ピッチは900mmにしてください。
- タイルフロアーを切り詰めて取付ける場合は、大引ピッチを600mmまたは300mmにしてください。

ポイント

- 横止め部品は大引の芯からずらした位置で取付けてください。



2-2 大引アングルの取付け



- ①床板5枚分をあけてください。

ポイント

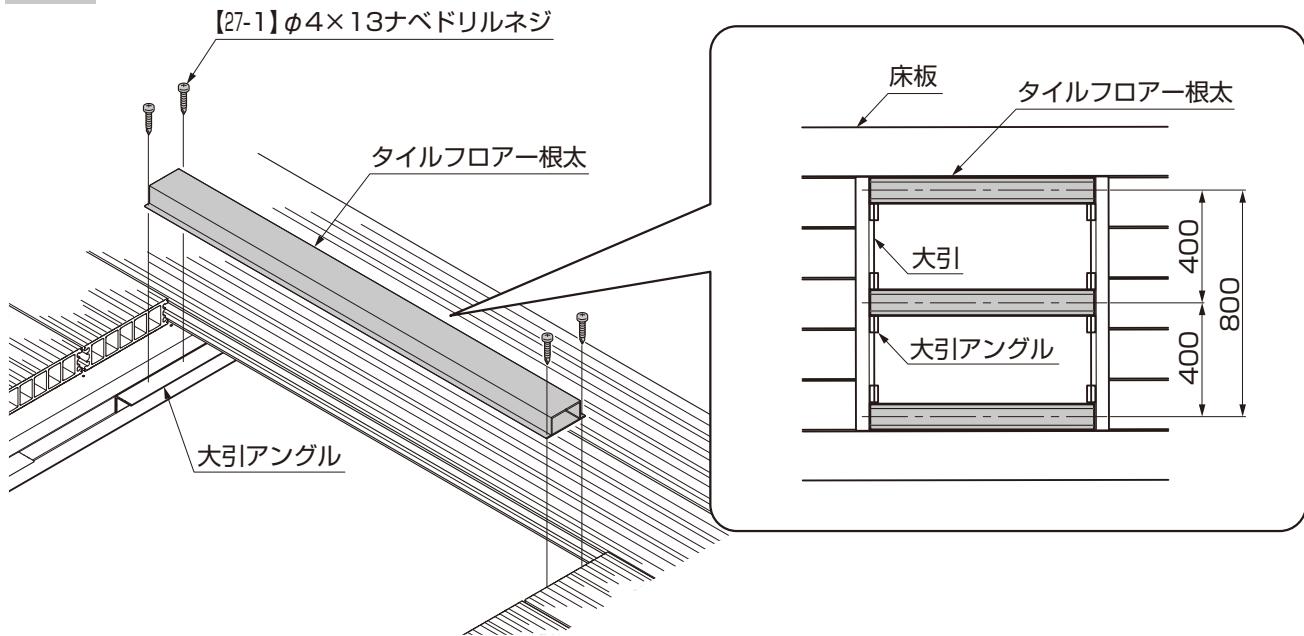
- 床板内々寸法905×905mmであるか確認してください。
- 切り詰めて施工する場合は、300mmずつ切り詰めてください。（※）

- ②大引アングルにφ4.5の穴を加工してください。

- ③大引アングルを大引に、400mmピッチで[27-1]で取付けてください。

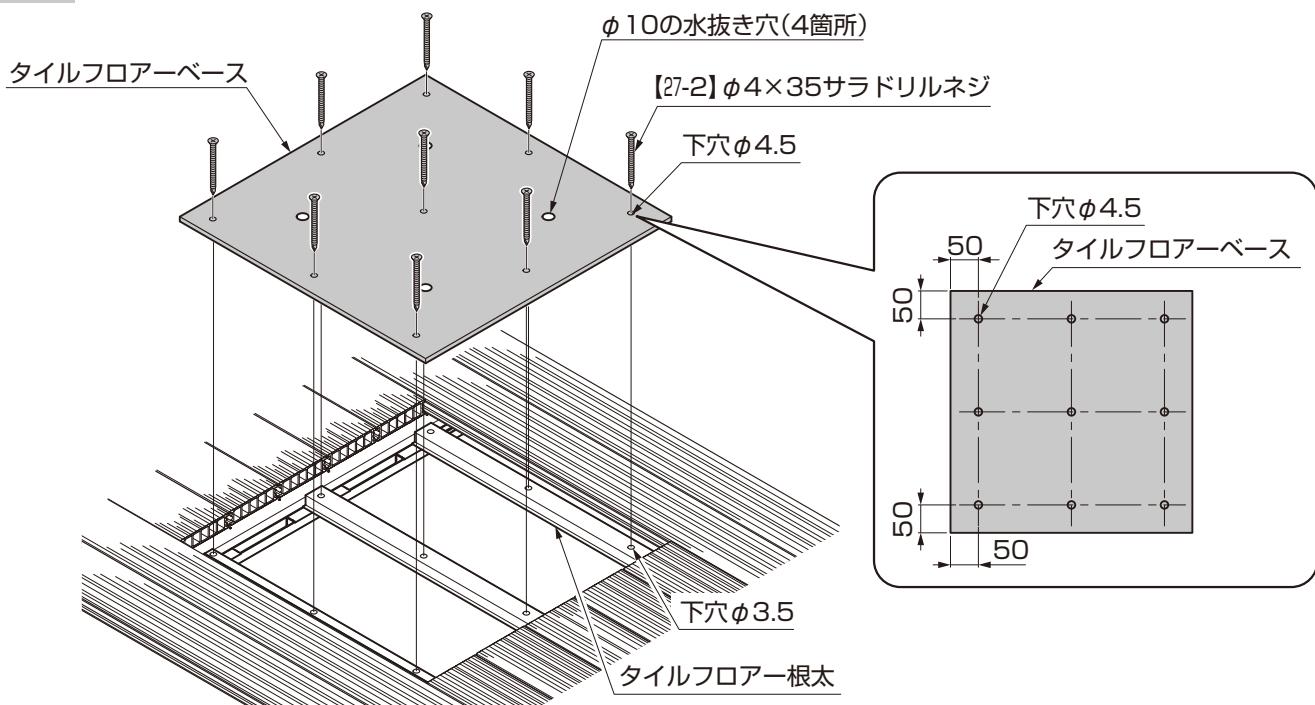
2. タイルフロアーの取付け(つづき) オプション

2-3 タイルフロアー根太の取付け



①タイルフロアー根太を大引アングルに、400mmピッチで【27-1】で取付けてください。

2-4 タイルフロアーベースの取付け

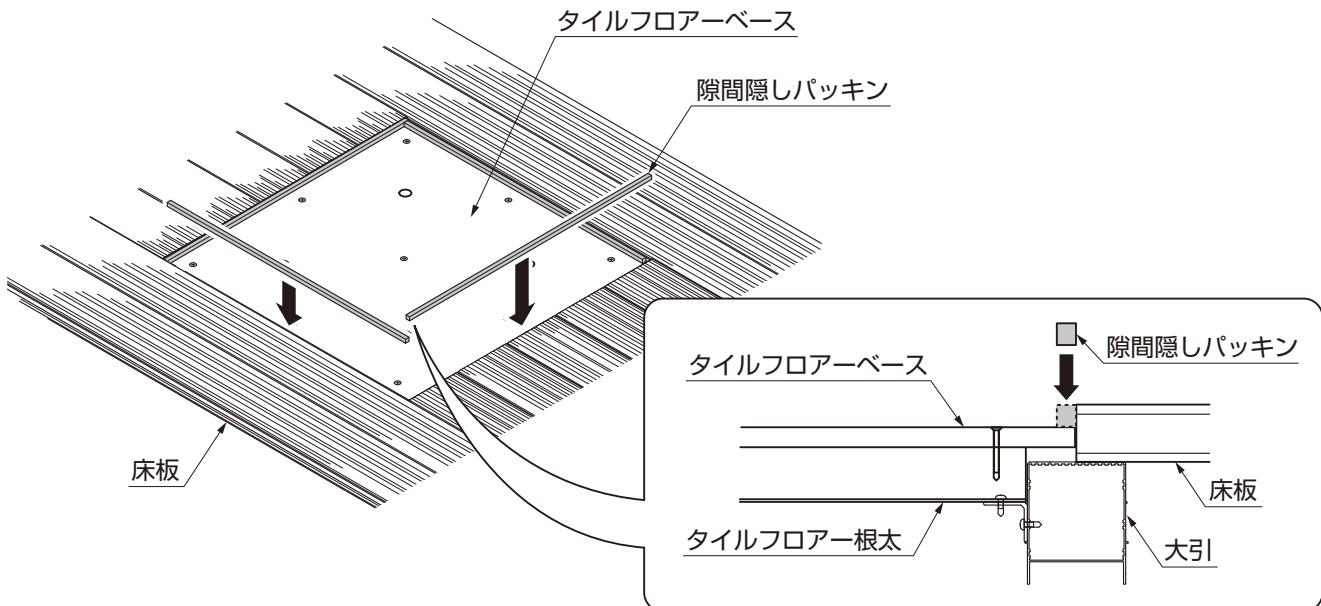


- ①タイルフロアーベースにφ4.5の下穴とタイルフロアー根太にφ3.5の下穴をあけてください。
- ②タイルフロアーベースを、タイルフロアー根太に【27-2】で固定してください。
- ③タイルフロアーベースに4ヶ所、φ10の水抜き穴をあけてください。



●水抜き穴はタイルフロアー根太をさけてあけてください。

2-5 隙間隠しパッキンの取付け

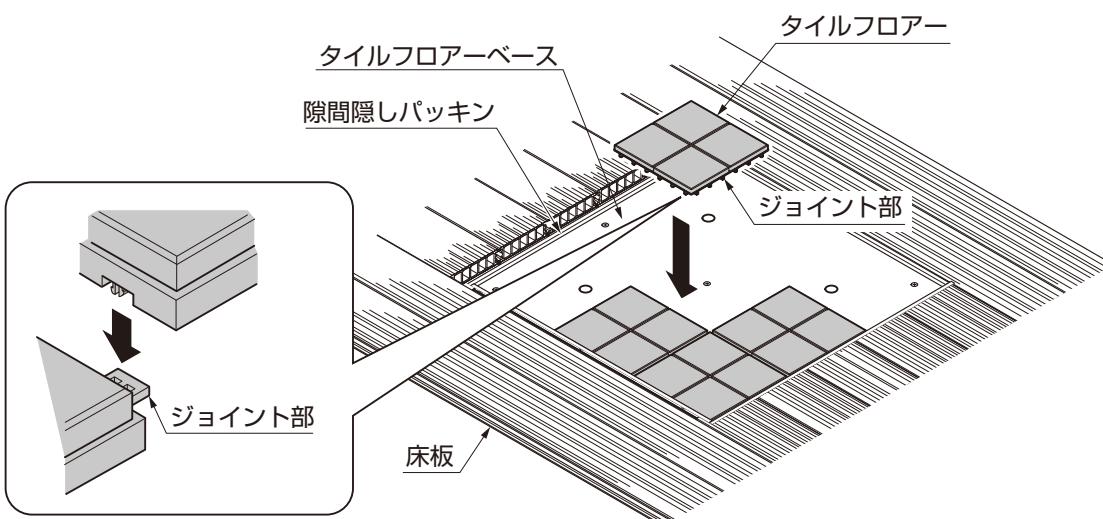


①隙間隠しパッキンの「りけい紙」をはがして床板の側面に、4ヶ所貼り付けてください。

ポイント

- タイルフロアーベースのサイズにあわせて、隙間隠しパッキンは切断してください。

2-6 タイルフロアの取付け



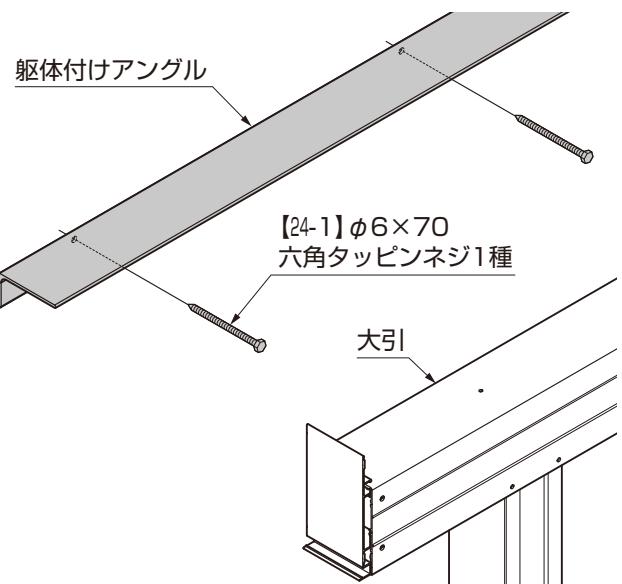
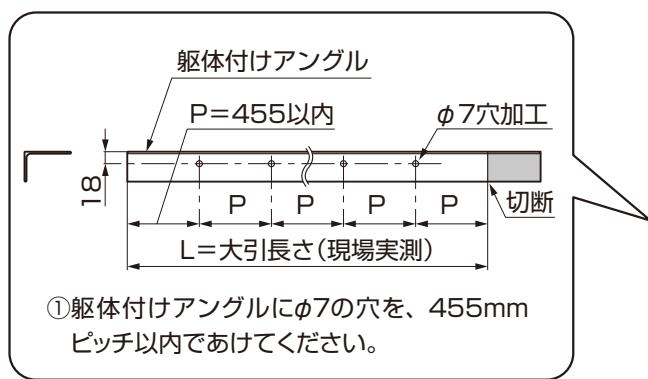
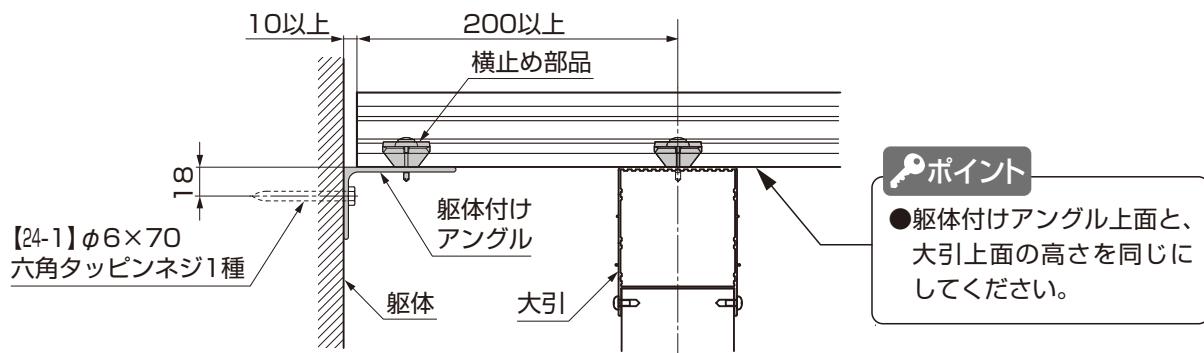
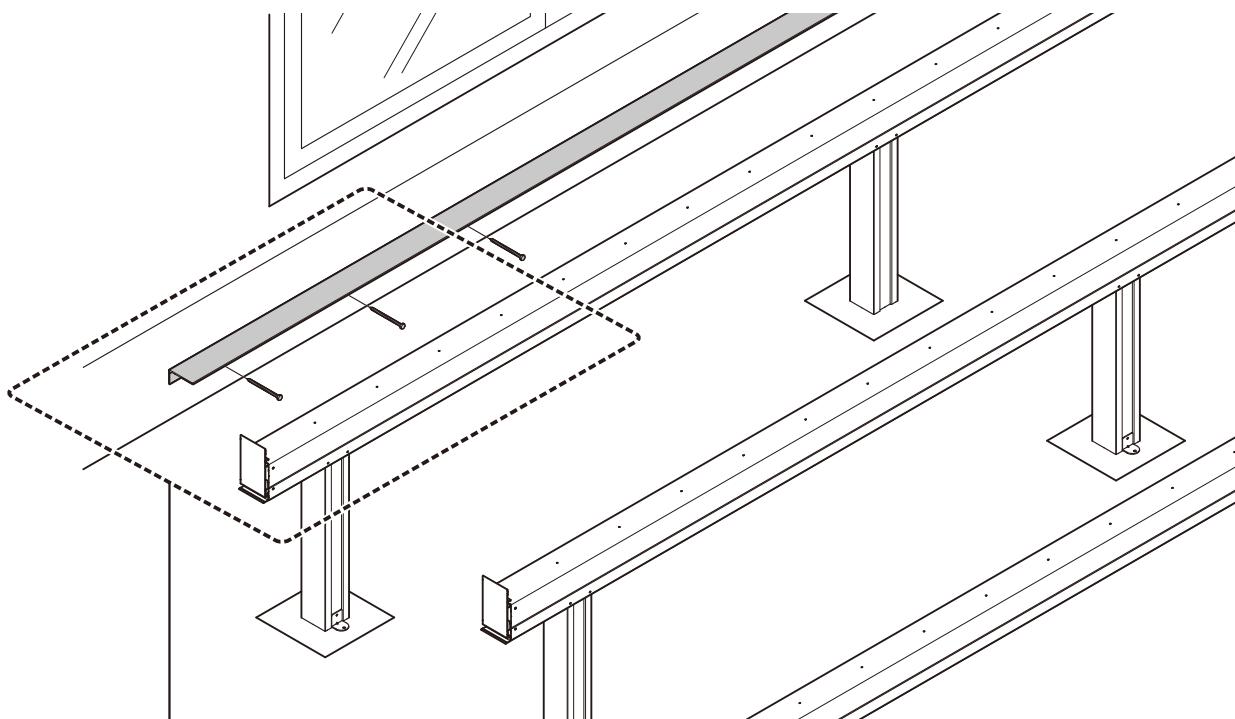
①タイルフロアを連結して敷き詰めてください。

ポイント

- 必要のないジョイント部はカッターで切り落としてください。

3. 車体付けアングルの取付け オプション

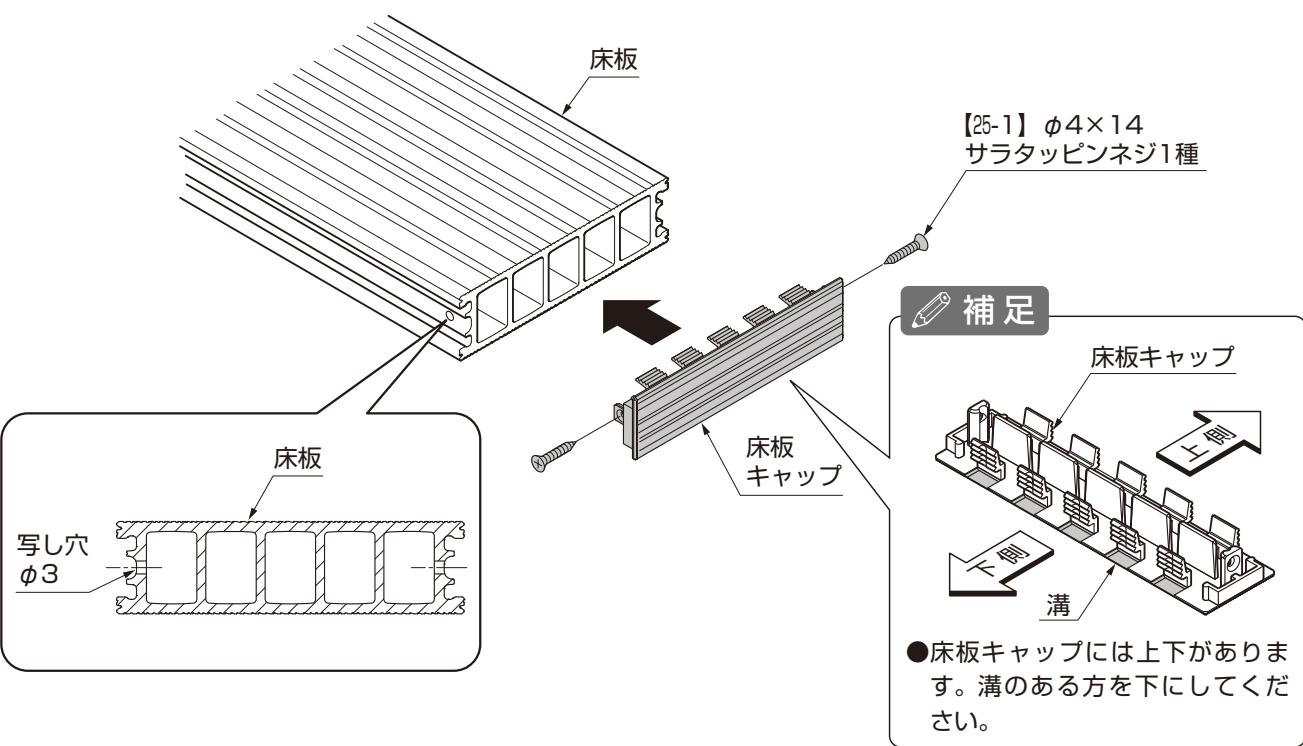
※車体面と大引との距離が200mmを超える場合の作業です。



●[24-1]は、車体の構造部材に取付けてください。

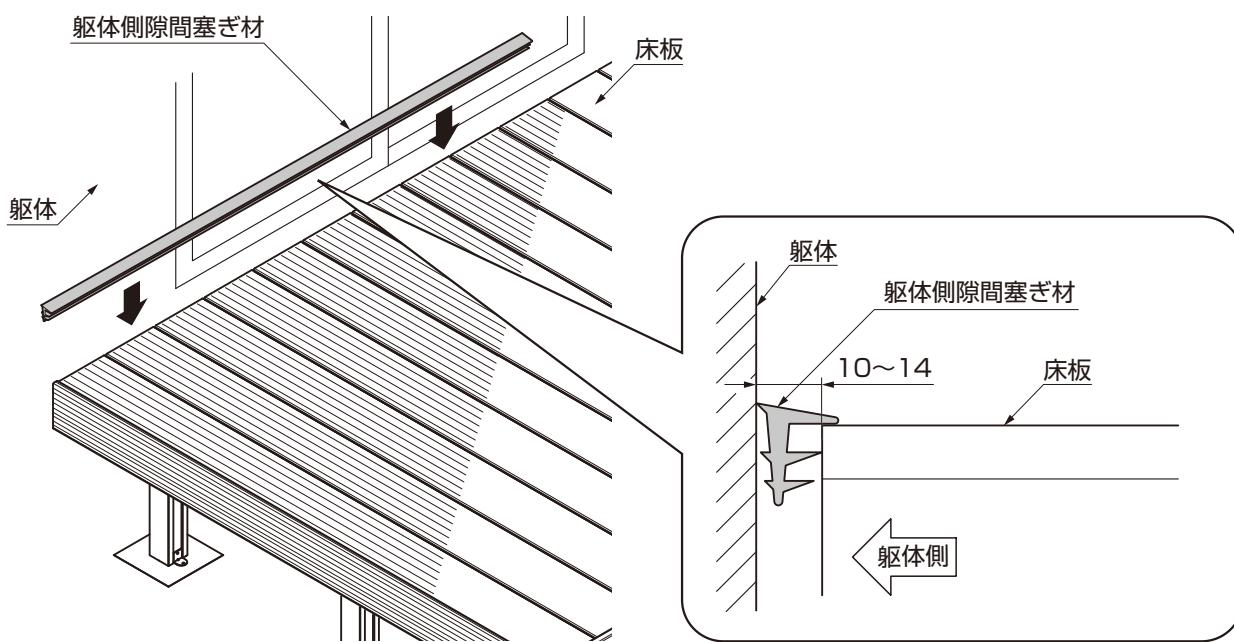
- ②車体付けアングルを車体に[24-1]で固定してください。
- ③横止め部品で床板を固定してください。

4. 床板キャップの取付け オプション ※床板キャップを取付ける場合の作業です。



- ①床板キャップを床板に差し込み、 $\phi 3$ の写し穴をあけてください。
- ②床板キャップを【25-1】で固定してください。

5. 車体側隙間塞ぎ材の取付け オプション



- ①床板と車体の間に車体側隙間塞ぎ材を押し込んで取付けてください。

6. ポイントライトの取付け（オプション）

6-1 ポイントライトの穴開け位置

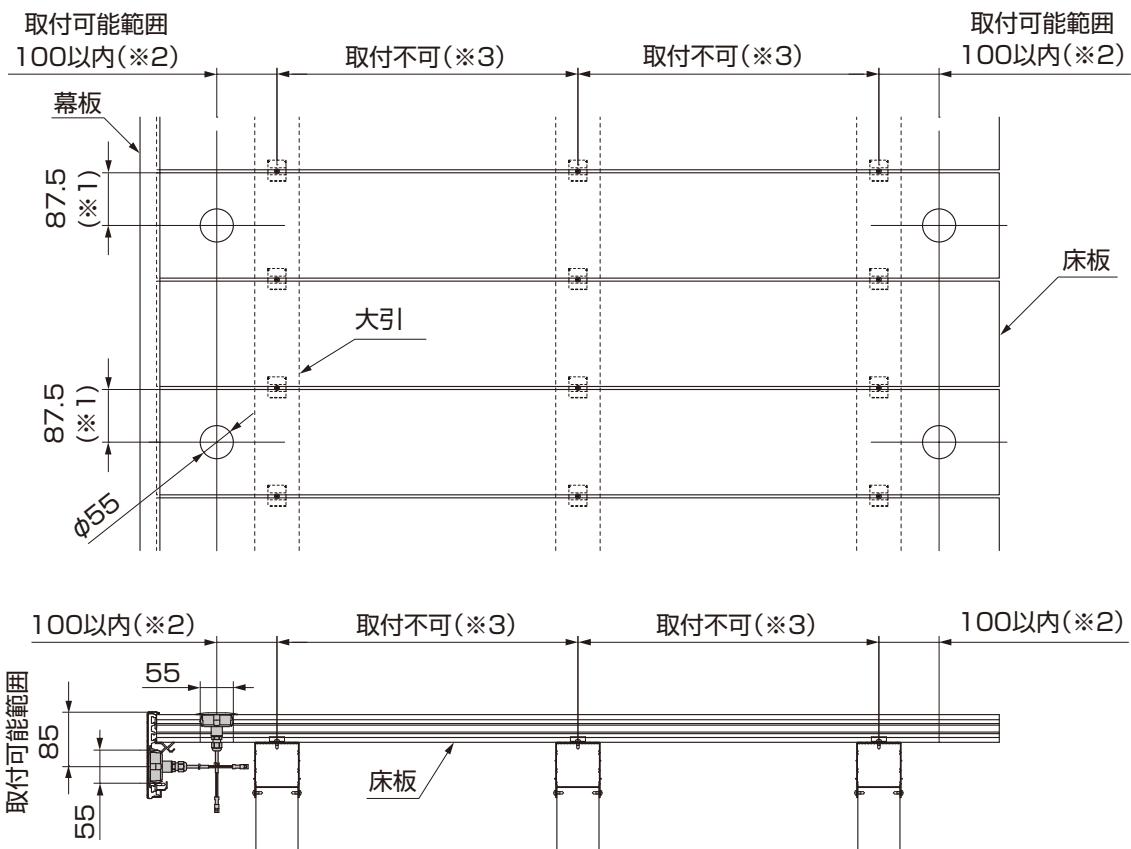


図5-1 幕板

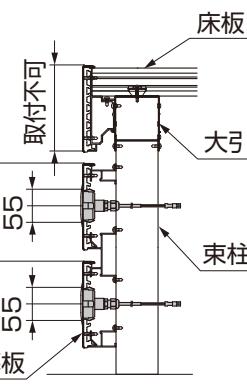


図5-2 多段幕板

①ポイントライトを取付けるところにØ55の穴加工をしてください。

ポイント

- 床板に取付ける場合の取付可能範囲は、床板幅の中央(※1)で、大引芯から100mm以内(※2)です。
- 幕板を大引固定する場合は、取付けできません。

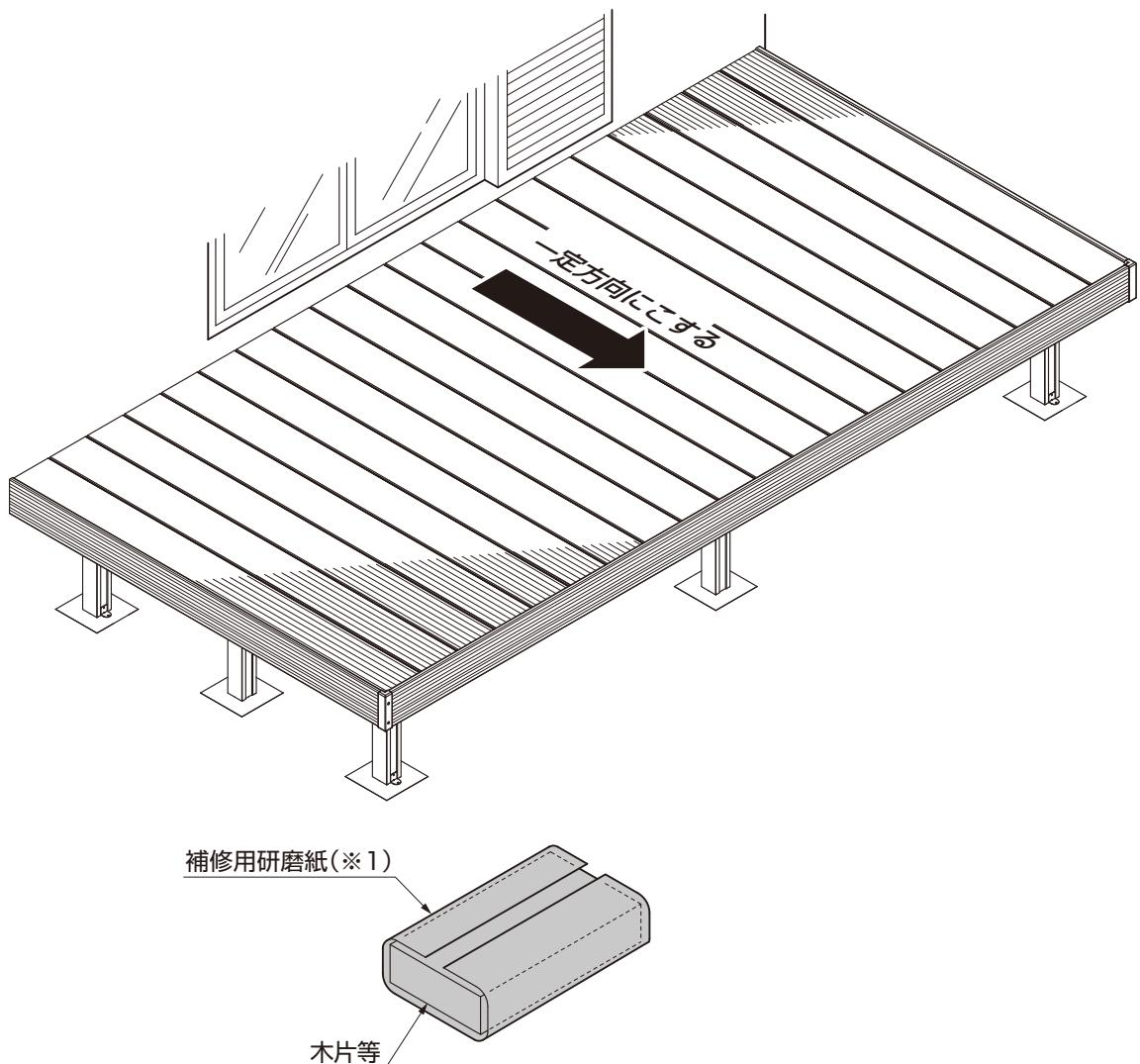
注意

- 大引間(※3)には取付けないでください。床板が破損し、ケガをするおそれがあります。

②ポイントライトに付属の取付説明書を参照して、ポイントライトを取付けてください。

12 施工後の補修

12
施工後の補修



- ①施工後、表面に付いたすりキズは図の研磨方向に補修用研磨紙で仕上げてください。

ポイント

- 強くこすりすぎないでください。
- 一定の方向にこすってください。
- 1ヶ所を集中的に擦るのではなく、全体をぼかす感じで磨いてください。
- 平らな部材を研磨紙の裏から補助的に添えて、研磨紙面をフラットに当てるようにしてください。(※1)

補足

- 市販の研磨紙を使用する場合は、80番の研磨紙を使用してください。

取説コード
E423

JZZ631854C
201607A_1039
202002D_1049